

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否
皇学館大学	特別奨学生	学校出願時		特待生・成績優秀者	1～4年生・全学部 指定した入試の成績等が特に優秀な学生	給付奨学金	学費(授業料及び教育実習)の2分の1または全額相当額ただし、国の修学支援新制度による授業料等減免の適用を受ける場合は、給付額の調整を行う	4年間	文学部6名程度、教育学部6名程度、現代日本社会学部2名程度。	地域制なし	学生支援部	併用可	併用可	
	特待生	その他	1年次～1学期期末試験日日出願時 2～4年次 4月に入学直前	特待生・成績優秀者	1～4年生・全学部 入学試験成績等が特に優秀な学生、また学年次の学業成績が特に優秀な学生の奨励するため	給付奨学金	1年次・学費(授業料及び教育実習)の2分の1相当額 2～4年次・学費(授業料及び教育実習)の全額相当額ただし、国の修学支援新制度による授業料等減免の適用を受ける場合は、給付額の調整を行う	1年間	1年次 人数制限なし 2～4年次、在学者3名。	地域制なし	学生支援部	併用可	併用可	
	授業料の減免	その他	4月10日または10月10日	入学金・授業料減免	1～4年生・全学部 ※医学部課程の第1項 家計支援者による次のような事情の発生により、学費の支弁が難しく困難となった学生を救済するため。(1)家計支援者が死亡した場合 2)災害または火災のため、居住実態が大幅的改善を要した場合 (3)傷病により、親族の治世又は看護を要することになった場合 (4)専業主婦又は勤労学生が両親等により、失業した場合	免除・減免	国の修学支援新制度による授業料等減免適用を前提とし、その残額すべてまたは2分の1	事実発生の翌期	人数制限なし	地域制なし	学生担当	併用可	併用可	
	特定奨学金	その他	4月10日または10月10日	学費支援	1～4年生・全学部 次の事由により、学費の支弁が難しく困難となった学生(1)前期における授業料免除者及びそれに準ずる者で、経済状況が変わらず、引続き救済が必要な学生(2)専修制大学の入学決定に併結した後に医学部課程の第1項の事由と同等又は同等と判断される状況にある新入生 (3)医学部課程の第1項に規定する事由の発生により、実生(前期及び次学期)の学費の支弁が難しく困難となった学費免除の学生 (4)家計支援者が勤務先の都合により失業し、半年以上無収入に陥り収入が継続した場合は	給付奨学金	授業料の半期分の金額又は2分の1、1回に限り奨学金として給付	1回	人数制限なし	地域制なし	学生担当	併用可	併用可	
	貸与奨学金	その他	4月10日または10月10日	学費支援	1～4年生・全学部 学費の支弁を困難とする学部学生で標準修業年限で卒業する見込みがある学生、ただし、日本学生支援機構奨学金で返済予定総額が300万円を超えるものは無い出ることができない。	貸与奨学金	無利息、各学期の学費(授業料及び教育実習費)相当額又は2分の1 入学金は全額、初年度学費は全額又は半額。	3回以内または貸与総額100万円以内	人数制限なし	地域制なし	学生担当	併用可	併用可	
	東日本大震災等により被災した皇学館大学入学生の入学金及び初年度学費の免除	入学手続時		被災者資金支援	1年次生・全学部 次の各号のいずれかに該当し、経済的に修学困難であると認められる者に対しては、その届出により、入学金及び初年度学費又はそのいずれかの免除を許可することがある。(1)震災被災又は災害被害が発生する年度に入学し、入学生の学費支弁の難化する事案が、全額、半額、一部損壊等であると証明された者 (2)東日本大震災等により学費支弁が死亡した者 (3)前2年に準ずる場合であって、届出と認められる届出がある者	免除・減免		1回	地域制なし	学生支援部	併用可	併用可		
	給付奨学金	在学中	3～4年次		特待生・成績優秀者	2～4年生・全学部 建学の精神を体し、精進し、学業及び人物優秀な学生	給付奨学金	年額10万円	1年間	①地域10名程度 ②人数制限なし	地域制なし	学生担当	併用可	併用可
	福田奨学金	在学中	2年生以上		特待生・成績優秀者	2～4年生・全学部 建学の精神を体し、学業及び人物優秀な学生	給付奨学金	年額10万円	1年間	①年間10名程度 ②人数制限なし	地域制なし	学生担当	併用可	併用可
	飯友会奨学金	在学中	2～4年次		特待生・成績優秀者	3年次生・全学部 学生の健全な育成のために、学業成績優秀、品行方正あるいは学友会活動において顕著な成績を挙げた学生	給付奨学金	年額10万円	1年間	①地域10名程度 ②人数制限なし	地域制なし	学生担当	併用可	併用可
	長谷川奨学金	在学中	3～4年次		特待生・成績優秀者	3～4年次生・文芸部 神道に関する学術を研究し、卒業後も引き続き神道を専攻する学生又は神職もしくは神社に関する業務に従事する学業成績及び人物優秀な学生	給付奨学金	年額10万円	1年間	①年間10名程度 ②人数制限なし	地域制なし	学生担当	併用可	併用可
	鹿光殿奨学金	在学中	3～4年次		特待生・成績優秀者	3～4年次生・文芸部 儒学や神道を育成するための、神職課程を履修し、神道に関する学術を研究している学生で、卒業後神職又は神社に関する業務に従事する学業成績及び人物優秀な学生	給付奨学金	年額10万円	1年間	①年間10名程度 ②人数制限なし	地域制なし	学生担当	併用可	併用可
	安部奨学金	在学中	2年生以上		特待生・成績優秀者	2～4年次生・文芸部 神職課程を履修し、神道に関する学術を研究している、学業成績及び人物優秀な学生	給付奨学金	年額10万円	1年間	地域制なし	学生担当	併用可	併用可	
	神社本庁育英奨学金	在学中	2年生以上		その他	神社神道の興隆に寄与する有為の人材を養成 文芸部2年生以上に在学する原則神職子弟で、卒業後神職または神道に関する研究その他神社に関する業務に従事しようとする意志堅固、品行方正、身体剛健、かつ成績優秀な学生であって学費の支弁が困難な者	給付奨学金	年額30万円	1年間(継続申請可)	地域制なし	学生担当	併用不可	併用不可	
	神宮特別奨学金	在学中	3～4年次生		その他	神宮教養ならびに神道学に寄与する有為な人材の育成 3～4年次生・文芸部神道学科 文芸部神道学科3年次以上の学生で、卒業後神道に従事しようとする思想確固かつ学業成績優秀な学生。	給付奨学金	年額20万円	1年間	地域制なし	学生担当	併用可	併用可	
	全国神社連合育英奨学金	在学中	2年生以上		その他	神社神道の興隆に寄与する有為な人材を養成 2～4年次生・文芸部 文芸部2年生以上に在学し、神職の子女もしくは会員の子女であり、卒業後神職または神道に関する研究その他神社に関する業務に従事しようとする意志堅固、品行方正、身体剛健、かつ学業成績優秀な学生であって学費の支弁が困難な者	給付奨学金	年額15万円	1年間(継続申請可)	地域制なし	学生担当	併用不可	併用不可	
伏見稲荷大社奨学金	在学中	全年生		その他	神社神道の興隆および稲荷信仰の発展に寄与する学生 2～4年次生・文芸部神道学科 文芸部神道学科に在学し、卒業後神職または神社神道並びに稲荷信仰の普及に関する業務に従事しようとする思想確固かつ学業成績優秀な学生	給付奨学金	年額24万円	採用から卒業までの標準修業年限	地域制なし	学生担当	併用可	併用可		
高松奨励会	その他	1月中旬		課外活動支援制度	1～4年次生・全学部 課外活動で顕著な成績を挙げたクラブ(部)、その他の団体	給付奨学金	年額5万円	1年間	地域制なし	学生担当	併用可	併用可		
尊の会グローバル人材育成支援奨学金	在学中	全年生		留学費用支援制度	1～4年次生・全学部 本学が企画する海外留学に参加する学生	給付奨学金	海外留学費用の一部(令和3年度実績38,000円～193,600円)	1年間	地域制なし	学生担当	併用可	併用可		
尊の会教養奨励費	在学中	2年生以上		特待生・成績優秀者	2～4年次生・全学部 学生の勉学研究意欲の高揚を奨励	給付奨学金	3万円分の図書カード	1年間	地域制なし	学生担当	併用可	併用可		
学長奨励費	その他	12月上旬		課外活動支援制度	1～4年次生・全学部 課外活動等で顕著な成績を挙げたクラブ(部)その他の団体及び個人	給付奨学金	1万円～5万円	1年間	地域制なし	学生担当	併用可	併用可		
鈴鹿医療科学大学	鈴鹿医療科学大学 特待生(授業料減免)制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生(専攻入試)授業料等免除 返還方式(方式)、一返還額A日程及びB日程、共通テスト利用方式 前期の受験者で、入学試験の成績優秀者を対象に第4年度(実部)は最長4年間の年間授業料の半額を、入学後1年間の成績が在学期の上位40%以内であれば、翌年度も継続して減免適用が可能	免除・減免	所属する学科の年間授業料の半額	最長4年間(実学部は6年間)※年度ごとに継続条件あり	①毎年100人前後 ②人数制限なし	地域制なし	入課課	併用可	併用可	
鈴鹿大学	特別奨学金	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者	学業において当該年度の学習成績が優秀であると認められる学生に支給する	給付奨学金	特別奨学生1種(授業料の全額相当額) 特別奨学生2種(授業料の半額相当額)	1年間	若干名	地域制なし	学生・キャリア支援課	併用可	併用不可	
	スポーツ活動優秀奨学金	その他	入学出願時と在学中	入学金・授業料減免	全年生 全年生 取得単位数、GPA、経歴結果、成績基準等を考慮した上で審査	給付奨学金		半年毎	制限なし	地域制なし	学生・キャリア支援課	併用可	併用不可	
	新入生奨学金制度	入学後		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	総合型選抜(旧学校推薦型選抜)の合格者で評定平均3.5以上で入学後に実施される学生試験において優秀な成績を収めた者に奨学金を給付	給付奨学金	入学金相当額250,000円または100,000円	1年間	各学部1名	地域制なし	学生・キャリア支援課	併用可	併用不可	
	グループ奨学金	入学手続時		入学金・授業料減免	①グループ校(推薦型等学校)からの入学者 ②グループ校(専修大学等学校及び専修大学等学校)からの入学者	給付奨学金	3)入学者200,000円、年額100,000円(特待) ②入学者250,000円、年額100,000円及び進学日補助(奨励)	入学時、在学中	制限なし	地域制なし	学生・キャリア支援課	併用可	併用不可	
	入試特待生	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	新入生対象 総合型選抜、選抜情報学部 対象の入学試験で成績上位者から選抜し、授業料最大全額を減免します。 原則、4年間減免は継続します。	免除・減免	第1種特待生は授業料100%(680,000円)減免 第2種特待生は授業料50%(340,000円)減免 第3種特待生は授業料30%(204,000円)減免	1年間(継続申請可) ただし、2年次以降は継続審査があります。	最大で40名	地域制なし	入試広報室	併用可	併用可	
スポーツ奨学金	学校出願時		学費支援 課外活動支援制度	入学生 総合型選抜、選抜情報学部 対象クラブは、硬式野球部、サッカー部、テニス部、ソフトテニス部、ゴルフ部の6つ。 各クラブ監督者の推薦による。 原則4年間、ただし、2年次以降継続審査あり。	免除・減免	第1種授業料100%(680,000円) 第2種授業料50%(340,000円) 第3種授業料30%(204,000円)	原則1年間、ただし、2年次以降は継続審査があります。	最大で60名	地域制なし	入試広報室	併用可	併用可		
大規模災害奨学金	学校出願時		入学金・授業料減免	1年～4年生の総合型選抜生及び選抜情報学部生対象 すべての入試において、大規模災害に被災した受験生を対象とする。詳細は入試広報室まで。	免除・減免	①特別措置Ⅰ種は入学金・授業料全額減免 ②特別措置Ⅱ種は入学金・授業料50%減免	1年間	制限なし	地域制なし	入試広報室	併用可	併用可		
特待生	在学中	2年生以上	特待生・成績優秀者 学費支援	総合型選抜生、選抜情報学部生対象 入学後の学業及び人物が優秀な優等生	免除・減免	授業料50%減免	1年間	地域制なし	教育・学生支援部	併用可	併用可			
同意生奨学金	学校出願時		その他	指定入学金との減免	総合型選抜生、選抜情報学部生対象 四日市大学の卒業生及び在学生の二親等内の親族を対象とし、入学試験出願時に申請。	給付奨学金	①検定料の一部免除 ②入学金の50%減免	1回限り	人数制限なし	地域制なし	入試広報室	併用可	併用可	
四日市看護医療大学	四日市看護医療大学育成奨学金	学校出願時		入学金・授業料減免	育成会奨学生入試を受験し、合格した者を「四日市看護医療大学育成会」が奨学生として採用し、授業料相当額(年間100万円)を4年間負担します。 ●奨学生 授業料相当額4年間負担(年間100万円)卒業後5年間、看護師、保健師および助産師いずれかの免許を取得し、四日市市内の指定の就職条件を満たした場合は、全額返還免除 ●試験区分 育成会奨学生入試 ●奨学生条件 卒業後、看護師、保健師および助産師のいずれかの正職職員として、四日市市内の指定の医療機関および地方公共団体に従事しようとする強い意志を持つ者 ●学業成績および品行が優れ、かつ健康な者。	給付奨学金 貸与奨学金	●貸与額 授業料相当額4年間負担(年間100万円)卒業後5年間、看護師、保健師および助産師いずれかの免許を取得し、四日市市内の指定の就職条件を満たした場合、全額返還免除 ●奨学生条件 卒業後、看護師、保健師および助産師のいずれかの正職職員として、四日市市内の指定の医療機関および地方公共団体に従事しようとする強い意志を持つ者 ●学業成績および品行が優れ、かつ健康な者。	4年間	看護学科30名(前期25名、後期5名) 臨床検査学科 3名	地域制なし	併用可	併用可		
	宮崎穂子奨学金	その他	成績によって判定	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免 その他	宮崎穂子氏からの寄付金を増設とする宮崎穂子奨学金で、本学看護学部の正規課程2年次以上3年次に在籍する学生のうち、学業、人物ともに優れ、本学および社会への貢献意欲と認められる者に対して給付する	給付奨学金	●奨学金の給付額:1人10万円		地域制なし	併用可	併用可			
	長江祐子奨学金	その他	教員からの推薦	特待生・成績優秀者 その他	長江祐子氏からの寄付金を増設とする長江祐子奨学金で、本学看護学部の正規課程2年次に在籍する学生のうち、学業、人物ともに優れ、本学および社会への貢献意欲と認められる者に対して給付する	給付奨学金	奨学金の給付額は、1人10万円		地域制なし	併用可	併用可			
四日市看護医療大学災害支援奨学金	学校出願時		学費支援	学費支援	四日市看護医療大学に在籍する学生で、過去6ヶ月に深い学災被害が、それにより修学継続が困難となり、本来規定の家計基準および学業基準のいずれにも該当する者	給付奨学金	各年度5名を上限とし、一人当たり授業料の半額相当を一括給付する。原則として、採用は、在学中に一度限りとする。	地域制なし	併用可	併用可				
成安造形大学	成安造形大学特待選抜奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	将来、社会に貢献しうる資質と能力を有し、人物・学力ともに優秀で、特待生選抜を設けた入学試験における成績優秀者の内から選抜する。	免除・減免	年間授業料698,000円をとする。	最長4年間	40名	地域制なし	入学広報課	併用可	併用可	
	成安造形大学内奨学金制度	その他	毎年4月	用途を定めない経済的支援	修学の意欲があるにもかかわらず、経済上の理由により学業継続が困難な学生(留学生を除く)で学内奨学金の貸与条件を満たしている者。 ※学費の収入基準に制限あり ※日本学生支援機構の奨学金またはその他の奨学金を受けていないこと	貸与奨学金	貸与月額20,000円～30,000円の10ヵ月(年間200,000円～500,000円)	10ヵ月間	5名程度	地域制なし	教育学課	併用不可	条件有り併用可	
	成安造形大学同意生奨学金制度	在学中	2年生以上	学費支援	学業成績優秀で継続して学費を希望しながら経済事情により学費の支弁が困難となった学生	貸与奨学金	上限100万円(ただし貸与される奨学金は学費に充当する。)	2年生以上の学生で在学中1回のみ	人数制限なし	地域制なし	教育学課	併用可	併用可	
	成安造形大学短期貸付制度	随時		用途を定めない経済的支援	本学に在籍する学生及び研究生が修学及び学生生活維持のための一時的あるいは緊急に資金を必要とする場合に、一定期間、所定の金額を貸付し助成する。	貸与奨学金	1,000円～9,000円			人数制限なし	地域制なし	教育学課	併用可	併用可
	成安造形大学卒業生女子授業料等減免制度	入学手続時		入学金・授業料減免	入学時に成安造形大学、成安造形看護並びに本法人の旧設置校卒業生の血縁関係である者(本人を含む2親等以内。)	免除・減免	①入学金免除 ②授業料20%減免	4年間	制限なし	地域制なし	入学広報課	併用可	併用可	
平安女学院大学	成績優秀特別奨学金制度	在学中	入学年度から最長4年間(1～4年)	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	一級入試で、各学科において優秀な成績を収めた方(合格者上位5%以内)に、入学年度から最長4年間継続して学費の半額(初学期)を給付します。	給付奨学金	1年次 575,000円 2年次以降 630,000円	入学年度から最長4年間継続	入学年度から最長4年間継続	地域制なし	入学センター	併用可	併用不可	
	総合型選抜入学生入学金減免制度・指定校推薦入学生入学金減免制度	学校出願時		入学金・授業料減免	総合型選抜・指定校推薦入試で入学される方のうち成績優秀者に入学金を減免する。	給付奨学金 免除・減免	高校での全体の学業成績の状況4.3以上 250,000円(入学金全額) 高校での全体の学習成績の状況3.8～4.2 125,000円(入学金半額)	入学時	制限なし	地域制なし	入学センター	併用可	併用可	
	入学初年度秋学期授業料半額免除制度	在学中	1年次	入学金・授業料減免	私学奨学部の補助金制度と本学の制度を併せ、入学初年度の秋学期授業料半額免除します(1年次秋学期のみ)。一定の適用基準を満たす新入生に適用します。2023年度新入生の家計基準は総所得者額841万円、給与取得者額4355万円でした。	給付奨学金 免除・減免	245,000円	1年次秋学期	制限なし	地域制なし	入学センター	併用可	条件有り併用可	
	姉妹・親族入学金減免制度	学校出願時		入学金・授業料減免	①入学時点で姉妹が本学に在籍している場合 ②姉妹、母、20歳以上の姉妹が本学部の専業主婦である場合 ③姉妹、母、兄弟(兄弟が本学部の卒業生である場合) 以上のいずれかに該当する場合、入試区分にかかわらず、入学金を全額または半額減免します。	給付奨学金 免除・減免	①2の場合 250,000円(金額) ③の場合 125,000円(半額)	入学時	制限なし	地域制なし	入学センター	併用可	併用可	
	看護特別推薦入試 入学金半額免除制度	学校出願時		入学金・授業料減免	看護特別推薦入試で合格し、入学する方に対し入学金を半額免除いたします。	免除・減免	入学金125,000円減免。	入学時	制限なし	地域制なし	入学センター	併用可	併用可	
	同意生推薦入試 入学金免除制度	学校出願時		入学金・授業料減免	①同意生推薦の推薦者が推薦・届30名以上の推薦の場合 ②同意生推薦の推薦者が緑教者の場合 同意生推薦入試で合格し、入学する方は、入学金を全額または半額減免します。	免除・減免	①の場合 250,000円 ②の場合 125,000円	入学時	制限なし	地域制なし	入学センター	併用可	併用可	
	長浜バイオ大学	長浜バイオ大学内奨学金	在学中		特待生・成績優秀者	【学部・大学院】 対象学年は2年生次以上で、前年度の年間成績(GPA)上位者を学内にて審査・選考の上、推薦・決定します。	給付奨学金	月額3,000円	1年間	若干名	地域制なし	学生生活支援担当	併用可	併用可
長浜バイオ大学サポーター奨学金	在学中			特待生・成績優秀者	【学部・大学院】 対象者は2年生次以上で、前年度の年間成績(GPA)上位者を学内にて審査・選考の上、決定します。	給付奨学金	月額20,000円・1年間給付	1年間	若干名	地域制なし	学生生活支援担当	併用可	併用可	
長浜バイオ大学入学試験成績優秀者等免除制度(特別奨学生)	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	入学生対象 入学試験成績優秀者対象に審査・選考により認められた学生に対して、1～2年次生時の授業料の50%を上限に減免する奨学金制度です。	免除・減免	授業料の50%減免	1年次と2年次の原則2年間、 ただし、専攻次第等により 年次の減免は対象外となる 場合があります。	併用可	地域制なし	入試係	併用可	併用可		
長浜バイオ大学家計急変奨学金	在学中		用途を定めない経済的支援	【全生対象】 入学以降に生じた家計急変事由により、修学が困難となった学生を経済的に援助するための奨学金です。審査・選考により認められた学生に対して、300,000円を上限に支給します。	給付奨学金	上限300,000円	前期と後期の2回審査。給付は年に1回限り。	前期と後期の2回審査。給付は年に1回限り。	地域制なし	学生生活支援担当	併用可	条件有り併用可		
長浜バイオ大学学費支援奨学金	在学中		学費支援	【学部・大学院】 家計支援を行い、修学が困難となっている学生を経済的に支援するための奨学金です。審査・選考により認められた学生に対して、200,000円を支給します。	給付奨学金	200,000円	前期と後期の2回審査。給付は当該学期で1回限り。	前期と後期の2回審査。給付は当該学期で1回限り。	地域制なし	学生生活支援担当	併用可	条件有り併用可		
長浜バイオ大学入学試験成績優秀特待生学費減免制度(特待生)	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	一級選抜前編入において合格者割合70.9%または入学入学共通テスト利用入試において合格者割合40.0%以上の者	免除・減免	国立大学標準額まで減免 1年次納入金:835,800円 2～4年次納入金:535,800円	4年間	人数制限なし	地域制なし	入試係	併用可	併用可		

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
びわこ成蹊スポーツ大学	大阪成蹊学園奨励奨学生等に対する特別奨励①	学校出願時		被災者資金支援 その他	入学決定料	災害救助法適用地域に在住する受験生または適用地域に所在する高等学校に在籍する受験生(その他条件有)	免除・減免	入学決定料を免除する	受験時	特になし	地域の制限なし	入試部入試課	併用可	併用可	
	大阪成蹊学園奨励奨学生等に対する特別奨励②	入学手続時		入学金・授業料減免 被災者資金支援		災害救助法適用地域に在住する受験生または適用地域に所在する高等学校に在籍する受験生(その他条件有)	免除・減免	入学金の全額免除及び入学初年度の前期授業料の2分の1を免除する	入学時	特になし	地域の制限なし	入試部入試課	併用可	併用可	
	大阪成蹊学園奨励奨学生等に対する特別奨励③	在学中	1~4年生	入学金・授業料減免 被災者資金支援		災害救助法適用地域に本人若しくは家族支援者が居住している者	免除・減免	家族支援者が死亡した場合、または家族支援者が負傷し6か月以上の入院加療を必要とする場合、災害発生時前年度の授業料について、その2分の1を免除する	災害発生時の定期	特になし	地域の制限なし	学務部学生課	併用可	併用可	
	大阪成蹊学園奨励奨学生等に対する特別奨励④	在学中	1~4年生	入学金・授業料減免 被災者資金支援		災害救助法適用地域に本人若しくは家族支援者が居住している者	免除・減免	被災者学生または家族支援者が居住する災害発生直前または大規模な被災した場合は、災害発生時の授業料について、その2分の1を免除する	災害発生時の定期	特になし	地域の制限なし	学務部学生課	併用可	併用可	
	大阪成蹊学園奨励奨学生等に対する特別奨励⑤	在学中	1~4年生	被災者資金支援		災害救助法適用地域に本人若しくは家族支援者が居住している者	給付奨学金	被災者学生または家族支援者が居住する災害発生直前または床上げまたは床上げした場合は、20万円を給付し、一部減額または床下浸水した場合は、10万円を給付する。	災害が発生した際	特になし	地域の制限なし	学務部学生課	併用可	併用可	
	スポーツ活動奨励学費減免制度	入学手続時		入学金・授業料減免 課外活動支援制度		当該入学生であってスポーツ活動の成績が顕著であり、かつ人間的性及び社会性等に優れている学生。原則として本学競技系クラブの中で指定科目として定められたクラブに所属しており、優れたスポーツ成績を上げているもの。(その他条件有)	免除・減免	非公表	非公表	非公表	地域の制限なし	入試部入試課	条件有り併用可	併用可	
	在学生スポーツ活動奨励学費減免制度	在学中	2年次以降	入学金・授業料減免 課外活動支援制度		当該年度在学中であってスポーツ活動の成績が顕著であり、かつ人間的性及び社会性等に優れている学生。原則として本学競技系クラブの中で指定科目として定められたクラブに所属しており、優れたスポーツ成績を上げているもの。(その他条件有)	免除・減免	非公表	非公表	非公表	地域の制限なし	スポーツ統括本部	条件有り併用可	併用可	
授業料減額・分納制度	その他	授業料納付期日の14日前まで	その他	授業料等徴収手		やむを得ない事情により所定の期日までに授業料等を納付することが困難な者	その他	授業料等の徴収手			地域の制限なし	学務部学生課	併用可	併用可	
ファミリー入試学費免除制度	入学手続時		入学金・授業料減免		入学金・授業料減免	受験者から受験等以内の家族のいずれかが、大規模な災害による被災者である(初年度を除く)で調査書の「全体の学習成績の状況」がD以上の者	免除・減免		入学時	特になし	地域の制限なし	入試部入試課	併用可	併用可	
聖泉大学	成績優秀奨学金	在学中		特待生・成績優秀者		2年~4年生対象 ①成績優秀者 ②成績優秀者 入学金・授業料減免	免除・減免	授業料半額	1年間	各学年6名	地域の制限なし		併用可	併用可	
	特別奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		入学金・授業料減免 入学金・授業料減免	免除・減免	授業料全額免除、半額免除	入学後成績が優秀な場合は4年間	人数制限あり	地域の制限なし		併用可	併用可	
びわこ学院大学	特別奨励学生・スポーツ特別奨励学生	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		選考対象受験生で特別奨励学生・スポーツ特別奨励学生に応募した者	免除・減免	特別奨励学生…授業料・教育実習費半額免除 スポーツ特別奨励学生…入学金全額免除			地域の制限なし		併用可	併用可	
	特別奨励学生・スポーツ特別奨励学生	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		選考対象受験生で特別奨励学生・スポーツ特別奨励学生に応募した者	免除・減免	特別奨励学生…授業料・教育実習費半額免除 スポーツ特別奨励学生…入学金全額免除			地域の制限なし		併用可	併用可	
びわこリハビリテーション専門職大学	一般選抜スカラシップ制度	学校出願時		特待生・成績優秀者		一般選抜入試A日程で特に優秀な成績の者をスカラシップ生として認定し、スカラシップ生Aに比べて初年度年間授業料相当額(90万円)、スカラシップ生Bに比べて初年度年間授業料の半額相当額(45万円)を給付します。	給付奨学金	スカラシップ生A 90万円 スカラシップ生B 45万円	1回限り		地域の制限なし		併用可	併用可	
	指定推薦スカラシップ生制度	その他		手続きは不要		本学が指定する高等学校で、かつ本学が指定する学習成績の状況(評定平均値)を満した高等学校長から推薦された者が入学を決定した場合、指定推薦スカラシップ生として認定し、入学金の一部(10万円)を給付します。(推薦条件等詳細は、各高等学校に通知します。)	給付奨学金	10万円	1回限り		地域の制限なし		併用可	併用可	
	社会人入学直しスカラシップ生制度	その他		その他		本学が行う総合選抜入試、社会人選抜入試及び一般選抜入試において、本学に入学を希望する高卒年齢以上の社会人が、当該入試試験に合格し入学した場合は、社会人スカラシップ生として認定し、入学時に100,000円を奨学金として給付します。本制度の対象となる社会人は、高卒年齢以上の者とし、次のいずれかの項目に該当する者とします。 ① 高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)を卒業した者 ② 通常の課程による3年の学校教育を受けた者 ③ 学校教育法施行規則第105条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者 選考費用補助制度	給付奨学金	15万円	1回限り		地域の制限なし		併用可	併用可	
	社会人入学直しスカラシップ生制度	その他		その他		本学が行う総合選抜入試、社会人選抜入試及び一般選抜入試において、本学に入学を希望する高卒年齢以上の社会人が、当該入試試験に合格し入学した場合は、社会人スカラシップ生として認定し、入学時に100,000円を奨学金として給付します。本制度の対象となる社会人は、高卒年齢以上の者とし、次のいずれかの項目に該当する者とします。 ① 高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)を卒業した者 ② 通常の課程による3年の学校教育を受けた者 ③ 学校教育法施行規則第105条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者 選考費用補助制度	給付奨学金	15万円	1回限り		地域の制限なし		併用可	併用可	
大谷大学	大谷大学入試特別奨学金	その他	入学試験合格後、入学前までの一定期間	入学金・授業料減免 被災者資金支援		特待生・成績優秀者 特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	給付奨学金	入学年度の前期授業料相当額	入学年度の10月	条件を満たす成績上位者の中から予算の範囲内で採用	地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可	
	大谷大学学費奨励金	その他	4月~5月	特待生・成績優秀者 所定の学費基準有り		①高2学年以上の在学学生 ②所定の学費基準有り	給付奨学金	採用年度の前期授業料相当額	採用年度の10月予定	各学科・専攻ごとに1~3名以内(学科・専攻により異なる)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有り併用可	
	養育奨学金	その他	9月~10月	学費支援		在学中、最終修業年限を超えていない者。また、所定の卒業所要単位数を修得済みの学生。生計維持者の年間収入合計金額(基準あり)	給付奨学金	20万円	採用年度の10月	各学年1~2名以内(学年により異なる)	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	条件有り併用可	
	石岡奨学金	その他	8月	学費支援		第4学年、卒業所要単位数94単位以上取得済みの学生。生計維持者の年間収入に基準あり	給付奨学金	33万円3千円	採用年度の11月	3名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有り併用可	
	大谷大学教育ローン補助奨学金	その他	7月~10月	学費支援		経済的理由により修学が困難なため金融機関などの教育ローンを利用した新入生。家計は日本学生支援機構第2種奨学金受給学生推薦基準の取込基準以下。最終修業年限は毎年継続可	給付奨学金	年額上限3万円	毎年3月	毎年20名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	大谷大学留学期間	その他	4月上旬(後期出願学生) 9月下旬(前期出願学生)	留学期間支援制度		本学の留学期間を利用して海外の大学等に留学する学生(交換留学生を除く)	給付奨学金	留学先国・地域及び留学期間ごとに定められた金額を支給する。 A区分(1学期)40万円、(6ヵ月間)22万円 B区分(1学期)30万円、(6ヵ月間)18万円 C区分(1学期)20万円、(6ヵ月間)13万円	留学期間中の学費納入確認後(前期:3月下旬、後期:11月上旬)	前・後期各8名以内		地域の制限なし	教育研究支援課	条件有り併用可	条件有り併用可
	大谷大学留学期間	その他	4月上旬(後期出願学生) 9月下旬(前期出願学生)	留学期間支援制度		本学の留学期間を利用して海外の大学等に留学する学生(交換留学生を除く)	給付奨学金	留学先国・地域及び留学期間ごとに定められた金額を支給する。 A区分(1学期)40万円、(6ヵ月間)22万円 B区分(1学期)30万円、(6ヵ月間)18万円 C区分(1学期)20万円、(6ヵ月間)13万円	留学期間中の学費納入確認後(前期:3月下旬、後期:11月上旬)	前・後期各8名以内		地域の制限なし	教育研究支援課	条件有り併用可	条件有り併用可
	大谷大学留学期間	その他	4月上旬(後期出願学生) 9月下旬(前期出願学生)	留学期間支援制度		本学の留学期間を利用して海外の大学等に留学する学生(交換留学生を除く)	給付奨学金	留学先国・地域及び留学期間ごとに定められた金額を支給する。 A区分(1学期)40万円、(6ヵ月間)22万円 B区分(1学期)30万円、(6ヵ月間)18万円 C区分(1学期)20万円、(6ヵ月間)13万円	留学期間中の学費納入確認後(前期:3月下旬、後期:11月上旬)	前・後期各8名以内		地域の制限なし	教育研究支援課	条件有り併用可	条件有り併用可
	大谷大学留学期間	その他	4月上旬(後期出願学生) 9月下旬(前期出願学生)	留学期間支援制度		本学の留学期間を利用して海外の大学等に留学する学生(交換留学生を除く)	給付奨学金	留学先国・地域及び留学期間ごとに定められた金額を支給する。 A区分(1学期)40万円、(6ヵ月間)22万円 B区分(1学期)30万円、(6ヵ月間)18万円 C区分(1学期)20万円、(6ヵ月間)13万円	留学期間中の学費納入確認後(前期:3月下旬、後期:11月上旬)	前・後期各8名以内		地域の制限なし	教育研究支援課	条件有り併用可	条件有り併用可
	大谷大学留学期間	その他	4月上旬(後期出願学生) 9月下旬(前期出願学生)	留学期間支援制度		本学の留学期間を利用して海外の大学等に留学する学生(交換留学生を除く)	給付奨学金	留学先国・地域及び留学期間ごとに定められた金額を支給する。 A区分(1学期)40万円、(6ヵ月間)22万円 B区分(1学期)30万円、(6ヵ月間)18万円 C区分(1学期)20万円、(6ヵ月間)13万円	留学期間中の学費納入確認後(前期:3月下旬、後期:11月上旬)	前・後期各8名以内		地域の制限なし	教育研究支援課	条件有り併用可	条件有り併用可
	大谷大学留学期間	その他	4月上旬(後期出願学生) 9月下旬(前期出願学生)	留学期間支援制度		本学の留学期間を利用して海外の大学等に留学する学生(交換留学生を除く)	給付奨学金	留学先国・地域及び留学期間ごとに定められた金額を支給する。 A区分(1学期)40万円、(6ヵ月間)22万円 B区分(1学期)30万円、(6ヵ月間)18万円 C区分(1学期)20万円、(6ヵ月間)13万円	留学期間中の学費納入確認後(前期:3月下旬、後期:11月上旬)	前・後期各8名以内		地域の制限なし	教育研究支援課	条件有り併用可	条件有り併用可
	大谷大学留学期間	その他	4月上旬(後期出願学生) 9月下旬(前期出願学生)	留学期間支援制度		本学の留学期間を利用して海外の大学等に留学する学生(交換留学生を除く)	給付奨学金	留学先国・地域及び留学期間ごとに定められた金額を支給する。 A区分(1学期)40万円、(6ヵ月間)22万円 B区分(1学期)30万円、(6ヵ月間)18万円 C区分(1学期)20万円、(6ヵ月間)13万円	留学期間中の学費納入確認後(前期:3月下旬、後期:11月上旬)	前・後期各8名以内		地域の制限なし	教育研究支援課	条件有り併用可	条件有り併用可
	大谷大学留学期間	その他	4月上旬(後期出願学生) 9月下旬(前期出願学生)	留学期間支援制度		本学の留学期間を利用して海外の大学等に留学する学生(交換留学生を除く)	給付奨学金	留学先国・地域及び留学期間ごとに定められた金額を支給する。 A区分(1学期)40万円、(6ヵ月間)22万円 B区分(1学期)30万円、(6ヵ月間)18万円 C区分(1学期)20万円、(6ヵ月間)13万円	留学期間中の学費納入確認後(前期:3月下旬、後期:11月上旬)	前・後期各8名以内		地域の制限なし	教育研究支援課	条件有り併用可	条件有り併用可
	大谷大学留学期間	その他	4月上旬(後期出願学生) 9月下旬(前期出願学生)	留学期間支援制度		本学の留学期間を利用して海外の大学等に留学する学生(交換留学生を除く)	給付奨学金	留学先国・地域及び留学期間ごとに定められた金額を支給する。 A区分(1学期)40万円、(6ヵ月間)22万円 B区分(1学期)30万円、(6ヵ月間)18万円 C区分(1学期)20万円、(6ヵ月間)13万円	留学期間中の学費納入確認後(前期:3月下旬、後期:11月上旬)	前・後期各8名以内		地域の制限なし	教育研究支援課	条件有り併用可	条件有り併用可
	京都産業大学	京都産業大学入試試験成績優秀者奨学金制度	その他	対象者からの申請は不要	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免		一般選抜入試(前期日程)〔中期日程〕スタンダード3科目の試験得点が各学部で成績上位3%の合格者	給付奨学金	(年額)入学後2年間、所定学部の前期学費相当額を給付。	入学年度から2年間(2年次卒業時に卒業成績の優否あり)	人数の上限は100名以内(学部別)	地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可
各学部奨励金		在学中	学部により異なる	特待生・成績優秀者 資格取得支援制度		学業成績優秀者、資格取得者等、学部により異なる	給付奨学金	1~20万円の中で学部により異なる	当該年度限り	学部により異なる	地域の制限なし	各学部事務室	併用可	併用可	
京都産業大学課外活動奨励奨学金		在学中	全年	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免 課外活動支援制度		課外活動において、全国大会などで優勝した者、又は成績ある国際大会の日本代表として出場した者、もしくはこれに相当する実績を収めた者 ※ クラブ部長からの推薦に基づき特待 ※ 全学部対象	給付奨学金	所属学部の前期学費額	当該年度限り	特になし	地域の制限なし	学生部	併用可	併用可	
京都産業大学課外活動奨励奨学金		在学中	全年	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免 課外活動支援制度		本学が団体様体所属している学生で、経済的理由のため課外活動の継続が困難な者 ※ 全学部対象	給付奨学金	(年額)体育系クラブ上限30万円 文化系クラブ上限15万円	当該年度限り	各学部30名以内	地域の制限なし	学生部	併用可	併用可	
京都産業大学つむぎ支援奨学金		在学中	2年次以上	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免 その他	経済的困窮者支援		出願時に、各学年所定の卒業所要単位数を修得している学生 ※ 全学部対象	給付奨学金	上層 前期学費相当額 下層 前期学費相当額	当該年度限り(継続審査あり)	21名以内	地域の制限なし	学生部	条件有り併用可	条件有り併用可
京都産業大学学費給付奨学金		在学中	全年	被災者資金支援		自然災害により被災した学費支援者が災害救助法適用地域に在住しており、経済的理由により学費納入が困難な者 ※ 全学部対象	給付奨学金	上層 前期学費相当額 下層 前期学費相当額	当該年度限り	特になし	地域の制限なし	学生部	条件有り併用可	条件有り併用可	
京都産業大学学費給付奨学金		在学中	全年	被災者資金支援		自然災害により被災した学費支援者が災害救助法適用地域に在住しており、経済的理由により学費納入が困難な者 ※ 全学部対象	給付奨学金	上層 前期学費相当額 下層 前期学費相当額	当該年度限り	特になし	地域の制限なし	学生部	条件有り併用可	条件有り併用可	
京都産業大学学費給付奨学金		在学中	全年	被災者資金支援		自然災害により被災した学費支援者が災害救助法適用地域に在住しており、経済的理由により学費納入が困難な者 ※ 全学部対象	給付奨学金	上層 前期学費相当額 下層 前期学費相当額	当該年度限り	特になし	地域の制限なし	学生部	条件有り併用可	条件有り併用可	
京都産業大学学費給付奨学金		在学中	全年	被災者資金支援		自然災害により被災した学費支援者が災害救助法適用地域に在住しており、経済的理由により学費納入が困難な者 ※ 全学部対象	給付奨学金	上層 前期学費相当額 下層 前期学費相当額	当該年度限り	特になし	地域の制限なし	学生部	条件有り併用可	条件有り併用可	
京都産業大学学費給付奨学金		在学中	全年	被災者資金支援		自然災害により被災した学費支援者が災害救助法適用地域に在住しており、経済的理由により学費納入が困難な者 ※ 全学部対象	給付奨学金	上層 前期学費相当額 下層 前期学費相当額	当該年度限り	特になし	地域の制限なし	学生部	条件有り併用可	条件有り併用可	
京都産業大学学費給付奨学金		在学中	全年	被災者資金支援		自然災害により被災した学費支援者が災害救助法適用地域に在住しており、経済的理由により学費納入が困難な者 ※ 全学部対象	給付奨学金	上層 前期学費相当額 下層 前期学費相当額	当該年度限り	特になし	地域の制限なし	学生部	条件有り併用可	条件有り併用可	
京都産業大学学費給付奨学金		在学中	全年	被災者資金支援		自然災害により被災した学費支援者が災害救助法適用地域に在住しており、経済的理由により学費納入が困難な者 ※ 全学部対象	給付奨学金	上層 前期学費相当額 下層 前期学費相当額	当該年度限り	特になし	地域の制限なし	学生部	条件有り併用可	条件有り併用可	
京都産業大学学費給付奨学金		在学中	全年	被災者資金支援		自然災害により被災した学費支援者が災害救助法適用地域に在住しており、経済的理由により学費納入が困難な者 ※ 全学部対象	給付奨学金	上層 前期学費相当額 下層 前期学費相当額	当該年度限り	特になし	地域の制限なし	学生部	条件有り併用可	条件有り併用可	
京都産業大学学費給付奨学金		在学中	全年	被災者資金支援		自然災害により被災した学費支援者が災害救助法適用地域に在住しており、経済的理由により学費納入が困難な者 ※ 全学部対象	給付奨学金	上層 前期学費相当額 下層 前期学費相当額	当該年度限り	特になし	地域の制限なし	学生部	条件有り併用可	条件有り併用可	
京都産業大学学費給付奨学金		在学中	全年	被災者資金支援		自然災害により被災した学費支援者が災害救助法適用地域に在住しており、経済的理由により学費納入が困難な者 ※ 全学部対象	給付奨学金	上層 前期学費相当額 下層 前期学費相当額	当該年度限り	特になし	地域の制限なし	学生部	条件有り併用可	条件有り併用可	
京都産業大学学費給付奨学金	在学中	全年	被災者資金支援		自然災害により被災した学費支援者が災害救助法適用地域に在住しており、経済的理由により学費納入が困難な者 ※ 全学部対象	給付奨学金	上層 前期学費相当額 下層 前期学費相当額	当該年度限り	特になし	地域の制限なし	学生部	条件有り併用可	条件有り併用可		
京都産業大学学費給付奨学金	在学中	全年	被災者資金支援		自然災害により被災した学費支援者が災害救助法適用地域に在住しており、経済的理由により学費納入が困難な者 ※ 全学部対象	給付奨学金	上層 前期学費相当額 下層 前期学費相当額	当該年度限り	特になし	地域の制限なし	学生部	条件有り併用可	条件有り併用可		
京都産業大学学費給付奨学金	在学中	全年	被災者資金支援		自然災害により被災した学費支援者が災害救助法適用地域に在住しており、経済的理由により学費納入が困難な者 ※ 全学部対象	給付奨学金	上層 前期学費相当額 下層 前期学費相当額	当該年度限り	特になし	地域の制限なし	学生部	条件有り併用可	条件有り併用可		
京都産業大学学費給付奨学金	在学中	全年	被災者資金支援		自然災害により被災した学費支援者が災害救助法適用地域に在住しており、経済的理由により学費納入が困難な者 ※ 全学部対象	給付奨学金	上層 前期学費相当額 下層 前期学費相当額	当該年度限り	特になし	地域の制限なし	学生部	条件有り併用可	条件有り併用可		
京都産業大学学費給付奨学金	在学中	全年	被災者資金支援		自然災害により被災した学費支援者が災害救助法適用地域に在住しており、経済的理由により学費納入が困難な者 ※ 全学部対象	給付奨学金	上層 前期学費相当額 下層 前期学費相当額	当該年度限り	特になし	地域の制限なし	学生部	条件有り併用可	条件有り併用可		
京都産業大学学費給付奨学金	在学中	全年	被災者資金支援		自然災害により被災した学費支援者が災害救助法適用地域に在住しており、経済的理由により学費納入が困難な者 ※ 全学部対象	給付奨学金	上層 前期学費相当額 下層 前期学費相当額	当該年度限り	特になし	地域の制限なし	学生部	条件有り併用可	条件有り併用可		
京都産業大学学費給付奨学金	在学中	全年	被災者資金支援		自然災害により被災した学費支援者が災害救助法適用地域に在住しており、経済的理由により学費納入が困難な者 ※ 全学部対象	給付奨学金	上層 前期学費相当額 下層 前期学費相当額	当該年度限り	特になし	地域の制限なし	学生部	条件有り併用可	条件有り併用可		
京都産業大学学費給付奨学金	在学中	全年	被災者資金支援		自然災害により被災した学費支援者が災害救助法適用地域に在住しており、経済的理由により学費納入が困難な者 ※ 全学部対象	給付奨学金	上層 前期学費相当額 下層 前期学費相当額	当該年度限り	特になし	地域の制限なし	学生部	条件有り併用可	条件有り併用可		
京都産業大学学費給付奨学金	在学中	全年	被災者資金支援		自然災害により被災した学費支援者が災害救助法適用地域に在住しており、経済的理由により学費納入が困難な者 ※ 全学部対象	給付奨学金	上層 前期学費相当額 下層 前期学費相当額	当該年度限り	特になし	地域の制限なし	学生部	条件有り併用可	条件有り併用可		
京都産業大学学費給付奨学金	在学中	全年	被災者資金支援		自然災害により被災した学費支援者が災害救助法適用地域に在住しており、経済的理由により学費納入が困難な者 ※ 全学部対象	給付奨学金	上層 前期学費相当額 下層 前期学費相当額	当該年度限り	特になし	地域の制限なし	学生部	条件有り併用可	条件有り併用可		
京都産業大学学費給付奨学金	在学中	全年	被災者資金支援		自然災害により被災した学費支援者が災害救助法適用地域に在住しており、経済的理由により学費納入が困難な者 ※ 全学部対象	給付奨学金	上層 前期学費相当額 下層 前期学費相当額	当該年度限り	特になし	地域の制限なし	学生部	条件有り併用可	条件有り併用可		
京都産業大学学費給付奨学金	在学中	全年	被災者資金支援		自然災害により被災した学費支援者が災害救助法適用地域に在住しており、経済的理由により学費納入が困難な者 ※ 全学部対象	給付奨学金	上層 前期学費相当額 下層 前期学費相当額	当該年度限り	特になし	地域の制限なし	学生部	条件有り併用可	条件有り併用可		
京都産業大学学費給付奨学金	在学中	全年	被災者資金支援		自然災害により被災した学費支援者が災害救助法適用地域に在住しており、経済的理由により学費納入が困難な者 ※ 全学部対象	給付奨学金	上層 前期学費相当額 下層 前期学費相当額	当該年度限り	特になし	地域の制限なし	学生部	条件有り併用可	条件有り併用可		
京都産業大学学費給付奨学金	在学中	全年	被災者資金支援		自然災害により被災した学費支援者が災害救助法適用地域に在住しており、経済的理由により学費納入が困難な者 ※ 全学部対象	給付奨学金	上層 前期学費相当額 下層 前期学費相当額	当該年度限り							

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否
京都府大学つながらばな修学支援給付奨学金		入学後		学費支援 入学金・授業料減免	前期・後期の年2回募集 全学部1～4回生対象(ただし、1回生前期の出願は不可) 京都府大学の正規課程に在籍し、次のすべての条件を満たす者(通修教育課程を除く) ①高等教育の修学支援新制度の支援対象となっている者(収入基準および資産基準による支援の効力停止条(区分付)を含む) ②日本学生支援機構奨学金(第一種・第二種)の受給者でない者(収入基準および資産基準による支援の効力停止条(区分付)を含む) ③新制度の支援者であるため、第一種奨学金の貸与月額の制限により貸与額が0円となっている学生も出願可 ④奨学金の申込みがまだしていない者 ⑤所属する学科において、アドバイザー教員および学部長の推薦が行われる者	1回につき、前期の授業料および教育充実費の合計相当額の割合(上限100円未満)に達しない希望額を給付。ただし、高等教育の修学支援新制度による授業料減免を差し引いた額とする。/授業料・教育充実費と相殺により給付	前期と後期の年2回募集(2回とも出願・支給可)	各期50名程度を想定	地域の制限なし	スチューデントセンター	併用可	併用不可		
京都府大学緊急経済援助奨学金		入学後		学費支援 入学金・授業料減免	全学部1～4回生対象 (1)出願資格 本学の正規および大学院の正規課程に在籍する学生(外国人留学生および通修教育課程を除く)で、次のいずれかに該当する者。出願は、原則として学費支費事由の発生から6か月以内とする(ただし、新入生(編入生を含む)は前年度3月以降の発生事由によるものとする) ①学費支費事由発生後1週間以内に学費が急変した者 ②学費負担者の失業、廃業、自己破産により家計が急変した者 ③学費負担者の離職、病気による収入減により家計が急変した者 ④学費負担者の急病により家計が急変した者 ⑤上記に定める以外の修学困難と認められる特別な事情が生じた者 ※原則として、1事由に1回、1回のみ支援 (2)緊急支援の対象者 上記①(1)出願資格における具体的な緊急支援の対象者は、以下のとおり。ただし、対象となる生計維持者が定年退職している場合は、支援対象者となない。 ①生計維持者の一方(または両方)が死亡した場合 ②生計維持者の一方(または両方)が失業または廃業し、半年以上、就労が困難になった場合 ③生計維持者の一方(または両方)が失業した場合(非自発的失業の場合に限る) ④経済難化・生計維持者の専業主婦または専業主夫により、専業主婦または専業主夫が失業した場合 ⑤生計維持者が震災、火災、風水害等に被災した場合であって、次のいずれかに該当する場合 震災により、事業や営業を廃業した場合 7歳以下の子計維持者の一方(または両方)が生死不明、行方不明など、世帯収入を大きく減少させる事由が発生した場合 震災により、「家賃の全額」「家賃の半額」「家賃の一部減額または床上げ水による家賃の減額」「家賃の一部減額または床上げ水の水のいづれかが発生した場合 震災による生計維持者の急病による場合 7歳以下の子計維持者の一方(または両方)が急病(離職した職种でない者)らの十分な支援が受けられない場合 7歳以下の子計維持者の一方(または両方)が生死不明、行方不明で家計が急変した場合 その他、上記に定める以上の特別な事情が生じた場合	給付奨学金	前期と後期のいずれか1回	若干名	地域の制限なし	スチューデントセンター	併用可	条件有り併用可		
京都府大学入学時成績優秀者特別奨学金		学校出願時		特性生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	一般選抜前編入日課入試成績優秀者のうち成績が上位の者から、学部ごとに入学定員の1割以内		給付奨学金	後期授業料相当額・学費と相殺により給付	2年間(2年目は審査あり)	2023年度の学部ごとの人数は以下のとおり/総数164名 国際学部12名、文学部24名、発達教育学部14名、総合心身学部16名(国際学部)、経済学部24名、経営学部24名、工学部21名、看護学部10名、健康科学部24名	地域の制限なし	入学課(募集時)、スチューデントセンター(入学後)	併用可	併用不可
京都府大学緊急学費支援奨学金		入学後		学費支援 入学金・授業料減免	●出願資格 学費の滞りによって経済的に修学困難と認められる特別な事情が生じ、学費等の給付が困難となった。以下の選考基準を満たす者 なお、この奨学金は、学費等の給付期間が通り、公的な支援が関与しないような場合に緊急的臨時に貸与する ●選考基準 ①日本学生支援機構の規定する第二種奨学金の「年収、所得の上層階級目安」以下に概ね該当すること ②前年度(修業年度)での卒業、修了がなかったこと。ただし、所定の修業年限に修学期間を含めない ③修学状況、修学事故、授業出席状況等が良好なこと	貸与奨学金	貸与額は80万円以内とし、原則として、学費(授業料・教育充実費・実験実習料の合計相当額)相当額または学費費用等に充当する額以内(ただし、必要に応じて貸与額とする)を/授業料と相殺により貸与	1年度に1回限り	若干名	地域の制限なし	スチューデントセンター	併用可	併用可	
京都府大学看護学部貸与奨学金		入学後		学費支援 入学金・授業料減免	看護学部の1～4回生の正規学生のうち、経済的理由により学費の負担が困難な者で、以下のすべてを満たす者 ①日本学生支援機構第一種奨学金の貸与基準を満たす者 ②前年度(修業年度)での卒業、修了がなかったこと ③学費状況が良好である者(1回生終了時38単位、2回生終了時70単位、3回生終了時90単位以上を修得済みの者。新入生は、36単位以上履修登録のある者。正体課程で授業が可能なこと。理由の制限を設けず、休学期がある者は出願不可) ④卒業後、就職先が確定している者(就職先が確定していない者も、京都府看護修学資金給付奨学金)に申込みをす者	貸与奨学金	年額5万円/授業料と相殺して貸与	年1回(継続を希望する場合は、再申請必要)	50名以内	地域の制限なし	スチューデントセンター	併用可	併用不可	
京都薬科大学														
京都薬科大学給付型奨学金(新入生特待生)		その他	学生からの申請ではなく、入試成績上位者に対してこちらから通知を行う。	特性生・成績優秀者	入学試験成績上位者 ①特待人数 →一般入方式:4名 →一般入方式:1名 →一般入方式:1名		給付奨学金	900,000円	年1回の給付	一般入方式:4名 一般入方式:1名 一般入方式:1名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
京都薬科大学給付型奨学金(成績優秀者)		その他	各年度の成績優秀者に対して大学から通知を行う。	特性生・成績優秀者	入学試験成績上位者 ①特待人数 →一般入方式:4名 →一般入方式:1名 →一般入方式:1名		給付奨学金	500,000円～200,000円	年1回の給付	各年次約15名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
京都薬科大学給付型奨学金(研究・課外活動優秀者)		在学中	2～6年次生 毎年3月頃が申請時期	課外活動支援制度	研究活動、課外活動(クラブ活動・ボランティア活動など)において顕著な業績又は成果を挙げ、他の学生の模範となる者。		給付奨学金	500,000円～200,000円	年1回の給付	10名程度	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
京都薬科大学給付型奨学金(遠隔地出身学生)		その他	入学前12月頃に申請書を本学ホームページに掲載している。 12月末頃に採用可否を通知し、本学入学をもって正式採用となる。	学費支援	①2013年度入学生より遠隔地出身学生に給付型奨学金は、通常に合理的な認められる経路及び方法を利用し、月通120分以上を要する所在地に自宅(保証人の居住地等)があり、下宿生活している本学学部生で、当該学生の父と母とがこれによって学費を支えている者(以下「主たる家族支援者」という。)(1)1年間の総所得金額(一定基準)以下であること ②修学理由により修学困難な学生		給付奨学金	月額8万円(年額80万円)	1年間	12名程度	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
京都薬科大学貸与奨学金		随時		学費支援	修学理由により修学困難な学生		貸与奨学金	年額課料の2分の1以内(90万円)	原則、在学中1回限り	約10名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
京都薬科大学授業料減免制度		在学中	1年～6年次生 なお、1年次生の前期は申請不可	入学金・授業料減免	家計における経済的事情により修学困難な学生、または家計が急変したことにより修学困難な学生(高等教育の修学支援新制度(一定認定者を除く))		免除・減免	前期授業料(900,000円)または後期授業料(900,000円)のいずれかを減免する。	在学中申請まで	年間20名程度	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有り併用可
京都薬科大学法令等に係る授業料減免制度		随時		入学金・授業料減免	大学等における修学の支援に関する法律、大学等における修学の支援に関する法律施行規則に基づき、授業料減免対象者と認定した者(高等教育の修学支援新制度(第一種)を除く)		免除・減免	入学金減免額:400,000円 ※入学年度4月から支援対象となった場合のみ。 前期授業料減免額:450,000円 後期授業料減免額:450,000円	高等教育の修学支援新制度対象期間に準ずる。	人数の制限なし。	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
京都光華女子大学														
経済支援奨学金		在学中	在学年度	用途を定めない経済的支援	【対象学年・学部】 大学・短大合わせて60名 【資格・条件】 ①学費滞り等の経済的に学業終了できる見込者で、かつ学費負担者の経済的理由により修学困難な学生に支給 ②日本学生支援機構第二種奨学金の学力・家計基準および修得単位数をクリアした者		その他	20万円(後学期に充当)	上記の通り	大学・短大合わせて60名	地域の制限なし	学生サポートセンター-学生生活担当	併用可	条件有り併用可
東本願寺奨学金		在学中	各学年	用途を定めない経済的支援	【対象学年・学部】 経済支援奨学金基準に準じ、経済支援奨学金採用者に対して学費の負担が高い者 大学名、短期大学部6名 【資格・条件】 -経済的理由により修学が困難であり、奨学生として採用された場合必ず定額以上のレポートの提出やアンケートに協力できる学生に支給		その他	年額10万円(後学期に充当)	後学期に充当	大学名、短期大学部6名	地域の制限なし	学生サポートセンター-学生生活担当	併用可	条件有り併用可
キャンパスローン科給付奨学金		その他	全学年のうちキャンパスローンを利用した者	学費支援 用途を定めない経済的支援	【対象学年・学部】 全学年のうちキャンパスローンを利用した者 大学・短期大学部、合わせて各学年10名 【資格・条件】 -学費滞り等の経済的に学業終了できる見込者で、本学キャンパスローンを利用し、学費を納入した学生に支給 ②日本学生支援機構第二種奨学金の学力・家計基準をクリアした者		給付奨学金	キャンパスローン科相当額(年額5万円を上限)	2月下旬	大学・短期大学部、合わせて各学年10名	地域の制限なし	学生サポートセンター-学生生活担当	併用可	条件有り併用可
緊急支援奨学金		在学中	緊急に支援が必要になった際	用途を定めない経済的支援 被災者資金支援	【対象学年・学部】 全学年若しくは 【資格・条件】 -学費負担者の死亡または家賃の全額(全壊)、流失の場合:50万円 -家賃の半額(半壊)及び床上げ水の場合:25万円		給付奨学金	50万円 25万円		若干名	地域の制限なし	学生サポートセンター-学生生活担当	併用可	併用可
京都光華女子学園奨学金奨学金		在学中	卒業年度において学費の負担があったもの	学費支援	【対象学年・学部】 大学・短大若しくは 【資格・条件】 -卒業年度に学費滞り等の経済的に学業終了できる見込者で、かつ学費負担者の経済的理由により修学困難な学生に支給 ②日本学生支援機構第二種奨学金の学力・家計基準をクリアした者		給付奨学金	後期学費相当額を上限とし、個別に審議の上、金額を決定		若干名	地域の制限なし	学生サポートセンター-学生生活担当	併用可	条件有り併用可
資格特待生制度		入学後		特性生・成績優秀者 資格取得支援制度	【対象学年・学部】 本学が指定する入学試験に合格した者で、本学が指定する資格を有する大学1年生のみ 【資格・条件】 本学指定の入学試験に合格し入学した者で、本学が指定する資格を有している者(資格特待生)に対して、資格特待生奨学金を支給 -上記の条件を満たすかつかつデザイン系、実用美術技術検定2級以上、情報処理技術者試験(ITパスポート以外)合格、情報処理技術者試験(ITパスポート以外)合格、日商簿記検定2級以上のいずれかの資格を取得していること		給付奨学金	*前期学費相当額 ※ただし情報処理技術者試験(ITパスポート・ITパスポート以外)合格者は入学金相当額	1年次05月	本学指定の入学試験に合格し入学した者で、本学が指定する資格を有している者(資格特待生)	地域の制限なし	学生サポートセンター-学生生活担当	併用可	条件有り併用可
スポーツ推薦奨学金		学校出願時		課外活動支援制度	【対象学年・学部】 本学のクラブ活動および学生生活の活性化を図るとともに、「1」の「理念」の具現化のフロンティアたる個性豊かな活力ある人材の育成を目指すことを目的として -運動能力に優れて秀でた実績がある者またはそれと同等の潜在能力を有する者(現在は陸上競技部(中長距離)を対象)		免除・減免	入学金の100%、80%、50%、30%相当額 学費の100%、80%、50%、30%相当額 実習費の100%、80%、50%、30%相当額	入学金及び4年間	若干名	地域の制限なし	学生サポートセンター-学生生活担当	条件有り併用可	条件有り併用可
外国人留学生成績優秀者奨学金		在学中		特性生・成績優秀者	【対象学年・学部】 各学年の外国人留学生的の30%以内 【資格・条件】 各学年において、特に人物・成績が優秀な外国人留學生に支給 -標準単位数をクリアした者の内、GPAで上位の者		給付奨学金	1位～3位:40万円 4位以下:20万円	10月上旬	各学年において外国人留學生在籍者の30%以内	地域の制限なし	学生サポートセンター-学生生活担当	併用不可	条件有り併用可
学校法人光華女子学園キャンパスローン		随時		用途を定めない経済的支援	【対象学年・学部】 全学年 【資格・条件】 株式会社「エネットコミュニケーション」と提携したキャンパスローン審査をクリアした者は、入学金・授業料・施設設備費・実習費などの納付金の貸与(なお、「キャンパスローン科給付奨学金」の申請も可能)		貸与奨学金	当該年度学費相当額以内(審査あり)	随時		地域の制限なし	学生サポートセンター-学生生活担当	併用可	併用可
特定料優遇制度		学校出願時		その他	特定料割引 【資格・条件】 入学試験入試A日程・B日程および一般入試前期A日程・B日程において2回連続で受験される方、一般入試B日程およびセンタープラス試験(健康実習科)を併願される方は、特定料の優遇制度が適用されます。 インターネット出願で合計金額が5%に10%割引となります。		免除・減免	2日目以降の種別料が2万円割引	学校出願時		地域の制限なし	入学・広報センター	併用可	併用可
有資格者検定免除		学校出願時		その他	特定料免除 【対象学年・学部・資格・条件】 学部の入学試験に合格し、本学に在籍する校(校・園)生、卒業生、卒業生、およびその親等以内の有資格の方を対象に入学特定料を全額免除		免除・減免	入学特定料の全額免除	学校出願時		地域の制限なし	入学・広報センター	併用可	併用可
同時在籍学費減免		在学中		入学金・授業料減免	【対象学年・学部・資格・条件】 本学園の施設設備に兄弟姉妹が同時在籍される場合(第1子が中学校以上在籍)		免除・減免	減免時期は2月末日			地域の制限なし	学課運営部	併用可	条件有り併用可
留学奨学金		その他	留学期	留学費用支援制度	【対象学年・学部・資格・条件】 協定校に留学する、留学選考基準を満たしている者全て		免除・減免	本学の授業料・施設設備相当額	留学期		地域の制限なし	国際交流センター	条件有り併用可	条件有り併用可

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
種智院大学	新入生奨学金給付生選抜制度	入学後		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		対象学年 新入生 学部 人文学部 資格 総合型選抜(プレゼン)、一般選抜、共通テスト利用選抜の成績優秀者に入学後奨学金を給付。第一種 初年度授業料全学免除、第二種 初年度授業料半額、第三種 入学金免除	免除・減免	第一種 750,000円、第二種 375,000円、第三種 200,000円	初年度(1年次)	成績上位者から若干名	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用不可	
	ひとり親世帯等の学生に対する学費減免制度	随時		入学金・授業料減免		対象学年 全学年 学部 人文学部 資格 母子家庭、両親を欠く他等及びそれによる世帯を金の、厳しい経済状況の中、修学の継続を希望する学生 条件 (1)母子家庭、父子家庭、両親を欠く世帯(2)入学時の年齢が1歳未満の者(3)主たる養育費収入が580万円以下の世帯	免除・減免	採用された当該年度授業料等全額、入学予定者は、入学金を併せて半額に減免。	最大4年間	制限なし	地域の制限なし	学生課	併用不可	条件有り併用可	
	特待生及び修学支援奨学生制度	在学中	2年次以上	特待生・成績優秀者 学費支援		対象学年 2年次生以上 学部 人文学部 資格 特待生及び修学支援奨学生は次の各号に該当する条件を満たした者 (1)人物及び学業が特に優秀である者、修学の態度が顕著である者(2)本学に在学中である者かつ修学支援奨学生は、経済的に困窮していることが明確であること、学業支援に必要がある者 条件 特待生は(1)定める科目の単位数を修得していること。(2)定める単位数の1単位当たりの平均点が90点以上でなければならない。 修学支援奨学生は(1)定める科目の単位数を修得していること。(2)定める単位数の1単位当たりの平均点が90点以上でなければならない。 認定基準等が日本学生支援機構の第二種奨学金の推薦基準に該当しなければならない。(2)原則、学業成績は1単位当たり80点以上でなければならない。	給付奨学金	採用された当該年度授業料相当額または一部	採用された当該年度	特待生1名以内、修学支援奨学生2名以内	地域の制限なし	学生課	併用不可	条件有り併用可	
	兄弟姉妹が同時に在籍する学生に対する学費減免制度	在学中		兄弟姉妹入学者	学費支援	対象学年 前年度なし 学部 人文学部 資格 同時に兄弟姉妹が在籍する学生 条件 (1)生計を同じくする兄弟姉妹の上級生、または同学年の場合は長年者(2)主たる養育費が、日本学生支援機構第一種推薦基準に準ずる世帯	免除・減免	当該年度の授業料を半額とし、秋学期授業料に適用する。	採用された当該年度	制限なし	地域の制限なし	学生課	併用不可	条件有り併用可	
	災害等による被災学生に対する学費減免制度	その他		災害被災により学費納入が難しく困難となった時	学費支援	対象学年 全学年 学部 人文学部 資格 (1)在学生採用については、本学に在籍する者(2)新入生採用については、本学入学試験に合格し、入学を予定している者	免除・減免	(1)主たる養育費支持者が地震、風水害で死亡またはそれに準じた被害を受けた場合は、入学金、授業料、施設費を減免する(1,170,000円) (2)主たる養育費支持者が居住する世帯が、地震、風水害により全壊等の被害を受けた場合は、入学金、授業料を減免する(500,000円) (3)主たる養育費支持者が居住する世帯が、地震、風水害により半壊等の被害を受けた場合は、入学金、授業料の半額を減免する(475,000円)	単年度限り	制限なし	地域の制限なし	学生課	併用不可	条件有り併用可	
同志社大学	同志社大学奨学金	在学中	1~4年	学費支援		学部生で在学期間が4年以内の者が対象 学費の支弁に支障のある学生に給付(成績及び家計基準あり)	給付奨学金	2023年度の給付金額(年額) 神、文、社、法、経済、教育、グローバル地域文化学部:300,000円 文化情報、スポーツ健康学部:320,000円 理工、生命農科学部:430,000円 心理、グローバルコミュニケーション学部:340,000円	1か年(毎年出願可)	2022年度採用実績:166名	地域の制限なし	学生支援機構学生生活課	併用不可	併用可	
	同志社大学育英奨学金	在学中	1~4年	特待生・成績優秀者 学費支援		在学期間4年以内の学部生対象 顕著な成績で、学業、文化、芸術、スポーツ・社会活動等において優れた成果をあげ、かつ、学業、人物共に優秀な学部生に対して奨学金を給付 公募及び学費推薦(学部により異なる)	給付奨学金	年額500,000円 大学長より表彰(同志社大賞員賞状あり)	1か年(毎年出願可)	全学年で100名以内	地域の制限なし	学生支援機構学生生活課	併用可	併用可	
	同志社大学寄付奨学金	在学中	2年次生以上(ただし、種別別)	特待生・成績優秀者		学部2年次生以上で、学業、人物共に優秀な者が対象	給付奨学金	年額100,000円	1か年限り	2022年度採用実績:17名	地域の制限なし	学生支援機構学生生活課	併用可	併用可	
	同志社大学修学特別支援奨学金	在学中	在学期間4年以内の学部生	学費支援 被災児童資金支援		在学期間4年以内の学部生対象 次の1)の2つ以上に該当する者 ①災害・学業の困難・病気等で生じた生計維持者(父母またはこれに代わって生計を維持する者)が死亡 または重篤の疾病等により経済的な困難に陥った場合、または災害等により居住する住宅(主たる生活拠点を有する住宅)が被災している(日本国領内に在籍する)が年額以上の被害を受けたことにより、著しい状況が急変した場合とする 認定基準等が日本学生支援機構第二種奨学金入込基準以下であること	給付奨学金	年額200,000円	1か年限りで、在学期間中に1回限りの給付	2022年度採用実績:7名	地域の制限なし	学生支援機構学生生活課	併用可	併用可	
	同志社大学外国協定大学派遣留学生に対する奨学金	在学中	3月		留費用支援制度		派遣留学期間が4ヶ月未満の場合は20万円、6ヶ月以上の場合は40万円	給付奨学金		年1回、一括支給	特に上限は定めていない	地域の制限なし	国際課	条件有り併用可	
	サマープログラム及びスプリングプログラム履修者に対する奨学金	在学中	留学期終了後		留費用支援制度		サマープログラム及びスプリングプログラムに参加した学生	給付奨学金	5万円	年1回、一括支給	特に上限は定めていない	地域の制限なし	国際課	併用不可	
	セメスタープログラム履修者に対する奨学金	在学中	留学期終了後		留費用支援制度		セメスタープログラムに参加した学生	給付奨学金	20万円	年1回、一括支給	特に上限は定めていない	地域の制限なし	国際課	併用不可	
	認定奨学生に対する奨学金	在学中	留学期開始前		留費用支援制度		本学の認定する国々の大学に3ヶ月以上留學する学生	給付奨学金	派遣留学期間が6ヶ月未満の場合は16万円、6ヶ月以上の場合は30万円	年1回、一括支給	特に上限は定めていない	地域の制限なし	国際課	併用不可	
	EUキャンパスプログラム履修者に対する奨学金	在学中	留学期開始前(12月頃、7月頃)		留費用支援制度		EUキャンパスプログラムに参加した学生	給付奨学金	20万円	年1回、一括支給	特に上限は定めていない	地域の制限なし	国際課	併用不可	
	同志社女子大学新島賞	入学後			特待生・成績優秀者		各学科・専攻の最終年次生で学力・人物ともに特に優秀な者に対し、創立者の志を継ぎ、一層の向上を奨励する。学部長または学科主任の推薦による。	給付奨学金	年額200,000円	創設6月	15名(2020年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	同志社女子大学奨学金	在学中			用途を定めない経済的支援		学部生で経済上の補助を必要とする優秀な者	給付奨学金	授業料相当額の2分の1以内	創設4月または10月(次年度への継続なし)	6名(2020年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	条件有り併用可	条件有り併用可
	松下紀美子記念奨学金	在学中			用途を定めない経済的支援		学部生(卒業年次生は除く)で経済上の補助を必要とする優秀な者	給付奨学金	授業料相当額の2分の1以内	創設9月(次年度への継続なし)	1名(2020年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	条件有り併用可	条件有り併用可
	花宮朝子記念奨学金	在学中			用途を定めない経済的支援		学部生(卒業年次生は除く)で経済上の補助を必要とする優秀な者	給付奨学金	授業料相当額の2分の1以内	創設9月(次年度への継続なし)	2名(2020年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	条件有り併用可	条件有り併用可
	同志社女子大学同窓会<Vineの会>奨学金	在学中			用途を定めない経済的支援		卒業年次生で経済上の補助を必要とする優秀な者	給付奨学金	授業料相当額の2分の1以内	創設4月(次年度への継続なし)	3名(2020年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	条件有り併用可	条件有り併用可
	内田節子・滝子奨学金	在学中			用途を定めない経済的支援		親権者が死亡した者(最終学年年次生)	給付奨学金	年額50,000円	創設9月(次年度への継続なし)	1名(2020年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	条件有り併用可	条件有り併用可
五平さん奨学金	在学中			用途を定めない経済的支援		経済的理由により留学期間なし学生	給付奨学金	年額50,000円	創設9月(次年度への継続なし)	2名(2020年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	条件有り併用可	条件有り併用可	
内田美智子奨学金	在学中			用途を定めない経済的支援		不慮の災害・親権者の死亡等により家計が急変した者	給付奨学金	年額50,000円	創設9月(次年度への継続なし)	2名(2020年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	条件有り併用可	条件有り併用可	
山田崇子奨学金	在学中			用途を定めない経済的支援		経済的理由により留学期間なし2年次生	給付奨学金	年額50,000円	創設9月(次年度への継続なし)	1名(2020年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	条件有り併用可	条件有り併用可	
新島八重記念奨学金	在学中			用途を定めない経済的支援		経済的理由により留学期間なし、4年次生(兼学部は、6年次生)	給付奨学金	年額50,000円	創設9月(次年度への継続なし)	15名(2020年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	条件有り併用可	条件有り併用可	
篤志家奨学金	在学中			用途を定めない経済的支援		不慮の災害・親権者の死亡等により家計が急変した者	給付奨学金	年額50,000円	創設9月(次年度への継続なし)	2名(2020年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	条件有り併用可	条件有り併用可	
同志社女子大学現代社会学会奨学金	在学中			用途を定めない経済的支援		現代社会学部生で経済的補助を必要とする学力・人物ともに優秀な者	給付奨学金	年額50,000円	創設9月(次年度への継続なし)	7名(2020年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	条件有り併用可	条件有り併用可	
同志社女子大学英語英文学会奨学金	在学中			用途を定めない経済的支援		英語英文学部生で、経済上の補助を必要とする学習態度優秀な者(2年次生以上)	給付奨学金	年額80,000円または100,000円	創設9月(次年度への継続なし)	12名(2020年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	条件有り併用可	条件有り併用可	
同志社女子大学日本語日本文学学会奨学金	在学中			用途を定めない経済的支援		日本語日本文学科生で経済上の補助を必要とする学習態度優秀な者	給付奨学金	年額50,000円	創設9月(次年度への継続なし)	1名(2020年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	条件有り併用可	条件有り併用可	
同志社女子大学生活科学会奨学金	在学中			用途を定めない経済的支援		生活科学部生で経済上の補助を必要とする学力優秀な者	給付奨学金	年額50,000円	創設9月(次年度への継続なし)	20名(2020年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	条件有り併用可	条件有り併用可	
同志社同窓会奨学金	在学中			用途を定めない経済的支援		経済上の補助を必要とする学力・人物ともに優秀な者(2年次生以上)	給付奨学金	年額150,000万円	創設5月(次年度への継続なし)	6名(2020年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	条件有り併用可	条件有り併用可	
同志社同窓会ミス・デントン記念奨学金	在学中			用途を定めない経済的支援		第24歳以上の社会人学生(2年次生以上)	給付奨学金	年額100,000円	創設5月(次年度への継続なし)	2名(2020年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	条件有り併用可	条件有り併用可	
E. L. ヒバード記念奨学金	在学中			学費支援		最終年次生で卒業後1年以内(大学院進学を予定している者、もしくは本学大学院に在学中、修了後1年以内に海外留学を予定している者)	給付奨学金	年額500,000円以内	創設9月(次年度への継続なし)	3名(2020年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	条件有り併用可	条件有り併用可	
同志社女子大学漢山樵三・李乃記念海外留學奨励会	在学中			留費用支援制度		本学最終年次に在学中、卒業後1年以内に海外留學を予定している者、もしくは本学大学院に在学中、修了後1年以内に海外留學を予定している者	給付奨学金	年額500,000円以内	創設9月(次年度への継続なし)	1名(2020年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	条件有り併用可	条件有り併用可	
災害救助法適用地域で被災した受験生に対する特別措置	在学中			入学金・授業料減免		被災中に災害救助法適用地域で被災された世帯の受験生(学部・大学院・専攻科)で以下に該当する方を対象 (1)災害により父母がいずれか死亡した者 (2)養育費支持者がご父母以外の場合、災害により養育費支持者が亡くなった方 (3)災害により父母がいずれかが負傷され、入院し、長期加療が必要な方 (4)災害発生直後に被災地内の場合、災害により養育費支持者が負傷され、入院し、長期加療が必要な方 (5)災害により養育費支持者の居住する世帯が被災した場合、又は震災により引き継ぎ同居家族に居住することが困難と認められる方。 (6)その他災害により学費支弁が難しく困難となったと認められる方。	免除・減免	被災時に隣接地の入学試験(後援受験生)に対して、入学決定料を全額免除します。また、入学試験の合格者に対して、入学金全額と入学年度の専攻科学費(授業料・実験実習料・教育実習料)の2分の1を免除します。			地域の制限なし	学生支援課	条件有り併用可	条件有り併用可	
同志社女子大学サポーターズ委員会「ふどうの樹」奨学金	在学中			用途を定めない経済的支援		学部生	給付奨学金	各学部の授業料の2分の1	創設9月(次年度への継続なし)	0名(2020年度実績)	地域の制限なし	学生支援課	条件有り併用可	条件有り併用可	

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
京都ノートルダム女子大学	京都ノートルダム女子大学特待生奨学金	在学中	2年次生から4年次生	特待生・成績優秀者	下記の条件をすべて満たすこと (1) 2, 3, 4年次生の在学学生 (2) 前年度の修得単位数が、卒業科目目の合計修得単位数(31単位)を取得している者 (3) 前年度のGPAが0.8以上である者 前年度の学業成績・人物ともに優秀で他の学生の模範であると認められ、所属学部から推薦された者	給付奨学金	10万円	1年	各学科から1名(心理学12名)	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有り併用可		
	京都ノートルダム女子大学テレシニア課外活動給付奨学金	在学中	2年次生から4年次生	学費支援 課外活動支援制度	下記の条件をすべて満たすこと。(1) 本学のテレシニアを構成する公開講座に所属し、結果をもって課外活動を行い、成果をあげている2年次生以上の学生 (2) 学生生活をめぐる者 (3) 卒業に要する科目の合計修得単位数以上を取得し、修業年限で卒業を確実にできる見込みのある者 (4) 家庭の経済的理由により学費が自己負担に支拂いが必要となる者 ※応募資格は京都ノートルダム女子大学と協賛校の給付を受けていない者	給付奨学金	20万円を上限とする。	1年	若干名	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有り併用可		
	京都ノートルダム女子大学英語英文学科留学特待生制度	在学中			留学費用支援制度	(1) 英語英文学科の学生で、極めて優秀な成績を挙げ、かつ入国が確実、海外における学修に具体的な目的及び強い意欲がある者。 (2) 京都ノートルダム女子大学国際英文学科留学制度が定めるTOEFLの基準点数を取得している者。 (3) 申請時に英語英文学科1年次(在籍し、1年次の必修科目を所定の成績(A)以上で合格する見込みであり、かつ、卒業単位のうち1年次の合計40単位以上を修得する見込みである者。 (4) 留学目的及び計画が明確で、留学を全うする意思が強く、留学による効果が期待できる者。 (5) 本学が協定を結ぶ英語英文学科へ留学し、留学期間終了後、本学へ復学して学業を継続する者。 (6) 他団体等から留学のための奨学金を受給しない者。 本学推薦型留学型英語英文学科グローバルレベルアップコースに在籍し、次の各号の条件をすべて満たす者、30名以内に行われる。 (1) 心身ともに健康であること。 (2) 本学での修業科目の出席状況と学習態度、成績が良好であること。 (3) 申請時点でTOEFL iBT、TOEFL iTP、TOEFL iTP、TOEFL iBTのいずれかを受験し、留学に必要な一定の英語力の基準(併用して、TOEFL iBT45、TOEFL iTP450、TOEFL iBT40)を満たしていること。 (4) 1年次の英語英文学科必修科目単位をすべて修得済であること。 (5) 1年次のGPAが2.5以上であること。 (6) 留学を全うする意思が強く、留学期間終了後任意に本学へ復学して学業を継続する者。 (7) 本学の推薦状について、原則として、差支(差支がないこと)	給付奨学金	0.1より100万円以下	1年	上限3名まで	地域の制限なし	国際教育課	併用可	条件有り併用可	
	京都ノートルダム女子大学グローバルレベルアップコース留学奨学金	在学中			留学費用支援制度	本学推薦型留学型英語英文学科グローバルレベルアップコースに在籍し、次の各号の条件をすべて満たす者、30名以内に行われる。 (1) 心身ともに健康であること。 (2) 本学での修業科目の出席状況と学習態度、成績が良好であること。 (3) 申請時点でTOEFL iBT、TOEFL iTP、TOEFL iTP、TOEFL iBTのいずれかを受験し、留学に必要な一定の英語力の基準(併用して、TOEFL iBT45、TOEFL iTP450、TOEFL iBT40)を満たしていること。 (4) 1年次の英語英文学科必修科目単位をすべて修得済であること。 (5) 1年次のGPAが2.5以上であること。 (6) 留学を全うする意思が強く、留学期間終了後任意に本学へ復学して学業を継続する者。 (7) 本学の推薦状について、原則として、差支(差支がないこと)	給付奨学金	0.1より200万円以下		最大30名まで	地域の制限なし	国際教育課	併用可	併用不可	
	京都ノートルダム女子大学セメスター認定留学制度	在学中			入学金・授業料減免	留学の意思が強く、心身ともに健康で、以下の条件を満たしていること。 (1) 用済する時点で本学に1年以上在学していること。 (2) 用済するセメスター(認定留学)を完了し、卒業することが可能であること。 (3) 本学の授業科目の出席状況が良好で、用済する必修科目に不適合点がないこと。 (4) 申請時点でTOEFL iBTが4.0以上を達成していること。 (5) 用済する学期までの成績がGPA2.5以上であること(1年次生の場合は、留学申請時の直前の学期までの成績を対象とする)。	免除・減免	留学するセメスター(1年)の授業料(1/2)に相当する額(210,000円)が減免される。1年(半)×2回留学する場合も各期に減免が認められる。教育充実費(1年間×60,000円)の年額(1/2)の額は留学期間が長くなるにつれて減免される。ただし、出費、毎月1回留学月間(1人)なし。	半年ないし1年	特になし	地域の制限なし	国際教育課	併用可	条件有り併用可	
	京都ノートルダム女子大学新入生支給奨学金	入学手続時			特待生・成績優秀者 学費支援	次の各号を満たすもの (1) 出身高等学校長の推薦があり、本学での修学の意思が明確である者 (2) 出身高等学校において成績優秀と認められる者 (3) 経済的な理由等により特に必要があると認められる者	給付奨学金	当該年度授業料の半額以内、後期学費に充当することができる。	1年	若干名	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有り併用可	
	京都ノートルダム女子大学上級生支給奨学金	在学中			特待生・成績優秀者 学費支援	次の各号を満たすもの (1) 2, 3, 4年次生 (2) 本学での修学の意思が明確であり、成果の見込みがあること。 (3) 学業成績が優秀と認められる者 (4) 経済的な理由等により、特に必要があると認められる者	給付奨学金	当該年度授業料の半額以内、後期学費に充当することができる。	1年	若干名	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有り併用可	
	京都ノートルダム女子大学同窓会マリアンスカラシップ	在学中			4年次生	次の各号をすべて満たす者 (1) 4年次生 (2) 卒業要件単位取得見込みがあること(卒業が可能であること) (3) 学業成績・人物ともに優秀な者 (4) 同窓会員の薦めを受ける者 (5) 卒業後は同窓会の活動に積極的に参加する意思のある者 (6) 日本学生支援機構奨学金およびその他奨学金の受給者でないこと	給付奨学金	当該年度授業料の半額以内、後期学費に充当することができる。	1年	若干名	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有り併用可	
	マザーテレシアグアルハルデンガー賞奨学金	在学中			全学年	学費支援	以下の各号を満たすこと (1) 学部生・大学院生(学業は問わず) (2) 学業に意欲があり、成果・功業の見込みがあること。 (3) 経済的理由により、学修の継続が困難であること。	貸付奨学金	当該年度学費の半額以内(無条件貸付)、後期学費に充当することができる。	1年	若干名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	京都ノートルダム女子大学保護者会特別奨励奨学金	随時			学費支援	次の各号を満たす者 (1) 家族支援者の死亡、離婚、失業、倒産などによる家族の急変のための経済的支援が特に必要であると認められ、助成奨励金を受ける者。 (2) 保護者急変を認められ、今後扶助の途が断絶する見込みがある者。 (3) 家族の急変事由が発生した月から6ヶ月以内の申請であること。 (4) 卒業に要する科目の合計修得単位数が規定通り、学業成績が優れている見込みのある者	給付奨学金	20万円を上限とする。学費が未納の場合は学費に充当することができる。	1年、なお給付は在学中(1回)を原則とする。	特になし	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	京都ノートルダム女子大学東日本大震災被災者特別支援奨学金	在学中			その他	東日本大震災において両親もしくはいずれかの親を亡くした通学・祖産で公益財団法人、みらいの未来基金の奨学生として認定された者。	給付奨学金	① 第1種奨学金 入費以外の者へ生活支援金として月額5万円 ② 第2種奨学金 入費・食費・衣費 全額	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	条件有り併用可		
	特待生制度(スカラシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ)		学校出願時			1. 選考を実施する入試試験種別 一般入試Ⅰ期・Ⅱ期・前期(スカラシップⅠはⅠ期のみ) 2. 対象者 (1) スカラシップⅠ 一般入試Ⅰ期の出願者全員。 出願者の中で、自動的にスカラシップ選考Ⅰの対象者となります。 (2) スカラシップⅡ 2023年12月末までにおこなわれた本学入試試験に合格し入学生続きを完了している者のうち、希望者。詳細は入試試験要項を参照のこと。 3. 特待生 条件において、原則として、選考時点で得点率80%以上で受験者の成績上位の者。(選考は「国語(現代文)」「英語」の重点の合計で行います。英語外部検定試験利用での加点のない点数で選考します。)	免除・減免	特待生 初年度授業料半額(420,000円)免除		入学初年度のみ	一般Ⅰ期 20名、Ⅱ(Ⅰ)については一般Ⅰ期 4名、一般Ⅱ期 4名も有り。	地域の制限なし	入試・広報課(入試担当)	併用可	併用可
京都ノートルダム女子大学韓国カトリック大学交換留学制度		在学中		その他	大学期学費相互免除制度が適用	留学の意思が強く心身ともに健康で以下の条件を満たしていること。 学学生の場合(全学科対象) (1) 留学前に本学に2年以上の学修を終了し、留学する前々学期までの成績がGPA2.8以上であること。 (2) 用済するより交換留学先として応募することが許可されること。 (3) 留学以前に本学でコア語(Ⅰ・Ⅱ)を修得(または修得見込み)していること。あるいはそれと同等以上のコア語(韓国語)の知識があると認められること。 (4) 韓国で行われる授業を受けることのできる十分な言語能力を有する者。	その他	地域の制限なし	国際教育課	併用可	条件有り併用可				
京都ノートルダム女子大学英語スピーチコンテスト奨学金		その他			出願時または入学までに申請することができる。	① 入学金(20万円)+授業料(84万円×2回)+教育充実費(34万円×2回)=254万円免除 ② 入学金(20万円)+授業料(84万円×1回)+教育充実費(34万円×1回)=138万円免除 ③ 入学金 20万円 免除 (在学中に大学が定める条件がクリアで最大4年間免除も可能) ④ コンテスト本大会入賞者(上記①)を除く(本大会出場者)9名程度、入学金+入学金後1年間学費免除 ⑤ コンテスト書籍審査1次選考合格者(上記②)を除く8名程度、入学金免除 2024年度入試試験出願時もしくは入学までに下記書類を提出。 ・本学英語スピーチコンテスト奨学金申請書(本学所定用紙) ・コンテストで成績を挙げたもの(コピー可、原本の場合、確認送却)	免除・減免	①入学金(20万円)+授業料(84万円×2回)+教育充実費(34万円×2回)=254万円免除 ②入学金(20万円)+授業料(84万円×1回)+教育充実費(34万円×1回)=138万円免除 ③入学金 20万円 免除	①入学後2年間 ②入学後1年間 ③入学年度のみ	①3名 ②2名程度 ③6名程度	地域の制限なし	入試・広報課	併用可	併用可	
京都ノートルダム女子大学英語スピーチコンテスト奨学金		その他			出願時または入学までに申請することができる。	① 入学金(20万円)+授業料(84万円×2回)+教育充実費(34万円×2回)=254万円免除 ② 入学金(20万円)+授業料(84万円×1回)+教育充実費(34万円×1回)=138万円免除 ③ 入学金 20万円 免除 (在学中に大学が定める条件がクリアで最大4年間免除も可能) ④ コンテスト本大会入賞者(上記①)を除く(本大会出場者)9名程度、入学金+入学金後1年間学費免除 ⑤ コンテスト書籍審査1次選考合格者(上記②)を除く8名程度、入学金免除 2024年度入試試験出願時もしくは入学までに下記書類を提出。 ・本学英語スピーチコンテスト奨学金申請書(本学所定用紙) ・コンテストで成績を挙げたもの(コピー可、原本の場合、確認送却)	免除・減免	①入学金(20万円)+授業料(84万円×2回)+教育充実費(34万円×2回)=254万円免除 ②入学金(20万円)+授業料(84万円×1回)+教育充実費(34万円×1回)=138万円免除 ③入学金 20万円 免除	①入学後2年間 ②入学後1年間 ③入学年度のみ	①3名 ②2名程度 ③6名程度	地域の制限なし	入試・広報課	併用可	併用可	
京都ノートルダム女子大学英語スピーチコンテスト奨学金		その他			出願時または入学までに申請することができる。	① 入学金(20万円)+授業料(84万円×2回)+教育充実費(34万円×2回)=254万円免除 ② 入学金(20万円)+授業料(84万円×1回)+教育充実費(34万円×1回)=138万円免除 ③ 入学金 20万円 免除 (在学中に大学が定める条件がクリアで最大4年間免除も可能) ④ コンテスト本大会入賞者(上記①)を除く(本大会出場者)9名程度、入学金+入学金後1年間学費免除 ⑤ コンテスト書籍審査1次選考合格者(上記②)を除く8名程度、入学金免除 2024年度入試試験出願時もしくは入学までに下記書類を提出。 ・本学英語スピーチコンテスト奨学金申請書(本学所定用紙) ・コンテストで成績を挙げたもの(コピー可、原本の場合、確認送却)	免除・減免	①入学金(20万円)+授業料(84万円×2回)+教育充実費(34万円×2回)=254万円免除 ②入学金(20万円)+授業料(84万円×1回)+教育充実費(34万円×1回)=138万円免除 ③入学金 20万円 免除	①入学後2年間 ②入学後1年間 ③入学年度のみ	①3名 ②2名程度 ③6名程度	地域の制限なし	入試・広報課	併用可	併用可	
京都ノートルダム女子大学英語スピーチコンテスト奨学金		その他			出願時または入学までに申請することができる。	① 入学金(20万円)+授業料(84万円×2回)+教育充実費(34万円×2回)=254万円免除 ② 入学金(20万円)+授業料(84万円×1回)+教育充実費(34万円×1回)=138万円免除 ③ 入学金 20万円 免除 (在学中に大学が定める条件がクリアで最大4年間免除も可能) ④ コンテスト本大会入賞者(上記①)を除く(本大会出場者)9名程度、入学金+入学金後1年間学費免除 ⑤ コンテスト書籍審査1次選考合格者(上記②)を除く8名程度、入学金免除 2024年度入試試験出願時もしくは入学までに下記書類を提出。 ・本学英語スピーチコンテスト奨学金申請書(本学所定用紙) ・コンテストで成績を挙げたもの(コピー可、原本の場合、確認送却)	免除・減免	①入学金(20万円)+授業料(84万円×2回)+教育充実費(34万円×2回)=254万円免除 ②入学金(20万円)+授業料(84万円×1回)+教育充実費(34万円×1回)=138万円免除 ③入学金 20万円 免除	①入学後2年間 ②入学後1年間 ③入学年度のみ	①3名 ②2名程度 ③6名程度	地域の制限なし	入試・広報課	併用可	併用可	
花園大学	学業特待生奨学金	入学手続時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	1年次の全学部学生対象 下記入試においての成績優秀者 ①自己推薦A・B各日程の各学部入試決定点の成績上位10位以内 ②自己推薦C日程の全学部入試決定点の成績上位10位以内 ③学校推薦型選抜(指定校入試)の全学部入試決定点の成績上位10位以内 ④一般選抜A・B各日程の各学部入試決定点の成績上位10位以内の合格者 ⑤一般選抜C日程の各学部入試決定点の成績上位5位以内	免除・減免	①入学金・授業料、教育充実費を最大4年間全額免除 ②成績により4年間(授業料と教育充実費の半額免除)	①4年間	①～⑤ 人数制限なし	地域の制限なし	入試部 入試課	併用可	条件有り併用可		
	ファミリー奨学金	入学手続時		学費支援 入学金・授業料減免	1年～4年生の全学部学生対象 ①在学生の兄弟姉妹 ②同窓会・後援会の二親等以内の入学生予定者	免除・減免	①先に入学している兄弟姉妹の最終修得年層までの後期授業料減免 ②入学金全額免除	①4年間 ②1回限り	①～② 人数制限なし	地域の制限なし	学務部 学生支援課	併用可	併用可		
	100年の学び奨学金	入学手続時		入学金・授業料減免	1年～4年生の全学部学生対象 社会人、社会人編入生試験で合格した50歳以上の学生	免除・減免	50歳代で授業料40%免除 60歳代で授業料40%免除 70歳代で授業料40%免除 80歳代で授業料40%免除 90歳代で授業料40%免除 100歳代で授業料100%免除	4年間	人数制限なし	地域の制限なし	学務部 学生支援課	併用可	併用可		
	留学生奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	1年～4年生の全学部留学生対象 在留資格が「留学」の私費留学生で、月額5万円以上の奨学金を受給していない成績優秀者	免除・減免	自分の間、後期授業料30万円免除	4年間	人数制限無し	地域の制限なし	学務部 学生支援課	併用可	併用可		
	佐藤教育基金奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援	1年～4年生の全学部留学生対象 優秀な成績で、経済的理由のため修学が困難な留学生	給付奨学金	7万円	年に1回給付	人数制限なし	地域の制限なし	学務部 学生支援課	併用可	併用可		
	佛敎大学	佛敎大学奨学生奨学金	在学中	2～4年生の学部生	特待生・成績優秀者	①学業・人物ともに優秀である者、但し、最短期年層内の者に限る。 ②2～4年生の学部生	給付奨学金	30万円(半年度)		各学科若干名	地域の制限なし	学生支援部 学生支援課	併用可	併用可	
佛敎大学障がい学生奨学生奨学金	在学中	2～4年生の学部生		特待生・成績優秀者	①障がいのある者 ②学業・人物ともに優秀である者、但し、最短期年層内の者に限る。 ③2～4年生の学部生	給付奨学金	30万円(半年度)		若干名	地域の制限なし	学生支援部 学生支援課	併用可	併用可		
佛敎大学育英奨学生奨学金	在学中	2～4年生の学部生		特待生・成績優秀者 学費支援	以下の申込資格を満たす2～4年生の学部生で、学業成績上位者より選考 ・学力基準＝最短期年層(休学期間を除く)で卒業が可能となる者 ・学費基準＝日本学生支援機構奨学金(第二種奨学金)に準じる者 ・学費基準＝日本学生支援機構奨学金(第二種奨学金)に準じる者 ※奨学金は佛敎大学同窓会(在学卒業生の会)	給付奨学金	30万円(半年度)		若干名	地域の制限なし	学生支援部 学生支援課	併用不可	併用不可		
佛敎大学課外活動奨学生奨学金	在学中	2～4年生の学部生		課外活動支援制度	①課外活動において卓越した成果をあげ、本学の栄誉を高めた者、但し、最短期年層内の者に限る。 ②2～4年生の学部生	給付奨学金	30万円(半年度)		若干名	地域の制限なし	学生支援部 学生支援課	併用可	併用可		
佛敎大学後援会奨学金	在学中	2～4年生の学部生		学費支援	以下の申込資格を満たす者 ・学力基準＝最短期年層(休学期間を除く)で卒業が可能となる者 ・学費基準＝日本学生支援機構奨学金(第二種奨学金)に準じる者 ・学費基準＝日本学生支援機構奨学金(第二種奨学金)に準じる者 ※奨学金は佛敎大学同窓会(在学卒業生の会)	給付奨学金	経済状況により、10万円(半年度)・20万円(半年度)		専・林各30名(10万円20名、20万円10名)	地域の制限なし	学生支援部 学生支援課	併用不可	併用不可		
佛敎大学同窓会奨学金	在学中			学費支援	以下の申込資格を満たす者 ・学力基準＝大学が定める標準単位数を修得し、卒業が可能な者 ・学費基準＝日本学生支援機構奨学金(第二種奨学金)に準じる者 ※奨学金は佛敎大学同窓会(在学卒業生の会)	給付奨学金	10万円(半年度)		20名	地域の制限なし	学生支援部 学生支援課	併用不可	併用不可		
佛敎大学教職員互助会奨学金	在学中		8セメスター～在学中の学部生	学費支援	8セメスターに在学し、以下の申込資格を満たす者より選考 ・学力基準＝当該年層(9月または10月)で卒業が可能となる者 ・学費基準＝大学在学中の12ヶ月以内(休学期間を除く)の成績により、学費支給に準じた学費納入し、学費納入が困難な者	給付奨学金	当該学科学費料の1/2まで(半年度)		18名以内	地域の制限なし	学生支援部 学生支援課	併用不可	併用不可		
佛敎大学入試試験成績優秀者奨学金	在学中		1～4年生の学部生(成績順に審査あり)	特待生・成績優秀者	一般選抜(A日程)において総合順位が40%以上の合格者で、各学部合格者の上位3%以内(併用して、申請書類を提出した者)。 ※学年進級時に審査を行い、最長4年間の継続あり。	給付奨学金	当該学科学費料の1/2			地域の制限なし	学生支援部 学生支援課	併用不可	併用不可		
佛敎大学学費給付金	在学中			学費支援	以下の申込資格を満たす者 ・学力基準＝最短期年層(休学期間を除く)で卒業が可能となる者 ・学費基準＝大学在学中の12ヶ月以内(休学期間を除く)の成績により、学費支給に準じた学費納入し、学費納入が困難な者	給付奨学金	10万円～当該学科学費料の1/2まで			地域の制限なし	学生支援部 学生支援課	併用不可	併用不可		
佛敎大学災害奨学金	在学中			被災者資金支援	災害救助法が適用される規模の災害により、経済的理由から修学が難しく困難に陥った在学学生に対し、被災、り災状況により給付。「非常災害」によって被害が及ぼされた12ヶ月以内にある者。	給付奨学金	地域の制限なし	学生支援部 学生支援課	条件有り併用可	条件有り併用可					

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
立命館大学															
立命館大学近畿圏外からの入学者を支援する奨学金(2023年度入学者)	その他		出願期(11月中旬~12月初旬)	用途を定めない経済的支援 その他	遠方からの進学者の推進・入学者支援 その他	以下①②③すべてを満たす者 ①立命館大学への入学を志す者。2023年度第一志願者(大学入学共通テスト方式、大学入学共通テスト併用方式を含む)を受験する者。 ②出願期(11月中旬)までに、出願書および生計維持者(父母)の所得証明(源泉徴収簿、源泉簿、住民税、所得税、住民税、所得税、住民税)以外の所得証明がある者。または出願書および生計維持者が外国人に居住しているもの(海外転出履歴)を提出し出願している者。 ③前年度(前年度)の生計維持者の収入が前年度(前年度)の年収が、給与収入金額(前年度)の場合で400万円未満、事業・その他所得金額の場合で414万円未満であり、当該事業を継続する公的書類を提出できる者。 ※日本学生支援機構給付奨学金及び立命館大学学費減免との併給は不可(出願は可能)	給付奨学金	文系学部(後援学部除く)1年額50万円 理系学部(後援学部除く)1年額50万円	修業年限2年度(4年制)2学期(15年間)	約400名	地域の制限なし	次官学生オフィス	併用不可	条件有り併用可	
立命館大学社会実務員減免(入学者限定)	その他		4月入学者は2月~4月上旬 9月入学者は10月上旬	学費支援		<2023年度事業実施要項に記載> 以下の条件(1)~(3)のすべてを満たしていることが必要です。 (1)2022年度本学前期入学試験の出願者(出願予定者)もしくは合格者で、大学の進級が保証されること。 (2)2022年1月以降から2023年3月31日までに、以下①②③いずれかの事由が発生した者 ①生計維持者(父母等)の死亡 ②生計維持者(父母等)が重度後遺障害に認定 ③自然災害により生計維持者(父母等)の居住する家屋が被災(半壊以上) ④自然災害により生計維持者(父母等)が負傷し50日以上長期入院・加療の必要が生じた (3)上記②の事由発生後の生計維持者の年間収入が、給与収入の場合600万円以下、 自営業その他所得の場合197万円以下であること。 ※本制度は国の「高等教育の修学支援新制度」の家計色変の授業料減免制度を包括した制度です。本制度に出願する場合は、原則、日本学生支援機構給付奨学金の家計色変にも出願していただきます。	免除・減免	年間授業料1/4の額	入学期(年度)のみ	出願資格を満たす者は、全員採用候補者とする。	地域の制限なし	次官学生オフィス	条件有り併用可	併用可	
立命館大学学費減免	在学中		新1年生~新4年生(薬学部薬学科は1~6年生)に在籍する学学生	学費支援 その他	国の高等教育の修学支援新制度に基づき授業料等減免制度と、本学の独自制度を包括した授業料減免制度。 【新入学生】本学への入学をもって資格ありとする。 ただし、日本学生支援機構の支援区分による授業料減免額を受けられる場合は、以下の基準を満たす必要がある。 ①以下いずれかに該当すること。 ②高専学校等における評定平均値が5以上であること。 ③卒業認定試験の合格者であること。 ④卒業、修業等において、進路を自覚をもって学修する意欲を有していることが、学修計画書等により確認できること。 【在学中】 ①IPACに在籍する学部における上位1/2の範囲に属すること。 ②専修、自主学習等の修学支援制度に基づき、進路を自覚し、進路する目標をもって学修する意欲を有していること。学修計画書により確認できること。 ※①②いずれかに該当する場合でも、学業成績の適格認定基準を満たさない場合は不採用となる。	日本学生支援機構給付奨学金の支援区分による授業料減免額と、本学の支援区分による年間授業料(2または1/4)のいずれか大きい方を減免。 ①第一区分>700,000円または授業料1/2の減免 ②第二区分>468,700円または授業料1/4の減免 ③第三区分>258,400円または授業料1/4の減免 ④大学科目区分(授業料)の1/4の減免 ※いずれも年間授業料率に、決定した減免額を授業料から差し引く方法で給付	免除・減免	1万円~16万円 ※給付額については、達成された成果に応じて学部で決定	修業年限まで(毎年、6月末)継続(継続費あり)	基準を満たす方全員	地域の制限なし	次官学生オフィス	条件有り併用可	条件有り併用可	
立命館大学西園寺記念奨学金(成績優秀者)	その他		選考基準にもとづき、給付人数内で優秀者から順に学部が推薦・決定します。	特待生・成績優秀者		学部での学修を究め、成績優秀な学生	給付奨学金	文系学部(後援学部除く)1学期あたり15万円 理系学部(後援学部除く)1学期あたり30万円		奨学生となった学生が本奨学金を辞退する場合は、学費の滞りを行い、手続完了した者に対して、給付金額全額一括して給付します。春学期、8月中旬、秋学期、2月中旬	地域の制限なし	各学部の定員の2%以内	各学部事務室	併用可	条件有り併用可
立命館大学+学部奨学金	その他		各学部の選考要項を詳細を確認して下さい。 ※2021年度情報理工学部の例 出願は2回の申請が必要。6月に計画を出願登録し、12月に計画に対する結果を申請	その他	所属する学部の学修の取組において優れた成果を挙げた者への支援	所属する学部の学修の取組において優れた成果を挙げた学生	給付奨学金	1万円~16万円 ※給付額については、達成された成果に応じて学部で決定		奨学生に対して、奨給決定通知後、受給の手続きを完了し、給付を開始。併給可能な奨学金との併給は、併給可能な奨学金の金額を上限として給付	地域の制限なし	各学部の範囲で学部長が定める	各学部事務室	併用可	併用可
立命館大学海外留学チャレンジ奨学金	在学中			留学費用支援制度		当該奨学金の給付対象となる海外留学プログラムに参加が決定した者	給付奨学金	参加する留学プログラムにより異なる。(10万円~100万円)			地域の制限なし	次官国際教育センター			
立命館大学海外留学サポート奨学金	在学中			留学費用支援制度		当該奨学金の給付対象となる海外留学プログラムに参加が決定または参加中で、経済的な理由で海外留学の参加・継続が困難な者(学務課採用型・家計色変型)。父母年収合計が給与収入600万円以下、その他所得197万円以下の学生	給付奨学金	給付上限額10万円~100万円			地域の制限なし	各キャンパス国際教育センター			
立命館大学校友会未来人材育成奨励金	在学中			その他		社会の様々な問題解決に資する実践的な活動に取り組んでいる学生(団体) ①本学の学部または研究科・修士課程、博士課程前期課程もしくは(一貫制修士課程)1年次もしくは2年次または専門学位課程に在籍する正規生を以上を含む対象としている団体であること。 ※学部・研究科・講座等の多様な学芸が構成する団体であることが望ましい。 ②本学卒業生(在学期間中の在学)からの推薦を受けること。 ※推薦者は、日本の活動において、指導・助言いただける方を任せてください。 また、コロナ禍における活動においても指導・助言を依頼していただく。 ③地域社会(リアル・デジタル)への貢献活動に貢献し、取組の成果を報告していること。	給付奨学金	「新規出願」1年額15万円、30万円、50万円 「継続出願」1年額15万円			地域の制限なし	BKC学生オフィス			
立命館大学西園寺記念奨学金(短期試験合格者)	在学中			資格取得支援制度		公益会計士、国家公務員総合職など大学が指定する短期試験を目指す学生 本学において、短期試験とは次の試験をいいます。 ①公認会計士試験 ②国家公務員採用総合職試験 ③外務省専門員採用試験 ④特別職国家公務員採用試験 ⑤国家公務員総合職試験 ⑥国家公務員採用総合職試験	給付奨学金	30万円	申請は一人1件		地域の制限なし	キャリアセンター			
立命館大学家計色変奨学金(学学生在)	在学中			学費支援		減免対象 ・本学学部の正規課程に在籍する専修標準年層を超えている者を含む。ただし、外国人留学生は除く。 出願については以下の出願資格(1)~(3)を満たしていることが必要です。 (1)2023年度本学学部の正規課程に在籍する者(標準標準年層を超えている者を含む) (2)急変事由が当該奨学金の申請から1年以内に発生した者で、以下①②③いずれかの事由が発生した者 ①生計維持者(父母等)の死亡 ②生計維持者(父母等)が重度後遺障害に認定 ③自然災害により生計維持者(父母等)が居住する家屋の被災 ④自然災害により生計維持者(父母等)が50日以上長期入院・加療 (3)上記②の事由発生後の生計維持者の年間収入が、給与収入の場合600万円以下、 自営業その他所得の場合197万円以下であること。 ※本制度は、国の「高等教育の修学支援新制度」の家計色変の授業料減免制度を包括した制度です。本制度に出願する場合は、原則、JASSO家計色変にも出願していただきます。JASSO家計色変への出願は、家計色変の申請が完了した日から1ヶ月以内です。	免除・減免	本制度の減免額は、年間授業料の1/4の額(諸金費等は減免対象としない) 同一事由による減免は1回限り。		出願資格を満たす者は、全員採用候補者となります。※併給可能な奨学金との併給は、併給可能な奨学金の金額を上限として給付	地域の制限なし	次官学生オフィス	条件有り併用可	条件有り併用可	
立命館大学父母教育後援委員会奨学金	在学中			学費支援		学部にて在籍する学生であり、学生の授業料を負担する者で本学の父母教育後援会の会員である者 に、以下の事由の出発日から起算して1年以内に発生したことが必要となります。 ※ 学生でないが、(大学入学共通テスト)に合格し、入学を志す者を含む。 在学中に下記の家計色変事由が生じ、学修が困難となった者 (1)生計維持者(父母)の死亡 (2)生計維持者(父母)が重度後遺障害により就労不能となった場合 (3)兄弟姉妹が立命館大学の学生の場合は、それぞれ出願可。	免除・減免	給付決定があった日が属する学期から在学期間が4年(薬学部薬学科は在学期間6年)に達する学期までの授業料相当額を奨学金として給付します。 但し、給付決定があった日属する学期に在学期間4年を超えている場合は、その学期から2学期分を奨学金として給付。給付期間中に卒業・退学等で学修を失った場合は、給付を中止します。	出願資格および出願要件を満たした方全員に支給	地域の制限なし	次官学生オフィス				
立命館大学父母教育後援会災害支援奨学金	在学中			学費支援 災害資金支援		学部にて在籍する学生であり、学生の学費負担者が父母教育後援会の会員である者。 学部の災害被害者が、学生の在学中に災害により下記の被害を受けた場合 ①1年以上の学修を中断する重篤な人的被害を受けた場合 ②居住している家屋の全壊、半壊、全壊、半壊、床上浸水の被害を受けた場合 出願は臨時募集、災害発生後から1ヶ月以内に提出してください。 ※卒業生は、当該年度の1月末日までです。	給付奨学金	給付決定があった日が属する学期々々から2学期々々3分の1の授業料相当額を奨学金として給付します。 ※他の授業料減免もしくは授業料から差し引く形で給付する奨学金を当該学期々々3分の1に差し引く場合は、当該学期々々3分の1の奨学金の給付は授業料相当額までです。	原則として出願日より1ヶ月以内に採否を学生本人に通知	地域の制限なし	次官学生オフィス				
立命館大学学びのコミュニティ学外活動奨励奨学金	在学中			その他		対象は授業(ゼミナール)を基とした学内外での学修活動や学生自治会・国内外大学・諸機関との交流などの学修活動に積極的に取り組む学生。 応募は授業担当教員が行う(学生からは応募できない)。	給付奨学金				地域の制限なし	各学部事務室			
立命館大学Challenge奨学金(個人)	在学中			その他		大学の学修活動にとどまらず、様々な社会問題の解決に資する個人での自主活動。 ※正課・正課外の区別は問わないが、いずれの場合も通常の学修の延長上における成果の達成が期待できるものとします。 ※個別にコロナウイルス感染においても、実施可能な取り組みであることを条件とします。 【対象とする例】 ①正課および課外 学生個人が証や課外の通常の活動範囲を超えていた活動範囲において、その解決を目的し、自主的に取り組む活動 ②クラブ・サークル・学外活動等 ③自主的に取り組む活動(所属する団体での活動の延長として、個人で何か新しい活動に挑戦する場合) 【対象としない例】 ①自身のキャリアアップのみを目的とした勉強や活動(資格取得など) ②通常の範囲内の活動(1年単位以上卒業論文・論文のみの活動) ③クラブ・サークル等の活動範囲内の活動(〇〇大会優勝を目指す個人練習等) ④外部の団体に所属して、その一環とみられる活動	給付奨学金	1)個人支出支援(通常の活動実績は問わないが、計画に具体性があり実現が可能であると判断される場合) 活動1万円、10万円 2)高度化支援(過去の活動実績があり、引き続き高い成果が期待される場合)5万円、10万円、20万円、30万円 ※給付は申請年度を単位として決定します。	400名(最大)	地域の制限なし	BKC学生オフィス				
龍谷大学															
家計奨学金	在学中		1~4年生	学費支援		目的 経済的理由により修学に困難がある他、学業とも優れた学生に対する奨励。(申請は毎年可能) 対象 学学生・短期大学部生 申請資格 申請にあたっては、次の基準をすべて満たしていることが必要。 ①学力に関する基準 日本学生支援機構第二種奨学金推薦基準を充足していること。 ②家計に関する基準 日本学生支援機構第一種奨学金推薦基準を充足していること。 ③学生本人が日本学生支援機構奨学金の第二種奨学金を申し込んでいること。(申請中の者も含む) ④高等教育の修学支援新制度の支援を受けていないこと(当該年度における高等教育の修学支援新制度の受給者は対象外とする) 別添基準を定める。	給付奨学金	500,000円 / 250,000円 / 150,000円	12月中旬		地域の制限なし	学生部	併用不可	併用可	
アカデミック・スカラシップ奨学金(在学採用型)	在学中		2~4年生	特待生・成績優秀者		対象 学学生・短期大学部生の2~4年生で、学業成績・人物が特に優秀な者。(申請は毎年可能) 推薦・推薦 別添基準を定める。	給付奨学金	200,000円			地域の制限なし	学生部	併用可	併用可	
優秀スポーツ選手奨学金	学校出願時			特待生・成績優秀者		対象 サークル部長・学部長等から推薦された学学生・短期大学部生・大学院生で、学業・スポーツ活動ともに積極的に取り組む意志が確認できる学生。(推薦は毎年可能) 資格 A給付 全日本と認められる者。または1年以上で4年間の活躍が認められる者 B給付 全日本大会ベスト4以上の主力選手(全日本大会ベスト4以上の活躍が認められる者) C給付 地区大会ベスト4以上の主力選手(地区学生選と認定される者)	給付奨学金	A給付 500,000円 B給付 300,000円 C給付 100,000円			地域の制限なし				
課外活動奨学金	学校出願時			特待生・成績優秀者		対象 サークル部長・学部長等もしくは各学部・研究科長から推薦された学学生・短期大学部生・大学院生で、学業・課外活動等に積極的に取り組んでいる学生。(推薦は毎年可能) 資格 A給付 社会的に大きな評価(業績)を受け、更なる活躍が期待できる者 B給付 特に顕著な業績をおさ、今後の活躍が期待できる者 C給付 顕著な業績をおさった者	給付奨学金	原則として次の推薦額の範囲内 A給付 500,000円 B給付 200,000円 C給付 100,000円			地域の制限なし				
ひと暮らし支援奨学金	学校出願時			その他		対象 本学が定める入学試験により入学し、大学進学に伴いひとり暮らしを開始し、経済的理由により進学に費用負担が困難な学生。	給付奨学金	給付額 200,000円		上限100名	地域の制限なし		併用可	併用可	
家計色変奨学金	学校出願時			学費支援		対象 指定年月以内に生計維持者が何らかの事由(自己都合(定年退職・自己都合退職・転職等)以外)により、収入が減少し、当該年度の学費を工面することが困難になった学学生・短期大学部生・大学院生。 ※在学期間中1年以上の変更が対象。(給付は在学期間において1回限り) 申請資格 給付対象者の場合 ①所属する学部等が設定する単位優秀者に該当しないこと ②主たる家計維持者の最近3年の年収収入を比較した場合に、30%以上減少が認められること ③生計維持者(原則収入高)の急変事由(収入減少)による収入減少額が、4,000円未満であること 推薦者の場合 ①所属する学部等が設定する単位優秀者に該当しないこと ②生計維持者(原則収入高)の最近3年の年間所得を比較した場合に、30%以上減少が認められること ③生計維持者(原則収入高)の急変事由(収入減少)による収入減少額が、2,010,000円未満であること	給付奨学金				地域の制限なし		併用不可		
災害給付奨学金	学校出願時			被災者資金支援		対象 学学生・短期大学部生及び大学院生のも。自然災害等により被害を受けた地域に本人又は父母のいずれか又は家族支持者が居住しており、学費負担が困難である旨の証明を受けた者で、かつ、被災者支援基金に加入していること。次の各条のいずれか(又は)を要件とする。 ①災害により父母のいずれか(又は)家族支持者が亡くなった場合 ②災害により父母のいずれか(又は)家族支持者が負傷し1ヶ月以上の療養が必要となる場合 ③災害により父母(又は)家族支持者の家屋が全壊(全壊)又は大規模半壊した場合 ④災害により父母(又は)家族支持者の家屋が半壊(半壊)又は床上浸水により引き続き居住することが困難と認められる場合 ⑤次の形式等により災害被害を証明し、認められたと認められる場合	給付奨学金	次の金額を上乗せとする 1)父母のいずれか(又は)家族支持者が亡くなった場合は家賃が全壊(全壊)若しくは大規模半壊の場合、年間授業料相当額 2)父母のいずれか(又は)家族支持者が負傷し1ヶ月以上の療養が必要となる場合は、年間授業料相当額 3)1)の他の事由の場合は、奨学委員会が決定する。 ※併給可能な奨学金との併給は、併給可能な奨学金の金額を上限として給付			地域の制限なし				

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否		
京都文教大学	成績優秀奨学金	その他	郵政利用・学業成績(GAP)上位から選出する	特待生・成績優秀者	本学独自の給付奨学金で、2年次生～4年次生を対象として前年度までの学業成績(GPA)により選考する。	給付奨学金	25万円			2年次生～4年次生を対象として前年度までの学業成績により選考する。	2年次生～4年次生、各学年6名～11名	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有り併用可	
	京都文教大学後援後援奨学金<給付型>	入学後		学費支援	読書の意志が認められるかかわらず読書の重要性が生じたため、学費の支弁が難しく困難となった学生を対象とする。本学教育後援会による奨学金制度。専攻科目(全学)毎の半額(1名)、(推薦生専攻)毎(2名)、(奨学生専攻)毎(2名)。	給付奨学金	30万円			在学中2回	18名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	毎月奨学金<給付型>	入学後		学費支援	本学独自の給付奨学金。1年次生対象(2月下旬)予定)に基き、2年次生より標準修業年限(給付は3年間)まで給付。半額毎に12万円支給。大学1年次の成績と家族状況を元に給付的に決定する。	給付奨学金	半額ごとに12万円			3年間	3名採用	地域の制限なし	学生課	条件有り併用可	条件有り併用可	
	ブライム奨学金<給付型>	在学中	卒業年度 4年次		学費支援	京大文学部創立100周年記念事業の一環として、家計急変等経済的理由により卒業が困難になった学生を支援するために設けられた奨学金である。	給付奨学金	卒業最終学期の授業料及び教育充実費(奨励金を上乗せする)			卒業最終学期	無記入とする	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	京都文教大学 進路探求奨学金(給付)	学校出願時			学費支援	自身の進路実現に向けて積極的に学習に取り組み積極的意欲を持ち、全学の学習活動の活性化に寄与できる学生を本学へ迎え入れることを目的とし、給付型の奨学金制度です。より進路実現を目指すプロジェクトの一つとして、本学以外の大学または短期大学の入学試験に挑戦された経験がある方であれば、どこまで申請したいかによって、採用人数は全学併せて89名で、入学年度の1年次前期(春学期)中に、100,000円が給付されます(返還不要)。出願時に学費に申請書を送る。※入学年度の新学期開始前までに進路先を決定していないことが条件	給付奨学金	100,000円			1年次春学期	89名	地域の制限なし	アドミッションオフィス	併用可	併用可
嵯峨美術大学	総合型選抜教育支援奨学金	学校出願時		入学金・授業料減免	総合型選抜1期または2期に合格し、入学される方全員に、入学までの教育支援金として奨学金を給付。	給付奨学金 免除・減免	100,000円を給付。(入学金200,000円の内、半額を免除する方法で給付)			1回限り	人数制なし	地域の制限なし	入学広報グループ	併用可	条件有り併用可	
	学校(指定校)推薦型選抜奨学金	入学後		学費支援	1.学校(指定校)推薦型選抜を受験して入学される方。2.入学後の入学金または授業料について実費を支えている方(または家族計支持者一人)の2023年分の総年収入が600万円以下、その他所帯の場合は200万円以下であること。【高等教育修学支援新制度区分1・2の対象者を除く】	給付奨学金 免除・減免	初年度納付金のうち、387,500円を給付。(初年度納付金のうち、第3回納付金を免除する方法で給付)			1回限り	人数制なし	地域の制限なし	入学広報グループ	併用可	条件有り併用可	
	スカラシップ(特別奨学生)選抜奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者	スカラシップ(特別奨学生)選抜に合格し、入学された方に、特待生として奨学金を給付。	給付奨学金 免除・減免	年間500,000円給付。(初年度納付金のうち、第4回納付時に減免する方法で給付。2年次以降は後期納付時に減免)			4年間	年間10～20名程度	地域の制限なし	入学広報グループ	併用可	条件有り併用可	
	ファミリー入奨学金	入学手続時		入学金・授業料減免	各種入試合格者のうち本学留年卒業・在学生の父兄、子弟または兄弟姉妹の方。(親子または兄弟姉妹が同時に合格した場合はそのうち1名を除いた方)	給付奨学金 免除・減免	200,000円を給付。(入学金を全額免除する方法で給付)			1回限り	人数制なし	地域の制限なし	入学広報グループ	併用可	条件有り併用可	
	嵯峨美術大学奨学金	入学後		入学金・授業料減免	学内規定による申し込み資格要件(取得単位、成績、家計収入)あり	給付奨学金 免除・減免	採用年度の授業料1/2相当額を限度として、100,000円～500,000円の範囲で給付			当該年度1回限り	1年間の名程度	地域の制限なし	学生・キャリア支援グループ	併用可	条件有り併用可	
嵯峨美術大学ワークスタディ奨学金	入学後			用途を定めない経済的支援	経済的に修学困難な学生で授業の空き時間や休日に計画的に一定時間以上作業に従事できる者	給付奨学金	月額25,000円			12ヶ月	年間10～20名程度	地域の制限なし	学生・キャリア支援グループ	併用可	条件有り併用可	
京都医療科学大学	特待生入奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	一般入試(前期日程)の合格者成績上位6名(1～3位:3名、4～6位:3名) 合格者成績上位 1～3位 80万円給付(初年度授業料全額相当) 合格者成績上位 4～6位 45万円給付(初年度授業料半額相当)	給付奨学金	合格者成績上位 1～3位 80万円給付(初年度授業料全額相当) 合格者成績上位 4～6位 45万円給付(初年度授業料半額相当)			いずれも1回限り	一般入試(前期日程)の合格者成績上位6名(1～3位:3名、4～6位:3名)	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
	特待生奨学金	在学中	2年生～4年生(申請は不要)	特待生・成績優秀者 学費支援	2年～4年生の学生対象(前年度の成績より) ・給付条件:前年度末の課外30名までの者 ・人 数:各学年成績上位6名(1年6名) ・奨学金の内容:合格者成績上位 1～3位 45万円	給付奨学金	・給付条件:前年度末の課外30名までの者 ・人 数:各学年成績上位6名(1年6名) ・奨学金の内容:合格者成績上位 1～3位 45万円			1回限り	・人 数:各学年成績上位3名(1年3名)	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
	資格取得奨励奨学金 ●受験奨励金	在学中		資格取得支援制度	・対 象:全学年 ・奨学金の内容: ①放射線取扱主任者試験受験者:1万円 ②ビジネス検定・TOEIC試験 受験者:金額 ③その他検定試験の受験者:2万円 ・給付条件:在学中であれば、申請回数に上限は設けない ・人 数:制無し	給付奨学金	・奨学金の内容: ①放射線取扱主任者試験受験者:1万円 ②ビジネス検定・TOEIC試験 受験者:金額 ③その他検定試験の受験者:2万円			申請回数に上限は設けない	・人 数:制無し	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
	資格取得奨励奨学金 ●合格奨励金	在学中		資格取得支援制度	・奨学金の内容:放射線取扱主任者試験合格者:10万円(第1種放射線取扱主任者講習の受講費用補助) ・給付条件:在学中1回まで申請可能 ・人 数:制無し	給付奨学金	・奨学金の内容:放射線取扱主任者試験合格者:10万円			1回限り	・人 数:制無し	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
	経済支援奨学金 / 家計急変緊急支援奨学金	在学中		学費支援 入学金・授業料減免	※特例※ 家計急変緊急支援にも新たに設置 対象:学費止め等により異なり収入減のあった学生を支援 奨学金の内容:経済支援奨学金と同様	給付奨学金	・奨学金の内容:後期納付金の一部に充当し給付(最高で40万円)				・人 数:全学年で15名 以内	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
学外活動奨学金(国際交流奨学金・学費参加奨励金)	在学中		研修支援制度 留学費用支援制度	※国際交流奨学金※ ・対 象:全学年(海外研修への参加が認められた者) ・奨学金の内容:海外研修旅費用等の一部(上限10万円) ・給付条件:海外研修の参加が認められ継続先が決定している者 ※学費参加奨励金※ ・対 象:全学年(学費への参加が認められた者) ・奨学金の内容:学費費用等の一部 ・給付条件:学費(学内外)の参加が認められた者	給付奨学金	※国際交流奨学金 海外研修旅費用等の一部(上限10万円) ※学費参加奨励金:学費費用等の一部				・人 数:参加者数による	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可		
京都看護大学 追手門学院大学	京看護大学特別奨学金Ⅱ	在学中	2～4学年	特待生・成績優秀者	学業人物ともに優れ2～4年生の学部生(若干名) 大学にて選考	給付奨学金	20又は30万円			1年間	各学年3名 合計12名	地域の制限なし	教務部	併用可	併用可	
	追手門学院大学様から奨学金入学前未定型	入学手続時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	対象学年:学部:全学部の1年生が対象 資格:合格者成績上位2名から3名程度を対象とし、入学手続き期間中に申請する	給付奨学金 免除・減免	年間授業料相当額			当該年度限り	年間100名程度	地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有り併用可	
	追手門学院大学様から奨学金卒業・課外活動奨励型	在学中	2年生以上	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免 課外活動支援制度	対象学年:学部:全学部の2～4年生 資格:学力基準と家計基準を満たした者 ●学力基準 <学業>:前年度1年間のGPAが3.7以上 <学業>:課外活動量<前年度1年間のGPAと課外活動等のポイントの合計が9.5以上 ●家計基準:世帯収入(父世帯、母世帯)のいずれか一方が前年度の給与収入が384万円以下、自営業の場合は所得が355万円以下	給付奨学金 免除・減免	GPA又はGPAと課外活動等のポイントの合計が3.50以上。 年間授業料相当額が3,840～3,890 年間授業料相当額の1/3 3,700～3,770 年間授業料相当額の1/3 3,500～3,690 200,000円			当該年度限り	年間100名程度	地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有り併用可	
	追手門学院大学教育後援会給付奨学金	在学中	1年生～4年生	学費支援	対象学年:学部:全学部の1年生～4年生 資格:学力基準と家計基準を満たし、他の学生の模範となる者 ●学力基準 前年度の修得単位数が、2年生:31単位以上、3年生:42単位以上、4年生:53単位以上。 ●家計基準 前年度、高等学校の評定平均値が3.5以上 日本学生支援機構第一種の基準に準じる。 (本人家庭で世帯世帯の世帯収入は、父世帯の収入が給与収入の合計約800万円以下)	給付奨学金	年間授業料相当額の半額			当該年度限り	年間30名	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	条件有り併用可	
	追手門学院大学教育後援会修学奨励給付奨学金	随時		学費支援	対象学年:学部:全学部の1～4年生 資格:学費支弁者の死亡により世帯収入が激しく減少し、学費等の納入が困難になった者	給付奨学金	年間50万円を一括支給			単年度限り	人数制なし	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
追手門学院大学学費減免	随時			学費支援 入学金・授業料減免 課外活動支援	対象学年:学部:全学部の1～4年生 資格:奨励による修業中授業料の納入が困難になった者 条件:事由発生後1年以内に証明書を添付の申請すること	免除・減免	減免状況により ●当該学期の授業料及び施設設備充実費等の一部 ●当該学期の授業料及び施設設備充実費等の半額			当該事由につき1回限り	人数制なし	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
追手門学院大学資格取得奨励金制度	在学中			資格取得支援制度	対象者:全学部学生 資格:定められた学業成績を満たしていること 条件:入学後に取得した資格であること ・合格年度の申請であること ・在学中に取得した資格であること ・所定の必要書類を全て提出していること ・定められた申請期間中に申請を行っていること ・資格取得後1学期が経過していないことであること ・その他、本件に関する規程に基づきこと	その他	取得資格により異なる。 取得資格:2万資格 金 額:300,000円～10,000円			1年間、1回限り	人数の制限はない。 申請を受理し、定まった期間中に申請を行った学生に支給。	教職・キャリア支援課	併用可	併用可		
追手門学院大学学費奨励金	入学後			留学費用支援制度	対象者:本学の1～4年生全員 2応募条件 (1)学生のみなさんの自由な発想から生まれる正課外活動であること。 (2)プロジェクトから以上の取り組みであること。 (3)300時間以上の取り組みであること。 (4)活動日誌及び報告書等を記録すること。 (5)当該年度内で取り組むプロジェクトであること。 (6)前年度より、専攻もしくは専攻にプロジェクトとして申請してもらうこと。 (7)企画に必要とする者は、所定の企画書・申請書を提出すること。 (企画書・申請書は審査の上、実施の可否を決定します) (8)プロジェクト終了後、事業報告書と会計報告書を提出すること。	その他	プロジェクト最大40万程度支給 ※給付額は申請内容を審査し決定します。			当該年度のみ	プロジェクト8人以上、上限人数なし	地域の制限なし	教務課	併用可	併用可	
海外インターンシップ支援	入学後			留学費用支援制度	対象学年:1年生～3年生 対象条件:一定以上のGPAが求められ、他、議決の決議が後援付けられる等の条件が課される場合がある。	その他	参加プログラムによる			参加プログラムによる	参加プログラムによる	地域の制限なし	教務課	併用可	併用可	
小学校教諭一種免許取得給付奨学金	入学後			資格取得支援制度	本学に在籍する3年生以上の学部学生で、「小学校教諭一種免許取得支援プログラム」の履修を許可されたものうち、学業成績(GPAと教職関係科目の成績)が優秀であるもの	給付奨学金	金額は、「支援プログラムの履修に必要な費用のうち、「入学金」資格費課料」「授業料45単位分」相当(全費用の約半額)ただし、「支援プログラム」の履修を継続する見込みがないときや、在学中に「小学校教諭一種免許」を取得することができなかった場合は、実施されない。			当該事由につき1回限り	人数制なし	地域の制限なし	教職支援室	併用可	併用可	
短期海外留学奨励奨学金	在学中		全学年対象	留学費用支援制度	・対象学年:全学年 ・対象学部:全学部 ・資格:なし ・条件: -出願から受給までの期間、本学学則生であり休学していないこと -事前事後研修・オリエンテーション等の行事に全て参加していること	給付奨学金	奨学金支給対象の留学プログラムを以下3つのレベルに分類し、各レベルに該当する金額を奨学金として支給。 ・プロジェクト(上級):150,000円 ・チャレンジ(中級):60,000円 ・ベレンク(初級):40,000円			若干名	対象となる留学プログラム修了後(条件を満たした場合)に一斉金として支給	地域の制限なし	国際連携企画課	併用可	併用可	
新道交換留学奨励金	在学中		全学年	留学費用支援制度	・対象学年:全学年 ・対象が学部:全学部 ・資格: -奨励金締切までに留学留学が確定している者 -選考GPAが3.5以上又は交換留学の留学申請書が満たす者 ・条件: -渡航期間中の授業料給付等の課料がない -学期留学を修了し、「交換留学Ⅰ」又は「交換留学Ⅱ」の科目が認定された者	給付奨学金	・選考GPA3.2以上かつ指定される各言語の留学検定試験スコアを満たす者 50,000円又は160,000円 ・選考GPA3.5以上かつ指定される各言語の留学検定試験スコアを満たす者 100,000円又は200,000円			若干名	留学プログラム修了後1条件を満たした場合に一括金として支給	地域の制限なし	国際連携企画課	併用可	併用可	
語学検定補助	在学中		全学年対象	資格取得支援制度	・対象学年:全学年 ・対象学部:全学部 ・資格及び条件: 支給基準を満たす各種語学検定試験資格を取得した者	給付奨学金	各種語学検定試験の受験費用相当額					地域の制限なし	国際連携企画課	併用可	併用可	
追手門学院大学校友会若山奨学生制度	入学後			用途を定めない経済的支援 課外活動支援制度 その他	対象学年:学部:全学部の1年生 資格:以下の条件のいずれかに該当し、人物、家計状況、学力の進歩基準を満たす者 ①税金申告等が適切に実施されている者 ②学部1年生のうち、運動や芸術などの活動で秀でた者 条件:奨学生に採用された場合は、在学中及び卒業後に校友会活動及び奨励活動に積極的に関わらなければならない。	給付奨学金	年間2万円			当該年度限り	1(奨励券)31名 2(奨励券)若干名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
国際学部入学特高短期留学奨励金規程	入学手続時			留学費用支援制度	対象学年:1年生 学 部:国際教養学部国際教養学科グローバルスタヂーズ専攻 格 質:一定水準以上のTOEFLやIELTSなどの英語技能を証明する資格 (詳細は本学入学申請要項を参照してください) 条 件:本学が指定する入学試験で合格し、国際学部国際教養学科グローバルスタヂーズ専攻に入学する者	免除・減免	上述(3)の点数・級数に相当して160,000～425,000円まで支給			入学年度限り	特:1名のはい	地域の制限なし	教務課	併用可	併用不可	

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否
大阪医科大学	大阪医科大学医学部奨学金	入学後		学費支援 用紙を定めない経済的支援	成績、人物ともに優秀であって、経済的理由により修学困難な医学部生	貸与奨学金	約170万円	①1年間 ②1回限り	30名	地域の制限なし	医学事務課			
	大阪医科大学仁京会奨学金	入学後		学費支援	人物・成績ともに優秀で、経済的理由により修学が困難な医学部生	貸与奨学金	約60万円	①1年間 ②1回限り	7名	地域の制限なし	医学事務課			
	学校法人大阪医科大学 駒沢奨学金	在学中		学費支援	人物・成績ともに優秀で、経済的理由により修学が困難な医学部女子学生	給付奨学金	500,000円	①1年間 ②1回限り	2名	地域の制限なし	医学事務課			
	大阪医科大学看護学部入学特待生	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援	人数:4名 対象:看護学部一般入試(3科目入試)合格者成績上位4名 かつ、当該入試試験で入学する者。	給付奨学金	1人あたり550万円		4名	地域の制限なし				
	大阪医科大学看護学部給付奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援	人数:1年生を除く各学年4名 対象:成績・人物ともに優秀であって、経済的理由がある者。	給付奨学金	年額50万円		1年生を除く各学年4名	地域の制限なし				
	大阪医科大学薬学部特待奨学金	その他	申請不要	特待生・成績優秀者	前年度の成績優秀者等、2～5年次。	給付奨学金	成績優秀者30万円・特別優秀者20万円・優秀者10万円。		各年次7名	地域の制限なし	薬学部学生課	併用可	併用可	
	大阪医科大学薬学部一般奨学金	在学中	1～6年次	学費支援	前年度までの累積GPA(全科目)が2.50以上(新入生については高等学校の評定平均が3.5以上または入試成績が入学者の2分の1以内)の者で、経済的事由で進学し困難な成績・学力を有している者。 ※大阪医科大学薬学部特別奨学金と同時に申請することはできない(併用不可)。 ※日本学生支援機構給付奨学金と併用不可	給付奨学金	月額3万円	1年間	各年次20名	地域の制限なし	薬学部学生課	併用不可	条件有り併用可	
	大阪医科大学薬学部特別奨学金	在学中	1～6年次	学費支援	経済的理由で進学し(在学中の成績に著しく変動を有している者、留年として申請年度に留年していない者)。 期間は卒業までの最終卒業年度で、前年1人につき資格を1つとする。 ※大阪医科大学薬学部一般奨学金と同時に申請することはできない(併用不可)。 ※日本学生支援機構給付奨学金と併用不可	給付奨学金 貸与奨学金	月額5万円(貸与3万円+給付1万円)		最終卒業年度(ただし留年した場合は繰上)	新入生:約15名、2～6年次:若干名	地域の制限なし	薬学部学生課	併用不可	条件有り併用可
	大阪医科大学薬学部PA会奨学金	在学中	1～6年次	学費支援	人物・学業ともに優秀で経済的理由により修学困難な者、留年して、日本学生支援機構編入試験はその他の奨学金を申請していない者。 期間は1年間で、毎年の審査を経て繰り直し奨学金となることがある。	貸与奨学金	月額4万円または3万円	1年間	最大20名	地域の制限なし	薬学部学生課	併用不可	併用不可	
	大阪医科大学薬学部PA会学費助成制度	在学中	1～6年次	学費支援	在学中に家計支援者が家族急変等の経済事情の急変や種別等により学費の納入が困難であると認められる者。 日本学生支援機構等の奨学金を受給している(または停止・廃止)かつ、国の教育ローンを利用している(または、申請したことがなかった)こと。	貸与奨学金	1回に1回限りの学費の額は、当該学生がその年に納入しなくてはならない学費の総額を、原則として3年分の学費を限度とする。	1年間		地域の制限なし	薬学部学生課	併用可	併用可	
	大阪医科大学薬学部入学特待生制度	入学手続時		特待生・成績優秀者	公募新課程入試合格者成績上位30名および一般入試合格者成績上位40名。	給付奨学金	入学初年度の施設・設備費相当額60万円を入学後に給付します。	1回限り		地域の制限なし	学務部入試・広報課分室	併用可	併用可	
	学校法人大阪医科大学 啓学記念奨学金	入学後		特待生	人物・成績ともに優秀で、経済的理由により修学が困難な者。	給付奨学金	80万円			地域の制限なし	医学事務課	併用可	併用可	
大阪医科大学看護学部学費減免制度	学校出願時		その他	看護学部(薬科前期)入試(専願制)に合格し、入学した者(4年制にわたり3実習科目免除試験費用を減免する)。	免除・減免	①実習料20万円 ②施設先払費30万円	4年間	3名	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可		
大阪音楽大学	特待生授業料減免制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学・授業料減免	入学者選抜時の専門実践課程の成績上位者に授業料の一部を減免する制度。 新入生1年次生 専門実践課程を受験する方全員が本制度の適用判定対象となる。 ミュージックリレーション専攻・地域創生ミュージックマネジメント専攻・ミュージックビジネス専攻・演奏実習特別科は適用対象外。	免除・減免	400,000円	1年間	総合型選抜・学校推薦型選抜、一部選抜・後期総合型選抜を合わせて実施した人数は若干名。	地域の制限なし	学務事務部門	併用可	併用可	
	大阪音楽大学奨学制度 大阪音楽大学給付奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 入学・授業料減免	2～4年次の学生を対象に募集し、審査で選ばれた学業成績の優秀な学生に対し、本学が定める額の奨学金を給付する制度。 対象学生 申請年度において大学2、3、4年次に在学中の前年度の在学期間中に30単位以上(教職科目を除く)を取得した全専攻学生(留学生は私費留学に限り申請できません)。 申請時に新及び第2セメスターを履修中の学生、申請年度の編入学・転入学・再入学者及び科目履修生は対象としません。 ■奨学金A 進級基準となる科目の前年度後期の成績が「優」 ■奨学金B 進級基準となる科目の前年度後期の成績が「優」以上 ■奨学金C 進級基準となる科目の前年度後期の成績が「優」以上である学生 但し、奨学金A・B・Cいずれも進級基準となる科目が実技試験を実施する専攻で、実技試験が前期のみの場合、前期科目の成績を対象とする。	給付奨学金 免除・減免	■奨学金A 500,000円(地域創生ミュージックマネジメント専攻生・ミュージックビジネス専攻生は350,000円) ■奨学金B 350,000円(地域創生ミュージックマネジメント専攻生・ミュージックビジネス専攻生は250,000円) ■奨学金C 200,000円(地域創生ミュージックマネジメント専攻生・ミュージックビジネス専攻生は150,000円)	1年間	■奨学金A 各学年3名以内 ■奨学金B 各学年3名以内 ■奨学金C 各学年3名程度	地域の制限なし	学務事務部門	併用可	併用可	
	大阪音楽大学奨学事業財団 奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援	【専攻別】 1年次 ⇒日本学生支援機構第一種に準ずる。 2年次以上 ⇒前年度までの成績が3.5以上の者。(教職課程を除く、専修=5、優=4.1+に換算) ⇒取得単位数が標準の数値以上であること。 ※2023年度年度単位は変更しない。 【専攻別】 日本学生支援機構第一種に準ずる。 助教対象とする音楽活動の履歴・条件 本学が学生が主体となって行う演奏会等であって、次の条件を満たしていること。 a)学生自身が主体となること。 b)学費の補助を受けること。 c)正課授業の関連で大学生、専攻(コース)と主として行われる演奏会、発表会等。 d)本学が主催する演奏会(有志によるものを含む)に限定しない。ただし、本学が主催する演奏会等については、本学が主催する演奏会(有志によるものを含む)に限定しない。 e)演奏会の開催・開催準備期間、準備期間など。 f)学生支援センター「学内演奏会出演制」または「学外演奏会出演制」の届出をすること。 g)演奏会等の名称・入場券など学生自身が主体となること。 h)その他、財団の助成基準に合格した音楽活動であること。	貸与奨学金	(年額)540,000円もしくは720,000円から選択	原則1年間 ただし、毎年継続申請により、標準卒業年度内の卒業、修了月まで。	若干名。	地域の制限なし	学務事務部門	併用可	併用可	
	大阪音楽大学音楽文化振興財団 音楽活動助成金制度	在学中	学年は問わない。	課外活動支援制度 その他	学生の自主的な音楽活動等への助成	演奏会実施に係る次の経費を対象とする。 会場使用費 上限 100,000円 楽譜代金 楽譜代金使用費・楽譜運搬費 上限 50,000円 チラシプログラム・チケット印刷費 上限 50,000円 合計 200,000円 なお、本学奨学金会と併せて申請する場合は、金庫預け振込使用費・楽譜運搬費の上限を100,000円とする。この場合、助成金の上限は150,000円とする。 また、申請団体は予算(決算)総額の10%以上を負担することを条件とする。	その他			地域の制限なし	学務事務部門	併用可	併用可	
	大阪音楽大学奨学制度 国内・海外音楽講座受講助成金	随時		研修支援制度	研修支援制度	本学が受講を認める公的(原則として、主催・後援・協賛・協力など)に自治体や公的機関の名称が含まれるもの(国内及び海外)音楽研修・セミナーについて、専門性を深めるため夏期・春期休業期間中に受講を希望する学生を対象に審査を行い、適用者に所定の金額を助成する制度です。 対象対象学生 音楽学部2～4年次生及び音楽専攻科(前年度に本学音楽学部を卒業した者)に限り、後期募集に限り、音楽学部1年次生を含みます。海外からの留学生については、私費留学に限り申請できます。 申請年度の編入学・転入学・再入学者および、科目履修生は対象としません。 申請資格 2年生次～4年生次は申請年度の直近のセメスターの進級基準となる科目の成績が「優」以上の学生。 音楽専攻科生は前年度の音楽学部第2セメスターの専門実践の成績が「優」以上の学生。 加えて、申請前年度1年間の全履修科目(教職科目を除く)の成績が優秀な学生。 ※海外へ研修される音楽講座等の受講のための助成金を申請する場合には、上記の申請資格に加えて、履修した全ての履修科目のGPAが2.5以上あること、実習参加回数に制限はないこと、その他海外研修の申請については奨学課長委員会で判断します。	その他	国内 一人総額10万円以内 海外 一人総額20万円以内 当該年度に「本学の奨学制度」(給付奨学金)または「海外奨学助成金制度」の適用を受けた学生は申請できません。	国内 若干名 海外 若干名	地域の制限なし	学務事務部門	併用可	併用可	
	大阪音楽大学奨学制度 海外奨学助成金	在学中	第1期:1月下旬～2月上旬(第1期申請日より定員に達した留学期間は第2期には募集しません。) 第2期:9月上旬～10月下旬(他国予定) (詳細は募集要項で確認してください)	留学費用支援制度	留学費用支援制度	本学が学生の交換留学に関する経費または授業料を継続した海外の大学・音楽院から自分の専攻に合った留学先を選んでください。本学での申請時期と提携校の授業期間との関係の専攻科目の両方がないことから、申請を受け入れられない提携校がある場合がございます。なお、提携校における授業料は免除されませんが、留学期間中の学費は本学が負担いたします。本学提携校の制約が必要ですが、留学に必要となる手数料(ビザ費用、飛行機代等)や留学中の生活の準備金は申請者自身で行ってください。 申請対象学生 大学音楽学部2～3・4年次に在学中の学生(海外からの留学生については、私費留学に限り申請できます)。ただし、申請時に最終セメスターに在籍の場合は対象外となります。また科目履修生も対象外となります。 申請資格 <成績基準> 大学は、申請時点における直前のセメスターの進級基準科目の成績が「優」以上であり、かつ申請時点における直前の連続した2つのセメスターの履修科目(教職科目を除く)の進級率が0.8以上を達成します。 <取得単位数の合計> 大学2年次は35単位以上、3年次は40単位以上、4年次は100単位以上の申請者を対象とします。 海外留学、国内音楽コンクール入賞(1位、2位、3位またはそれに同等する賞の受賞者)、国内外音楽講習会・音楽コンクール等に参加する学生(成績基準)に対して助成を行っています。 事由終了後、1ヶ月以内に申請してください。 年度単位で1人につき各区分間。 ただし、海外提携校留学および国内・海外音楽講座受講助成金給付は対象外となります。	その他	3ヶ月以上4ヶ月未満 1人総額 40万円以内 4ヶ月以上6ヶ月まで 1人総額 50万円以内	3ヶ月以上4ヶ月未満:4名以内(併設短大音楽科と併せて) 4ヶ月以上6ヶ月まで:3名以内(併設短大音楽科と併せて)	地域の制限なし	学務事務部門	併用可	併用可	
	大阪音楽大学 音楽専攻 専攻奨励金	随時		研修支援制度 留学費用支援制度	研修支援制度 留学費用支援制度	大阪音楽大学 音楽専攻(オーボエ・ファゴット)、弦楽専攻(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス)の入学後に給付する奨学金。 1)対象の入学選抜 総合型選抜 学校推薦型選抜 2)条件 音楽専攻(オーボエ、ファゴット)志願者は入学後に「オーケストラ」及び「吹奏楽」の授業を受けること。 弦楽専攻(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス)志願者は入学後に「オーケストラ」及び「専門合奏(弦楽アンサンブル)」の授業を履修すること。	給付奨学金	年額200,000円	4年間(※ただし更新審査があります)	地域の制限なし	学務事務部門	併用可	併用可	
	大阪音楽大学 オークストラ給付奨学金	学校出願時		学費支援	学費支援	遠隔地出身で総合型選抜・学校推薦型選抜 専門実践の成績上位者に給付する奨学金制度。 対象の入学選抜 総合型選抜・学校推薦型選抜 合格発表後に合わせて通知いたします。 ※遠隔地出身者とは、自宅から本学までの道のりが概ね100kmを越え、公共交通機関を用いた片道の通学時間が2時間以上を要する方。	給付奨学金	年額200,000円		地域の制限なし	学務事務部門	併用可	併用可	
	大阪音楽大学 音楽専攻(オーボエ・ファゴット)	学校出願時		学費支援	学費支援	1)対象 大阪音楽大学 音楽学部 音楽専攻(カウンターテナー・テナー・バリトン・バス) 2)対象とする入学選抜 総合型選抜、学校推薦型選抜 3)条件 大学1、2、3年次で「大学主催オペラ」に参加。 大学4年次で「オペラ研究Ⅰ」および「オペラ研究Ⅱ」に参加。 大学4年次で「オペラ研究Ⅲ」および「オペラ実習A・B」の履修を条件とする。 4)申請資格 留学した学生を対象に募集し、審査で選ばれた学業成績の優秀な学生に対し、本学が定める額の奨学金を給付する制度。 給付は、前期・後期の2回に分別し、授業料を免除します。授業料納付後に適用者として選出される場合は、当該金額を返金します。給付を希望する年度の開始後に申請書(交付)し、指定された期日に提出してください。 ■対象対象学生 申請年度に大阪音楽大学音楽学部第3年次編入学した者で、本学の短期大学音楽科を前年度(9月または3月)に卒業し、短大2年次の成績が優れている者。 海外提携校奨学助成金、国内・海外音楽講座受講助成金との併用併用はされません。	給付奨学金	年額200,000円	1年間 給付は前期・後期の2回に分別し、授業料を免除します。ただし、前期については給付額前かが定まる実行口座へ振り込みます。	1名以内	地域の制限なし	学務事務部門	併用可	併用可
	大阪音楽大学 兄弟姉妹学費補助制度	学校出願時		学費支援	学費支援	入学する者の兄弟姉妹が、大阪音楽大学、大阪音楽大学音楽専攻科、大阪音楽大学音楽院、大阪音楽大学短期大学部、大阪音楽大学短期大学部専攻科のいずれかに在学している場合、入学する者の学費の一部を補助いたします。 対象の入学選抜 留学生・学費減免を除く入学選抜 1)在学2年生の全学年学生対象 2)学業分野・スポーツ分野・社会文化活動分野において優れて優れた成績・活動等を収めている優等生である者。	その他	200,000円	初年度のみ	地域の制限なし	学務事務部門	併用可	併用可	
	大阪学院大学	白井奨学生制度	入学後		特待生・成績優秀者 入学・授業料減免	学業分野・スポーツ分野・社会文化活動分野において優れて優れた成績・活動等を収めている優等生である者。	免除・減免	第1種 年間学費相当額 第4種 年間学費3割相当額 第2種 年間学費7割相当額 第3種 年間学費2割相当額 第3種 年間学費半額相当額 第4種 年間学費1割相当額	学納金(毎年応募可)	200名程度	地域の制限なし	学生課	条件有り併用可	条件有り併用可
		企業後援奨学金	入学後		学費支援	用途を定めない経済的支援 学業及び人物ともに優秀であり、健康にして将来有望な人材となる見込みのある者で、所定の成績を修得している者。	給付奨学金	年額10万円～20万円	1回限り(毎年応募可)	年額40名程度	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
大阪経済大学	大阪経済大学入試成績優秀者特別奨学金	その他		特待生・成績優秀者 学費支援	一般選抜(前期)を経て入学した新入生で、学業・人物ともに優秀であること	給付奨学金	秋学期授業料相当額		30名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
大阪経済大学	大阪経済大学通陽地区奨学金・同窓会通陽地区奨学金	入学後		学費支援 その他	通陽地出身の新生入生に対する経済支援制度	通陽地出身の新生入生で、自宅外通学を余儀なくされる者のうち、学業・人物共に良好で、経済状況が優れている者 ※通陽地：近畿圏三県（奈良・和歌山・鳥取）地域、および近畿圏内においては、最長通学時間が片道2時間以上を要する地域	給付奨学金	1年生：200,000円 2年生：100,000円		30名（内、同窓会枠20名）	地域の制限なし	学生課	併用不可	条件有りで使用可	
	大阪経済大学緊急修学援助奨学金	在学中	1年生～4年生	学費支援 その他	学費急変者に対する経済支援制度	人物・学業成績ともに良好で、家庭が急変として本学が受ける影響を減らす学生	給付奨学金	一学期授業料相当額の半額		20名（新生入生5名、新生入生以外15名）	地域の制限なし	学生課	併用不可	条件有りで使用可	
	大阪経済大学奨学金	その他	学業成績による自動選考		特待生・成績優秀者 学費支援	2～4年生の在学中で、学業・人物ともに優秀であること。 ※前年度の学内成績優秀者対象	給付奨学金	年間授業料相当額の半額	①1年間	各学年30名程度	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	大阪経済大学労働・社会人学生奨学金	在学中			学費支援 その他	勤労・社会人学生に対する経済支援制度	人物・学業成績ともに良好で、正社員・員外に就いていること	給付奨学金	年間授業料相当額の半額	①1年間	各学年若干名	地域の制限なし	学生課	併用不可	条件有りで使用可
	大阪経済大学教育ローン奨励奨学金	在学中			学費支援 その他	特定の教育ローンを利用して学費等を納入した者に対し、在学中にその返済にかかわる料子を給付する（利子補助）制度	特定の教育ローンを利用して学費等を納入した者	給付奨学金	各学期に負担した利息合計（各学期上限25,000円）	①1各学期		地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	大阪経済大学交換国際学生奨学金	その他	例年9月および11月頃。		留学費用支援制度	外国の大学との学生交換協定に基づく派遣留学が認められた者。		給付奨学金	留学期間に応じた月額50,000円。また留学先の授業料は免除される。	留学期間と同じとし、最長1年間		地域の制限なし	国際部 国際交流課	併用可	併用可
	大阪経済大学認定留学生奨学金	その他	例年9月および11月頃。		学費支援 留学費用支援制度	指定校への留学が許可された者。		給付奨学金	留学期間に応じた本学の授業料相当額	留学期間と同じとし、最長1年間		地域の制限なし	国際部 国際交流課	併用可	併用可
	大阪経済大学ジャパンアップ海外留学奨学金	その他	派遣留学および認定留学の募集時期による。		学費支援 留学費用支援制度	外国の大学との学生交換協定に基づく派遣留学が認められた者および指定校への留学が許可された者。		給付奨学金	月額5・10・15万円（留学先地域等により給付額が異なる。）	留学期間が1学期の場合 は5ヶ月、2学期の場合は10ヶ月を上限とする。		地域の制限なし	国際部 国際交流課	併用可	併用可
	大阪経済大学海外活動奨励奨学金	在学中			海外活動支援制度 その他	海外活動（学術・文化・芸術、スポーツ、社会貢献等）で高い能力を発揮した者		給付奨学金	団体・個人、業績・経費等により給付額が異なる	①1年間	若干名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	大阪経済大学スポーツ支援奨学金	その他	対象者は11月頃に案内		学費支援 その他	スポーツ部選抜（前期）指定の競技種目で合格し、人物・学業共に優秀な者		給付奨学金	年間授業料相当額	①1年間 -最長修業年限内での継続 制度あり（成績基準あり）	21名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
大阪芸術大学	大阪芸術大学奨学金（学業優秀者）	その他	前年度の成績より自動選出		特待生・成績優秀者	学業成績が優秀かつ本学の理念を体現しうると期待できる学生に対して奨学金を奨励し学業を奨励する。採用人数は学部ごとに若干名、各学年80名以内（令和2年度以前の入学者は40名）。	給付奨学金	500,000円			地域の制限なし	学生部	併用可	併用可	
	緊急奨学金	随時			学費支援	家計支持者の死亡により家計が急変し、就学が困難になった学生に対して、奨学金を支給する。学力基準あり。	給付奨学金	500,000円			地域の制限なし	学生部	併用可	併用可	
	震災・災害奨学金	随時			被災者資金支援	自然災害（火災・風水害・地震）により災害救助法適用地域の指定を受けた地域に家計支持者が居住し、就学が困難になった学生に対して奨学金を支給する。	給付奨学金	60万円を複数回に支給			地域の制限なし	学生部	併用可	併用可	
	学費免除特待生制度	学校出願時			入学金・授業料免除	一般入試試験（センター試験＋専門試験）方式において大学入試センター試験2教科2科目の成績が200点満点中180点以上の成績優秀者が対象。	免除・減免	学費により額面が異なる。		4年間		地域の制限なし	入試課	併用可	併用可
	初年度授業料全額免除制度	学校出願時			入学金・授業料免除	一般入試試験（センター試験＋専門試験）方式において大学入試センター試験2教科2科目の成績が200点満点中170点以上の成績優秀者が対象。	免除・減免	学費により金額は異なる。		初年度のみ		地域の制限なし	入試課	併用可	併用可
	新生入試奨学金	学校出願時			入学金・授業料免除	本学実施のすべての入試試験の成績優秀者。	給付奨学金	30万円		1回限り	200名	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可
	ファミリー奨学金	入学手続時			入学金・授業料免除	新生入試対象 兄弟姉妹特別奨学金・・・本学に同時に入籍する者のうち、下位に入学した学生の入学金を免除。また、本学を卒業した学生の兄弟姉妹が入学した場合には、入学同期の優待となる兄弟姉妹特別奨学金もあります。	給付奨学金 免除・減免					地域の制限なし	入試課、学生課	併用可	併用可
	特別奨学生制度	入学手続時			入学金・授業料免除	1年生全学部対象。下記入試試験の成績優秀者あわせて最大250名 ①一般試験・前期（3教科型・2教科型） ②一般試験・後期（共通テストプラス型） ③一般試験・前期（共通テストプラス型） ④共通テスト利用試験（1前4教科型・3教科型）	免除・減免		1回限り	最大250名	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可	
	国際学部特別奨学生制度（資格型）	入学手続時			入学金・授業料免除	1年生対象。下記入試試験にて国際学部を第一志望として出願し合格し、国際学部に入学者手続きをする場合、出願時に対象の英語資格を取得していること。 ●一般試験・前期 ●一般試験・前期（共通テストプラス型） ●一般試験・後期 ●共通テスト利用入試（1回）	免除・減免		1回限り		人数制限なし	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可
	資格取得奨学金（入学時採用）	その他	入学手続時または入学後		特待生・成績優秀者	●公益財団法人試験（前期・後期） ●指定校推薦試験 ●AO入試 等 ●専門科目・総合科目推薦試験 ●資格利用入試（専攻制・控除制） 他	給付奨学金			1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可
海外活動奨励奨学金（入学時採用）	その他	出願書類にて選考、手続き不要		入学金・授業料免除	1年生全学部対象。下記試験に出願し合格し、入学までに対象資格を取得した者 ●スポーツ推薦試験 ●文芸推薦試験 ●文化活動推薦試験	免除・減免		1回限り		10～15名程度	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
大阪経済法科大学	特別奨学生制度	入学手続時		入学金・授業料免除	1年生全学部対象。下記入試試験にて国際学部を第一志望として出願し合格し、国際学部に入学者手続きをする場合、出願時に対象の英語資格を取得していること。 ●一般試験・前期 ●一般試験・前期（共通テストプラス型） ●一般試験・後期 ●共通テスト利用入試（1回）	入学試験スコアに応じて、初年度学費全額もしくは入学金を免除	免除・減免		1回限り		人数制限なし	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可
	資格取得奨学金（入学時採用）	その他	入学手続時または入学後		特待生・成績優秀者	●公益財団法人試験（前期・後期） ●指定校推薦試験 ●AO入試 等 ●専門科目・総合科目推薦試験 ●資格利用入試（専攻制・控除制） 他	給付奨学金		1回限り		人数制限なし	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可
	海外活動奨励奨学金（入学時採用）	その他	出願書類にて選考、手続き不要		入学金・授業料免除	1年生全学部対象。下記試験に出願し合格し、入学までに対象資格を取得した者 ●スポーツ推薦試験 ●文芸推薦試験 ●文化活動推薦試験	免除・減免		1回限り		10～15名程度	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	学業奨励奨学金（各学部奨学金）	在学中	2～4年生		特待生・成績優秀者	2～4年生全学部対象、学業が特に優秀な者。	給付奨学金	20万円を上乗せして給付		当年度限り ※次年年度以降 再度申請可	各学部・学年3名程度	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	学業奨励奨学金（資格取得奨学金）	在学中	資格検定試験合格後6か月以内		資格取得支援制度	全学年全学部対象、難易度の高い国家試験に合格し、かつ本学における修学状況が良好な学生。	給付奨学金	10万円～30万円		当年度限り ※次年年度以降 再度申請可。同一資格 への申請は不可。		地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	学業奨励奨学金（交換留学奨学金）	在学中	2年生以上		留学費用支援制度	2年生以上全学部対象。本学留学規定によりセメスター以上の海外留学を行う学生で、本学における修学状況が良好であり、かつ語学堪能な人。	給付奨学金	（留学費用の一割として）30万円		当年度限り ※次年年度以降 再度申請可		地域の制限なし	国際部 国際交流センター	併用可	併用可
	学業奨励奨学金（特定留学奨学金）	在学中	2年生以上		留学費用支援制度	2年生以上全学部対象。協定留学プログラム参加者	給付奨学金	留学先大学の授業料の全額または半額相当額を給付		当年度限り ※次年年度以降 再度申請可		地域の制限なし	国際部 国際交流センター	併用可	併用可
	海外活動奨励奨学金（在学中採用）	入学後			海外活動支援制度	2年生以上全学部対象、スポーツ活動または文化活動で顕著な活躍が認められる学生	免除・減免	年間授業料の全額または半額を減免		当年度限り ※次年年度以降 再度申請可		地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	教育後援委員会（奨励採用）	在学中	1年生～4年生		学費支援	全学年全学部対象、経済的理由で修学の継続が困難な学生。	給付奨学金	月額2万円（年間24万円）		当年度限り ※次年年度以降 再度申請可		地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	教育後援委員会（応急採用）	随時			学費支援	全学年全学部対象、家計の急変などにより修学の継続が困難な学生。	給付奨学金	年間20万円（一括）		当年度限り ※次年年度以降 再度申請可		地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
大阪工業大学	法科大学院進学奨励奨学金	在学中			特待生・成績優秀者	2年生以上の法学部生対象。法科大学院への進学を希望し、本学が実施する選考試験において優秀な成績を修めた学生	免除・減免	年間授業料の50％相当額		当年度限り ※次年年度以降 再度申請可		地域の制限なし	併用可	併用可	
	成績優秀奨学金	在学中	2～4年次		特待生・成績優秀者	2年次以上（在学中）、学業成績、人物ともに優秀で、経済的理由により就学困難と認められる者。	給付奨学金	年間授業料の半額相当額。	1年間	80人	地域の制限なし	厚生課	併用可	条件有りで使用可	
	特待奨学金	入学手続時			特待生・成績優秀者	本学所定の入学試験に合格し、入学試験成績が極めて優秀で、在学中、学業成績、人物ともに優秀な者。	給付奨学金	年間授業料の全額相当額	4年間	17人	地域の制限なし	厚生課	併用可	条件有りで使用可	
	入試選奨奨学金	入学手続時			特待生・成績優秀者	本学所定の入学試験に合格し、入学試験成績が特に優秀で、学業成績、人物ともに優秀な者。	給付奨学金	年間授業料の半額相当額	1年次のみ	143人	地域の制限なし	厚生課	併用可	条件有りで使用可	
	成績優秀奨学金	その他	5月下旬頃大学による選考		特待生・成績優秀者	対象学年・・・2～4年生 学部・・・全学部 資格・条件・・・学業で優れた成績を修めた学生	給付奨学金	150,000円を給付	年1回	各学年20名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	大阪商業大学給付奨学金	在学中	1年生～4年生		学費支援	対象学年・・・1～4年生 学部・・・全学部 資格・条件・・・学費負担者の死亡や長期入院などにより家計が急変し、修学が著しく困難な学生	給付奨学金	370,000円（年間授業料の1/2）を上乗せして給付	在学中に1回	制限なし		地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	大阪商業大学学生支援給付奨学金	在学中	7月中旬から9月末		学費支援	対象学年・・・1～4年生 学部・・・全学部 資格・条件・・・修学の熱意があるが経済的事項により修学が困難な学生	給付奨学金	111,000円（後期授業料の30％）を上乗せして給付 ※前期中に募集	年1回	10名	地域の制限なし	学生支援課	条件有りで使用可	条件有りで使用可	
	谷岡奨学金	在学中	12月頃大学による選考及び自己推薦		その他	対象学年・・・2～4年生 学部・・・全学部 資格・条件・・・文化・芸術、スポーツ、社会活動などで本学の名声を高く高め、将来の活躍が期待できる者・団体	給付奨学金	300,000円を最高額として給付	年1回	6名（団体）上限	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	大阪商業大学教育ローン給付奨学金	在学中	7月中旬から9月末		その他	対象学年・・・1～4年生 学部・・・全学部 資格・条件・・・本学が定めた貸付基準を満たし、かつ指定する金融機関より教育ローンを利用した者	給付奨学金	50,000円（年間）を上乗せして給付	1年間	全学年で若干名	地域の制限なし	学生支援課	条件有りで使用可	条件有りで使用可	
	大阪商業大学	兄弟姉妹学費免除制度	入学後		入学金・授業料免除	対象学年・・・1～4年生 学部・・・全学部 資格・条件・・・1親（近親）入生 学費・・・入学年度において、入学生の兄弟姉妹が本学部または大学院に在学中の者（同時入学も含む）	免除・減免	220,000円（入学金相当額）を減免		入学時のみ	制限なし	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
新生入試奨学金（一般入試試験前期A・B日程、大学入学共通テスト利用A・B日程利用）		その他	申請不要		特待生・成績優秀者 入学金・授業料免除 資格取得支援制度	対象者：対象入試試験利用＋入試成績上位者（全学部）	給付奨学金	*740,000円（授業料相当額）付与 -本学が開講している資格講座の受講料が無料（年間2講座、4年間で最大8講座まで）	入学年次のみ適用	人数制限なし	地域の制限なし	広報入試課	併用可	併用可	
新生入試奨学金制度（指定校推薦入試試験・入学金免除）		その他	申請不要		特待生・成績優秀者 入学金・授業料免除	対象者：対象入試試験利用＋調査書の「全体の学習成績の状況」が5以上で、かつ「国語の学習成績の状況」が4以上（全学部）	免除・減免	入学金（220,000円）を減免	入学年次のみ適用	定めなし	地域の制限なし	広報入試課	併用可	併用可	
新生入試奨学金制度（指定校推薦入試試験・チャレンジ制度）		その他	チャレンジ制度の申込案内は、各発表日に行い、受験案内については、2024年1月中旬に本学より届達		特待生・成績優秀者 入学金・授業料免除 資格取得支援制度	対象者：対象入試試験利用＋チャレンジ制度成績上位者（全学部）	給付奨学金	*260,000円（学費の1/4相当額）給付 -本学が開講している資格講座の受講料が無料（年間2講座、4年間で最大8講座まで）	入学年次のみ適用	定めなし	地域の制限なし	広報入試課	併用可	併用可	
新生入試奨学金制度（指定校推薦入試試験・資格・検定）		その他	申込案内は各発表日に行う		入学金・授業料免除 資格取得支援制度	対象者：対象入試試験利用＋本学が指定する資格・検定に合格した者（全学部）	給付奨学金	*260,000円（学費の1/4相当額）給付 -本学が開講している資格講座の受講料が無料（年間2講座、4年間で最大8講座まで）	入学年次のみ適用	定めなし	地域の制限なし	広報入試課	併用可	併用可	
新生入試奨学金制度（資格利用入試試験）		在学中	申請不要		入学金・授業料免除 資格取得支援制度	対象者：全学部、対象入試試験利用者 【A区分】 ①「調査書の」全体の学習成績の状況」が4以上の者 ②本学が指定する資格・検定に合格した者 【B区分】 ①「調査書の」全体の学習成績の状況」が3以上の者 ②本学が指定する資格・検定で、指定分野が関心分野以上から資格を取得した者。 ※出題時に分野以上から資格を取得していることが条件	給付奨学金	①A区分（調査書）330,000円（学費の1/3相当額） B区分（資格）100,000円（学費の1/4相当額） ②本学が開講している資格講座の受講料が無料（年間2講座、4年間で最大8講座まで）	入学年次のみ適用	定めなし	地域の制限なし	広報入試課	併用可	併用可	
学費免除制度（全額借金資格利用入試試験）		その他	申請不要		入学金・授業料免除 資格取得支援制度	対象者：対象入試試験利用者（全学部）	免除・減免	*入学金非課税額（220,000円～110,000円） *学費非課税額（1,040,000円～500,000円） -本学が開講している資格講座の受講料が無料（年間2講座、4年間で最大8講座まで）	入学年次のみ適用	90名	地域の制限なし	広報入試課	併用可	併用可	
学費免除制度（GETコース履修生）		その他	申請不要		入学金・授業料免除	GETコース履修生（全学年・全学部）	免除・減免	授業料・半額免除 -学費の半額・無料 -本学が開講している資格講座の受講料が無料（年間2講座）	4年間（※GETコースを途中で離脱した場合は、離脱した学年分から卒業までの減免は適用されない）	定めなし	地域の制限なし	広報入試課	併用可	併用可	
シニア特別授業料免除制度		その他	申請不要		入学金・授業料免除	対象者：社会人入学試験利用＋入学年度の4月1日の年齢が65歳以上の方	免除・減免	入学年度の4月1日の年齢×5,000円を減免	1年次入学・4年間 3年次入学・2年間	定めなし	地域の制限なし	広報入試課	併用可	併用可	
大阪樟蔭女子大学		緊急給付奨学金	入学後		学費支援	【対象学年・学部】 全学年 【資格・条件】 病し、成績が不満足でない者で、原則として本学に在学中に、家計の急変により、学業継続の意思があるにもかかわらず、就学が困難と認められる者。ただし、申請前1年間に休学が生じた場合は異なる。	給付奨学金	年間授業料と施設費の半額相当額		当該年度内	若干名	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可
	給付奨学金	入学後		学費支援	【対象学年・学部】 全学年 【資格・条件】 成績が不満足でない者で、学業継続の意思があるにもかかわらず、経済的事項により就学が困難と認められる者。成績基準あり。	給付奨学金	年間授業料の半額相当額		当該年度内	10名	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可	
	後援奨学金	入学後		学費支援	【対象学年・学部】 全学年 【資格・条件】 学業継続の意思があるにもかかわらず、経済的事項により就学が困難と認められる者。	給付奨学金	年間50万円		当該年度内	10名	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可	
	教育ローン利子補助奨学金	入学後		学費支援	【対象学年・学部】 全学年 【資格・条件】 成績が不満足でない者で、オリコ消費サポートプランの教育ローンを利用している者。成績基準・家計基準あり。	給付奨学金	当該年度の支払利子額		当該年度内	該当者	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	特別給付奨学金制度	入学手続時		特待生・成績優秀者 学費支援	【資格・条件】 各学科において合格者の入試成績上位10％かつ得点率が90％以上の者。	給付奨学金	年間30万円		4年間 ※各年度年度の成績により、基準をクリアすれば継続されます。		地域の制限なし	併用可	併用可		
	留学に関する奨学金	在学中			留学費用支援制度	【資格・条件】 本学が主催する長期または中期の海外研修プログラムに参加、TOEFLの成績において、一定の条件を満たした者。	給付奨学金	10万円			地域の制限なし		併用可	併用可	
	留学に関する授業料免除	在学中			学費支援 留学費用支援制度	【資格・条件】 本学の「長期」または「中期」の海外研修プログラムに参加し、定められた手続き、および条件をクリアした者に対し、研修終了後に減免。	免除・減免	長期研修72万円 中期研修30万円			地域の制限なし		併用可	併用可	
	入学試験成績優秀者奨学金制度	その他			入学金・授業料免除	スポーツ科学部・教育学部の一級選抜2教科型合格者のうち、入学試験成績上位の者若干名1年次の授業料全額免除を受けることができる。	免除・減免	1年次の授業料全額免除	1年間	若干名	地域の制限なし	入試部	併用可	併用可	
	スポーツ奨学金制度	学校出願時			入学金・授業料免除	スポーツ特別選抜型選抜入試（DASHアスリート特別総合型選抜）の合格者のうち、特に競技力に優れている者を対象とした制度。授業料、施設費等の減免を受けることができる。	免除・減免	授業料または施設費等の減免	1年間		地域の制限なし	スポーツ課	併用可	併用可	
	学業成績優秀者奨学金制度	入学後			入学金・授業料免除	各年次の成績上位者に、次年度の授業料全額を免除する。	免除・減免	授業料全額	1年間	若干名	地域の制限なし	教育学部学生支援担当	併用可	併用可	

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否		
大阪電気通信大学	漢学専攻創立100周年記念奨学金(野田三郎奨学金)	入学後		入学金・授業料減免	2021年の学園創立100周年を契機に、漢学専攻の発展に大きく尽力した野田三郎氏の功績をたたえ、読書の精神を尊び、人材の育成に資することを目指すに設立された奨学金で、学業成績優秀者に対して学費金援助を行う。		給付奨学金	20万円	1年間	若干名	地域の制無し	教育学部学生支援担当	併用可	併用可		
	入学試験成績優秀者奨学金制度	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	①一般入学試験前期における成績の得点率70%以上、かつ得点順位1位〜30位までの合格者 ②一般入学試験前期における成績の得点率70%以上、かつ得点順位31位〜800までの合格者		免除・減免	111〜30位、学費全額免除 231〜60位、学費半額免除		最近3年度(ただし、毎年5名に制限あり)	地域の制無し	教育学部教務課	併用可	併用可		
	大阪電気通信大学後援会・友会会員奨学金	在学中	希望時	学費支援	経済事情に恵まれた学生		貸与奨学金	学費相当額	原則1回	希望者数	地域の制無し	教育学部教務課	併用可	併用可		
	大阪電気通信大学特別奨学金	入学後		入学金・授業料減免	本学に現在在籍する転入又は卒業した者の親族(二親等以内)のいる学生			入学金相当額	入学時のみ	申請者全員	地域の制無し	教育学部教務課	併用可	併用可		
大阪谷大学	大阪電気通信大学特別奨学金制度	入学後		資格取得支援制度	プログラミンP/AO入学試験合格者に対して、入学後に開講されるIT関連資格講座の受講料免除		その他	資格講座受講料	受講時	対象者のみ申請者のみ	地域の制無し	教育学部教務課	併用可	併用可		
	入学試験成績優秀特別奨学金制度	入学後		特待生・成績優秀者	指定した入学試験における第1志望の成績上位合格者。 継続支給のための毎年1年度の学業成績審査あり。		給付奨学金	20万円(年間)		文学部・教育学部・人間社会学部は最長4年間 他学部は実施していない	地域の制無し	学生課	併用可	条件有り併用可		
	修学支援給付奨学金制度	在学中	2回生以上	学費支援	(1) 大学の学期に定める編入年度内の学生(ただし1年生は除く) (2) 納付金に関する規程により減免を受けていない者 (3) 卒業に必要単位数のうち、各学期において通常の単位数取得し、かつ前年度の成績において総・各の合計が80%以上である者(ただし、平成27年度入学生より「後・良」の合計が80%以上である者) (4) 学費負担者の失業・離職・病欠・死亡等もしくは災害救助法適用された地域、風水害等の被害を受けたことにより家計が急変し、修学の継続が困難となった者 あるいは、学費負担者の専業主業の所得減額により経済的に困難となり修学が困難な者		給付奨学金	各学期の該当前(前期・後期のいずれか)の納付金(授業料・施設費)	在学期間において1回限り	年間6名以内	地域の制無し	学生課	併用可	条件有り併用可		
	修学支援貸与奨学金制度	在学中	2回生以上	学費支援	(1) 大学の学期に定める編入年度内の学生(ただし1年生は除く) (2) 納付金に関する規程により減免を受けていない者 (3) 卒業に必要単位数のうち、各学期において通常の単位数取得し、かつ前年度の成績において総・各の合計が80%以上である者(ただし、平成27年度入学生より「後・良」の合計が80%以上である者) (4) 学費負担者の失業・離職・病欠・死亡等もしくは災害救助法適用された地域、風水害等の被害を受けたことにより家計が急変し、修学の継続が困難となった者 あるいは、学費負担者の専業主業の所得減額により経済的に困難となり修学が困難な者		貸与奨学金	月額2万円(年間)	原則、在学期間において1回限り	年間20名以内	地域の制無し	学生課	併用可	条件有り併用可		
関西大学	関西大学新入生給付奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	対象学年:1年次生 学部:法学部・文学部・経済学部・商学部・社会学部・産業創造学部・人間健康学部 外国語学部・総合情報学部・社会安全学部・システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部 資格:学部新入生のうち入学試験の成績が特に優秀で、かつ、経済的理由により修学が困難な者		給付奨学金	法学部・文学部・経済学部・商学部・社会学部 300,000円 外国語学部・人間健康学部 200,000円 外国語学部・総合情報学部・社会安全学部 380,000円 システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部 450,000円		1回(年間) 2回(年間)	地域の制無し	奨学支援グループ	条件有り併用可	条件有り併用可		
	関西大学都給付奨学金	在学中	春・夏	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	対象学年:2年以上 学部:法学部・文学部・経済学部・商学部・社会学部・産業創造学部・人間健康学部 外国語学部・総合情報学部・社会安全学部・システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部 資格:2年以上に在学する学部学生の内、経済的理由により修学が困難で、かつ、学業成績が特に優秀な者		給付奨学金	法・文・経済・商・社会学部 300,000円 外国語学部・人間健康学部 330,000円 外国語学部・総合情報学部・社会安全学部 380,000円 システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部 450,000円		1年間(再出願可)	地域の制無し	奨学支援グループ	条件有り併用可	条件有り併用可		
	細田奨励金	その他	春・夏	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	対象学年:2年以上 学部:法学部・文学部・経済学部・商学部・社会学部・産業創造学部・人間健康学部 外国語学部・総合情報学部・社会安全学部・システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部 資格:2年以上に在学する学部学生の内、経済的理由により修学が困難で、かつ、学業成績が特に優秀な者		給付奨学金	年間500,000円		1年間(再出願可)	地域の制無し	奨学支援グループ	併用可	併用可		
	森井・柳本・久井・野田奨学基金給付奨学金	その他	1年次の秋学期	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	対象学年:2年次生 学部:法学部・文学部・経済学部・商学部・社会学部・産業創造学部・人間健康学部 外国語学部・総合情報学部・社会安全学部・システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部 資格:2年次に在学する特待生・優秀な学生で、家計状況により修学が困難な者		給付奨学金	年間240,000円		3年間	地域の制無し	奨学支援グループ	併用可	併用可		
関西大学	関西大学友会給付奨学金	その他	受給年度の前年度秋学期	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	対象学年:2年以上 学部:法学部・文学部・経済学部・商学部・社会学部・産業創造学部・人間健康学部 外国語学部・総合情報学部・社会安全学部・システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部 資格:2年次に在学する学業成績が優秀な学生で、家計状況により修学が困難である者		給付奨学金	年間240,000円		3年間又は1年間	地域の制無し	奨学支援グループ	併用可	併用可		
	関西大学1号(東化)入学前予約採用給付奨学金	その他	入学前年の1月	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	対象学年:1年次生 学部:法学部・文学部・経済学部・商学部・社会学部・産業創造学部・人間健康学部 外国語学部・総合情報学部・社会安全学部・システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部 資格:関西大学への入学を強く希望し一般入学試験又はセンター利用入学試験により入学した学部学生で、経済的理由により修学が困難な者		給付奨学金	法・文・経済・商・社会学部 関西圏外からの進学者400,000円 関西圏内からの進学者300,000円 産業創造・人間健康学部 関西圏外からの進学者430,000円 関西圏内からの進学者330,000円 外国語・総合情報・社会安全学部 関西圏外からの進学者480,000円 関西圏内からの進学者380,000円 システム理工・環境都市工学・化学生命工学部 関西圏外からの進学者550,000円 関西圏内からの進学者450,000円		標準修業年限	2人教制無し	奨学支援グループ	条件有り併用可	条件有り併用可		
	関西医科大学特待生制度	その他	入学試験の成績により決定する	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	〔関西医科大学特待生制度〕 〔医学部〕 一般選抜試験(前期)合格者のうち、上位30名には、進学奨励を目的として、初年度納入金のうち、授業料等を免除する。 〔看護学部〕 次の対象者には進学奨励を目的として、初年度納入金のうち、授業料等を免除する。 →一般選抜試験(総合型)合格者のうち成績優秀者10名 →大学入試センター利用選抜試験(総合型)合格者のうち成績優秀者2名 →大学入試センター利用選抜試験(総合型)合格者のうち成績優秀者1名 〔リハビリテーション学部〕 次の対象者には進学奨励を目的として、初年度納入金のうち、授業料等を免除する。 →学校推薦型選抜試験(専修制・専修制)合格者のうち成績優秀者4名(理学部科学科名、作業療法学科1名) →一般選抜試験(総合型)合格者のうち成績優秀者2名(理学部科学科名、作業療法学科1名)		免除・減免	〔医学部〕初年度納入金のうち、授業料、実験実習費、施設設備費、教育充実費の合計、190万円を免除する。 〔看護学部〕初年度納入金のうち、授業料、実験実習費、教育充実費の合計、155万円を免除する。 〔リハビリテーション学部〕初年度納入金のうち、授業料、実験実習費、教育充実費の合計、190万円を免除する。		〔医学部〕 一般選抜試験(前期)合格者のうち上位30名 〔看護学部〕 一般選抜試験(3教科型)合格者のうち成績優秀者10名 →大学入試センター利用選抜試験(総合型)合格者のうち成績優秀者2名 →大学入試センター利用選抜試験(総合型)合格者のうち成績優秀者1名 〔リハビリテーション学部〕 学校推薦型選抜試験(専修制・専修制)合格者のうち成績優秀者4名(理学部科学科2名、作業療法学科1名、作業療法学科1名) →一般選抜試験(3教科型)合格者のうち成績優秀者2名(理学部科学科1名、作業療法学科1名)		入学資金納入時	地域の制無し	入試センター	併用可	併用可
	関西医科大学医学部学生奨学金	在学中	2〜6学年の4月	学費支援	〔医学部〕入学後の家計急変により学費の支弁が困難になった学生又は卒業後本学へ勤務することを希望する学生で、学業成績及び人物性の良好な2〜6学年の学生を対象として審査を経て貸与する。		貸与奨学金	〔医学部〕授業料及び実験実習費の合計金額以内。	1年間	制無し、審査により決定	地域の制無し	学生課	併用可	併用可		
関西医科大学学生奨学金(特別入学)	入学後		学費支援	〔医学部〕特別特で入学した学生のうち希望者。		貸与奨学金	在学中6年間、毎年100万円程度に貸与する。 卒業後、専任職(医師)に就任した学生に対して、専門研修以降に本学が指定する医師不足地域(大阪府堺市・茨城県那珂市・兵庫県中北部・三重・和歌山・道志など)の医療機関、本学の医師不足診療科(外科・内科・産科・小児科)に臨床研修を含め10年以上勤務すれば、奨学金の返済を全額免除する。		在学中6年間、17年ごとに各1人 各1人学年度に10名	地域の制無し	学生課	併用可	条件有り併用可			
研究医養成コース貸与奨学金	在学中	3学年以降毎年	学費支援	〔医学部〕3学年から研究医養成コースに属した学生のうち希望者。		貸与奨学金	研究医養成コースに属する計144名、毎年100万円を貸与する。 学部推薦型(総合型)、又は初期臨床研修終了後(総合型)、又は初期臨床研修2年目に本学大学院に進学し基礎社会系講座を専攻する、或いは、臨床系講座を専攻し、特目履修等により基礎社会系講座で臨床活動を行うものとする。 本学大学院修了後、専任職として、専任期間以上本学で研究業務に従事した者に奨学金全額の返済を免除する。		2〜6学年まで1カ年ごとに継続申請を行い、通常4年間貸与される。	制無し	地域の制無し	学生課	併用可	条件有り併用可		
関西医科大学特定診療科勤務を条件とする奨学金	在学中	5〜6学年の4月	学費支援	〔医学部〕学業成績が優秀及び人物性が良好で、本学附属の医療機関での初期臨床研修を志望し、引き続き本学附属の医療機関の特定診療科(内科・産科)・産科・周産科・救急医療科)に専ら勤務することを希望する2〜6学年の学生を対象に、審査を経て貸与する。		貸与奨学金	貸与額は毎月100万円を限度とし、最長2年間貸与する。 卒業後、貸与条件に照準して勤務し、奨学金の返済を全額免除する。		5〜6学年まで1カ年ごとに継続申請を行い、通常2年間貸与される。	各学年度に15名まで	地域の制無し	学生課	併用可	条件有り併用可		
関西医科大学恵仁会給付奨学金	在学中	2〜6学年の4月	特待生・成績優秀者 学費支援	〔医学部〕学業成績が優秀及び人物性の良好な2〜4学年の学生を対象に、各学年前年度の成績上位3名が対象。		給付奨学金	月額5万円	1年間	各学年3名	地域の制無し	学生課	併用可	併用可			
関西医科大学藤野節生給付奨学金	在学中	2〜4学年	特待生・成績優秀者 学費支援	〔看護学部〕学業成績が優秀及び人物性の良好な2〜4学年の学生を対象として審査を経て給付する。給付額は月額5万円(各学年前年度の成績上位3名が対象となる)		給付奨学金	月額5万円	1年間	各学年3名	地域の制無し	看護学部事務部	併用可	併用可			
関西医科大学附属医療機関勤務を条件とする看護学部創設奨学金	在学中	1〜4学年の毎年	学費支援	〔看護学部〕学業成績が優秀及び人物性が良好で、卒業後、本学附属の医療機関に勤務を希望する学生を対象に、審査を経て貸与する。		貸与奨学金	貸与額は年90万円を限度とし、原則4年間貸与する。 貸与人数は各学年70名以内とする。卒業後、本学の附属の医療機関に就職し、一定の条件を満たせば、奨学金の返済の一部(5万円)を免除する。		原則4年間	1学年70名以内、	地域の制無し	看護学部事務部	併用可	条件有り併用可		
関西医科大学看護学部学生奨与奨学金	在学中	2〜4学年の4月	学費支援	〔看護学部〕入学後の家計急変により学費の支弁が困難になった学生で、学業成績及び人物性の良好な2〜4学年の学生を対象として審査を経て貸与する。		貸与奨学金	貸与額は授業料、実験実習費及び教育充実費の合計額以内とする。	1年間	人数制無し	地域の制無し	看護学部事務部	併用可	併用可			
関西医科大学リハビリテーション学部学生給付奨学金	在学中	2〜4学年の4月	特待生・成績優秀者 学費支援	学業成績が優秀及び人物性の良好な2〜4学年の学生を対象として審査を経て給付する。各学年前年度の成績上位5名が対象となる。		給付奨学金	月額5万円	1年間	5名	地域の制無し	リハビリテーション学部事務室	併用可	併用可			
関西医科大学リハビリテーション学部学生奨与奨学金	在学中	2〜4学年の4月	学費支援	入学後の家計急変により学費の支弁が困難になった学生で、学業成績及び人物性の良好な2〜4学年を対象として審査を経て貸与する。		貸与奨学金	貸与額は、授業料、実験実習費及び教育充実費の合計額以内	1年間	制無し	地域の制無し	リハビリテーション学部事務室	併用可	併用可			
藤森奨学金	その他	入学試験の成績により決定する	特待生・成績優秀者	入学試験の成績により決定する		給付奨学金	500万円		一括支給	1人	地域の制無し	学生課	併用可	併用可		
鶴島奨学金	その他	入学試験の成績により決定する	特待生・成績優秀者	入学試験の成績により決定する		給付奨学金	200万円		一括支給	1人	地域の制無し	学生課	併用可	併用可		
関西外国語大学	関西外国語大学グローバル人材育成特待生奨学金制度	その他	成績上位者が対象のため申込み不要	特待生・成績優秀者 学費支援	対象となる入試における成績上位の者。		免除・減免	年間授業料100,000円×4学年 総額3,200,000円		大学:最長4年間 短大:最大2年間 ※2年次以降の給付については継続条件があります。	地域の制無し	入試部	併用可	併用可		
	関西外国語大学本入学支援奨学金	入学手続時		入学金・授業料減免	優秀な成績で合格し、入学時の費用を減免する支援が必要と認められる者。		免除・減免	入学時に必要となる入学金・春学期授業料・春学期教育充実費の半額	入学時のみ	81(100〜130人)大学・短大(わけ)	地域の制無し	学生部	併用不可	併用可		
	関西外国語大学本学業継続緊急支援奨学金	その他		入学金・授業料減免	学業・人物ともに優れ、家計の厳しい急変などにより教育上経済的な支援が必要と認められる者。		免除・減免	当該年度の授業料および教育充実費の半額	原則、在学中1回限り	人数制無し	地域の制無し	学生部	条件有り併用可	併用可		
	関西外国語大学本学実業奨励奨学金	随時		入学金・授業料減免	父母等の家計支持者の居住地が災害救助法適用地域またはその近隣地域であり、被災により家計支持者が死亡、もしくは家業が空廃・半壊したなど、経済的理由で修学に困難があると思われる場合		免除・減免	当該年度の授業料および教育充実費(入学予定者については、入学金も免除)ただし、居住する地域が半壊の場合は、二分の一の免除となる	同一-familyにつき1回限り	人数制無し	地域の制無し	学生部	併用可	併用可		
関西外国語大学同窓会奨学金	在学中	2年生〜4年生(3年次編入生は4年次のみ)	学費支援 用途を定めない経済的支援	2年生〜4年生の学生(3年次編入生は4年次のみ) 学業成績、人物ともに優れ、経済的支援が必要と認められる者		給付奨学金	年間30万円		在学中1回限り	大学、短大あわせて30名程度	地域の制無し	学生部	併用可	併用可		
関西外国語大学荒川化学・戸毛健美奨学金	在学中	2年生〜4年生(3年次編入生は4年次のみ)	学費支援 用途を定めない経済的支援	2年生〜4年生で、中国語科目を専攻もしくは履修中の者(3年次編入生は4年次のみ)、学業成績、人物ともに優れ、経済的支援が必要と認められる者。		給付奨学金	年間20万円		在学中1回限り	大学、短大あわせて10名程度	地域の制無し	学生部	併用可	併用可		
関西外国語大学読書活動支援奨学金	随時		その他	読書に参加するための遠征費(交通費、宿泊費)	西日本大会以上の競技会へ出場した団体のクラブ員		給付奨学金	読書に参加するための遠征費(交通費、食事代を除く)	1回限り	人数制無し	地域の制無し	学生部	併用可	併用可		
関西外国語大学木村潤子交流奨学金	在学中	1年生〜4年生	留学費用支援制度	1年〜4年生の外国語学部、英語国際学部、英語キックアップ学部、国際教育推進学部生対象 要件:成績優秀者本学派遣留学生で、選考試験合格者		給付奨学金 免除・減免	給付奨学金 免除・減免	200万円 年間授業料100,000円×4学年 総額3,200,000円		1回限り 1年間(一括貸与)	人数制無し(年契約350人)	国際交流部	併用可	併用可		
近畿大学	近畿大学奨学金	入学後		学費支援	本学に在学する学生のうち日本学生支援機構第2奨学金の家計基準を満たす者		貸与奨学金	年間6万円(夏季特別優待奨学金は別額6万円)	1年間(一括貸与)	602名(全キャンパス)	地域の制無し	学生部長学課(東大系キャンパス)、各学部の学生センター(他キャンパス)	併用可	条件有り併用可		
	近畿大学応急奨学金	随時		学費支援	本学に在学する学生のうち過去1年以内に家計支持者の失業・離職・病欠・病死等により家計が急変したため緊急に奨学金が必要となった者。		貸与奨学金	年間6万円(原則)	1年間(一括貸与)	人数制無し	地域の制無し	学生部長学課(東大系キャンパス)、各学部の学生センター(他キャンパス)	併用可	条件有り併用可		
	近畿大学災害特別奨学金	随時		学費支援	過去5年以内に災害に遭い「公的機関から被災証明書」が交付され経済的理由により就学が困難な者		貸与奨学金	年間6万円(原則)	1年間(一括貸与)	人数制無し	地域の制無し	学生部長学課(東大系キャンパス)、各学部の学生センター(他キャンパス)	併用可	条件有り併用可		
	近畿大学給付奨学金	在学中	全学年	学費支援	大学が定める学力および授業の投入基準を満たす者。 *学力:1学年は受験時の国語算数平均値が(医学部のみ4.0)以上、2学年以上は前年度までの累積成績より前年度が所属学部、及び学年で3分の1以内の者が1学年連続で合格し(留学期間を除く)卒業要件(1学年の平均値)以上を取得している者 *家計:日本学生支援機構第1種奨学金の家計基準を満たしている者		給付奨学金	年間30万円	1年間(一括給付)	300名(全キャンパス)	地域の制無し	学生部長学課(東大系キャンパス)、各学部の学生センター(他キャンパス)	条件有り併用可	条件有り併用可		
近畿大学入学前予約採用型給付奨学金	その他	入学前申請	入学前申請	学費支援	入学への入学を強く希望し奨学金決定の、高等学校の成績が特定平均値3.8以上の入学生(医学部4.0以上)日本学生支援機構第1種奨学金の家計基準を満たしている者		給付奨学金	年間30万円	1年間(一括給付)	50名(全キャンパス)	地域の制無し	学生部長学課(東大系キャンパス)、各学部の学生センター(他キャンパス)	条件有り併用可	条件有り併用可		
入学試験の成績優秀者対象特待生	入学手続時			特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	進学する学部により採用基準および人数が異なる		免除・減免	最短修業年限内の授業料の全額または半額免除。 ※進学する学部により免除額が異なる。毎年継続審査あり。	進学する学部により異なる	進学する学部により異なる	地域の制無し	所属学部の学生センター	条件有り併用可	条件有り併用可		
在学中の成績優秀者対象特待生	在学中	全学年		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	所属する学部により採用基準および人数が異なる		給付奨学金 免除・減免	所属する学部により給付・免除額が異なる	進学する学部により異なる	進学する学部により異なる	地域の制無し	所属学部の学生センター	条件有り併用可	条件有り併用可		
四天王寺大学	入学試験成績優秀者奨学金	入学手続時		特待生・成績優秀者	本学の大学一般選抜前期日程および短期大学部学校推薦型選抜基礎における成績が各学科合格者の上位10%以内の者		給付奨学金 免除・減免	30万円		入学後	地域の制無し	入試・広報課	条件有り併用可	条件有り併用可		
	入学試験成績優秀者進路地域奨学金	入学手続時		特待生・成績優秀者	出身校の所在地および保護者の居住が災害救助法適用地域及び三重県以外の日本国内の都道府県にある者のうち、本学の大学一般選抜前期日程および短期大学部学校推薦型選抜基礎における成績が各学科合格者の上位20%以内の者		給付奨学金	30万円		入学後	地域の制無し	入試・広報課	条件有り併用可	条件有り併用可		
	学内奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援	1)学業成績が特に優秀である者(3セメスター以上の者) 2)経済的理由により学費が支えきれない者(1セメスター以上の者、高等教育学専攻新制度の採用者を除く)		給付奨学金	130万円 250万円		1/7月末 2/30月末	1)大学名、短大2名 2)大学・短大合計62名	地域の制無し	学生支援課	条件有り併用可	条件有り併用可	
	緊急・心疾患奨学金	随時		学費支援	本学に入学後、家計支持者死亡・失業等により病気や事故などにより、家計が急変し修学継続が困難な者		給付奨学金	1万円、2万円(家計急変内容による)		随時	10名(年間20万円)	地域の制無し	学生支援課	条件有り併用可	条件有り併用可	

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否
	海外留学および長期研修受入	その他	海外留学・長期留学(研修)参加者: 選航予定前年度10月中旬 海外留学・長期留学(研修)参加者: 選航前年度6月中旬	留学費用支援制度		全学部・全学科対象 ①外国の正規の高等教育機関に留学するもの、または、本学の提携する大学の付属機関およびその他教育機関にて1セメスター相当以上の留学または研修を行う者。本学はセメスター以上とする。 ②第3セメスター以降・長期研修の開始を希望する者は、第2セメスター終了時点で55単位以上を修得していること。第4セメスター以降・長期研修の開始を希望する者は、第3セメスター終了時点で50単位以上を修得していること。第5セメスター以降・長期研修の開始を希望する者は、第4セメスター終了時点で45単位以上を修得していること。ただし、短期大学の学生においては第3セメスター以降・長期研修の開始を希望する者は、第5セメスター終了時点で55単位以上を修得していることとする。 ③第4セメスター以降・長期研修の開始を希望する者は、第5セメスター終了時点で55単位以上を修得していることとする。 ④選航して、「他の種別1」「他の種別2」の成績が「優」以上であること。 ⑤選航のセメスターまでの通算GPAが2.0以上、GPAが2.0以上の者から上位1名を選考し成績最優秀者とする。	給付奨学金	16万～120万円(成績や留学および研修期間による)	半年以上1年未満	年間、在留学・研修11名、休学期間・研修2名を要する。	地域の制限なし	グローバル教育センター	条件有りで使用可	条件有りで使用可
	海外語学研修奨学金	その他	海外語学研修(夏学期)参加者: 選航前年度6月中旬 海外語学研修(冬学期)参加者: 選航前年度9月中旬	留学費用支援制度		①本学提携校等へ4週間の語学研修を実施する者 ②海外語学研修奨学金の支給申請をする者は、外国語能力検定試験を受験し、その成績を提出しなければならない。 人及社会学部国際キャリア学科に在籍する1セメスターおよび2セメスターで、語学能力、学習意欲が高く、本学が認める特待生対象プログラムに参加する者。	給付奨学金	10万円	研修期間中(4週間以上)	年間20名	地域の制限なし	グローバル教育センター	条件有りで使用可	条件有りで使用可
	国際キャリア学科海外留学等特待生奨学金	在学中	1年次7月～9月頃	特待生・成績優秀者 留学費用支援制度		学業成績が特に優秀あるいは課外活動等で顕著な功績のあった入学生または団体	給付奨学金	奨学金の支給対象者負担額は50万円を限度とし、それを超える額。	1年間	10名を限度とする	地域の制限なし	グローバル教育センター	条件有りで使用可	条件有りで使用可
	学長表彰	入学後		特待生・成績優秀者			給付奨学金	1～3万円相当の記念品			地域の制限なし	学生支援課	条件有りで使用可	条件有りで使用可
	グローバル教育奨学金	その他	グローバル教育研修(夏学期)参加者: 選航予定前年度10月中旬 グローバル教育研修(冬学期)参加者: 選航前年度9月中旬	留学費用支援制度		①本学に在学し、グローバル教育研修に参加する者。 ②参加費はプログラムによる。 ③奨学金支給額は1年度10万円。	給付奨学金	①成績優秀かつ学費が20万円、アジア圏外であれば30万円を支給すも、日本国内・アジア圏内では10万円を支給する。ただし、支給額はプログラム費用の50%を上限とする。	研修期間中	年度プログラムにより変動(参考: 2022年度 41名)	地域の制限なし	グローバル教育センター	条件有りで使用可	条件有りで使用可
	同窓入試試験奨学金	入学手続き		入学金・授業料減免		同窓入試に合格し入学する者	給付奨学金	15万円	入学後		地域の制限なし	入試・広報課	条件有りで使用可	条件有りで使用可
	経営学部総合奨学金	その他	入学手続き時・在学中	特待生・成績優秀者 学費支援		経営学部において1年次は一般選抜前期期における成績の上位者に支給。 2年次以降は前年度までの成績に応じ対象者を選び再選抜し、その年次の奨学金を支給。	給付奨学金	公共経済専攻の入学者の内、成績上位4名(試験合計の得点率65%程度)までを授業料全額相当額、以下8名(試験合計の得点率60%程度)までを授業料半額相当額支給。 企業経営専攻の入学者の内、上位12名(試験合計の得点率60%程度)までを授業料半額相当額支給。	1年	各専攻12名	地域の制限なし	入試・広報課	条件有りで使用可	条件有りで使用可
	看護学部特別奨学金	その他	入学手続き時・在学中	特待生・成績優秀者 学費支援		1年次は一般選抜前期期における成績の上位者。 2年次以降は前年度までの成績に応じ対象者を選び再選抜し、その年次の奨学金を支給。	給付奨学金	支給額は一般選抜前期期において入学したものの内、上位2名(試験合計の得点率65%程度)までを授業料全額相当額支給とし、以下10名(試験合計の得点率60%程度)までを授業料半額相当額支給。	入学後	12名	地域の制限なし	入試・広報課	条件有りで使用可	条件有りで使用可
摂南大学	摂南大学内特別奨学金「一般選抜前期期(3科目型)入試」	その他	入試成績優秀者に合格通知とともに「認定書」を送付。	特待生・成績優秀者		本学一般選抜前期期(3科目型)入試に合格し、入試試験成績が特に優秀な者で本学生となった者。	給付奨学金	年間授業料と教育充実費の半額相当額	入学初年度のみ	定員334名	地域の制限なし	入試部	併用可	併用可
	摂南大学内特別奨学金「大学入学共通テスト利用入試前期」	その他	入試成績優秀者に合格通知とともに「認定書」を送付。	特待生・成績優秀者		本学の大学入学共通テスト利用入試前期に合格し、入試試験成績が特に優秀な者で本学生となった者。	給付奨学金	年間授業料と教育充実費の半額相当額	入学初年度のみ	定員95名	地域の制限なし	入試部	併用可	併用可
	摂南大学学業奨励スタジアム	在学中	2年次以上	特待生・成績優秀者		本学の2年次以上に在学し、学業・人物ともに優秀認められる者。	給付奨学金	年間30万円	1年間	各学科入学時の入学生員30%程度	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	摂南大学学園創立60周年記念奨学金	在学中	3年次(奨学部は4年次)	特待生・成績優秀者		本学の3年次(奨学部は4年次)に在学し、学業・人物ともに優秀認められる者。	給付奨学金	年間30万円	1年間	各学部若干名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	摂南大学バッドフォード奨学金	在学中	3年次	特待生・成績優秀者		本学の国際学部(外国語学部)の3年次に在学する女子学生で、学業成績、人物ともに優れ、特に学業を奨励するに足る者。	給付奨学金	年間6万円	1年間	1名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	学園友及校友学基金奨学金	在学中	学部3・4年次(奨学部5・6年次)	その他	将来教員を目指す者への学業奨励金	本学に在学し、将来教員を目指す者で、学業成績、人物ともに優れ、特に学業を奨励するに足る者。	給付奨学金	年額上限3万円(年度により異なる)	給付回数: 原則1回、年度末に1回	各学部上課人数程度	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	学費減免	在学中	全年次	入学金・授業料減免		1 つぎの各号のいずれかに該当し、学業成績が顕著な者に対しては、その理由の発生した直後の学費の半額を減免することができる。 イ 学費支弁者が、死亡または重度の障害をきたし、他に支弁者がいない等 ロ 経済的に困窮している者 ハ 家庭が破産または学費支弁者の責に帰せざる理由によって、その職を失い「経済的に困窮している者」 ニ 上述各号のうち、かつ以上2号以上を併せ持つ場合は、その理由の発生した直後の学費の全額を減免することができる。 2 休学者、摂南大学学生海外留学規定により留学を許可された者または年度途中卒業もしくは退学者に対しては、学費を減免することができる。ただし、休学者および留学者等は在籍料を納入しなければならない。	免除・減免	免除・減免	制度なし	制度なし	地域の制限なし	学生課	条件有りで使用可	条件有りで使用可
	摂南大学海外留学奨学金	在学中	2、3年次	特待生・成績優秀者 留学費用支援制度		国際学部の海外留学制度(長期)を利用して、協定校等へ留学する学生。	給付奨学金	長期留学の場合は成績優秀者(約3割)に120万円、その他の学生に120万円を、短期留学の場合は全額一律10万円を支給。	長期留学・短期留学それぞれ上限120万円	学長が定める	地域の制限なし	国際学部事務室	条件有りで使用可	条件有りで使用可
	学生支援費	在学中	全年次	用途を定めない経済的支援		本学に在学する学生のうち、不測の事態発生によって一時的に困難に陥る者。	その他	1回10,000円まで(年度により異なる)	貸付期間は、3か月以内。	制度なし	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	スポーツ奨学金	在学中	2年次以上	学費支援 用途を定めない経済的支援		標準修業年限を超えおらず、日本学生支援機構の奨学生で、経済的理由により休学困難な者。	給付奨学金	年額上限3万円(年度により異なる)	1年	1名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	摂南大学学園創立100周年記念奨学金	在学中	2年次以上	学費支援 用途を定めない経済的支援		標準修業年限を超えおらず、日本学生支援機構の奨学生で、経済的理由により休学困難な者。	給付奨学金	年額上限5万円(年度により異なる)	1年	1名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
相愛大学	A種奨学生	学校出願時		特待生・成績優秀者		音楽学部特別推薦コース(音楽・ピアノ・管弦打楽器専攻)において専攻実技が特に優秀な者、特別養成コース奨学生推薦入試として募集。 出願者は、出願書長の推薦を受け、専願、浪入学可。 かつ高校在籍時以下の①～③のいずれかに該当する成績を修めた者(ただし、同専攻・同楽器での出願に限る)。 ① 音楽専攻音楽奨励奨励コース 専攻地区大会、もしくは全日本大会に以内入賞。 ② 日本音楽コンクール、2次賞、もしくは以上入賞。 ③ ビバホール学コンクール 本選出場。	給付奨学金	4年間の授業料・維持費・施設費相当額を給付。ただし入学後1年ごとに審査あり。	4年間(ただし、入学後1年ごとに審査あり)	若干名	地域の制限なし	大学事務局入試部入試課	併用可	併用可
	B種奨学生	その他	音楽学部は学校出願時、人文学部および人間発達学部は入試の成績により採用されるか否か決定(受験料が免除する必要はない)。	特待生・成績優秀者		①音楽学部で実施される「奨学生推薦入試」に合格者 ②人文学部および人間発達学部で実施される「推薦入試、推薦由入試」「一般選抜入試、一般選抜B入試」「共通テスト・利用入試、共通テスト・利用由入試」に合格者のうち、特に成績優秀である者。	給付奨学金	4年間の授業料の50%相当額を給付。ただし入学後1年ごとに審査あり。	① 4年間、ただし入学後1年ごとに審査あり。 ② 1年間、入学後1年ごとに審査あり。	① 音楽学部の専業主入賞者1名は音楽コースは音楽、音楽文化創造コースは音楽、音楽文化創造コースは音楽および人間発達学部入試の特点により決定する。他は若干名。	地域の制限なし	大学事務局入試部入試課	併用可	併用可
	入学金免除 対象入試	学校出願時		入学金・授業料減免		音楽学部 (1)「分属の学生会特別推薦入試」 ○出願資格: 分属の学生会会員の推薦が受けられる者。専願、浪入学可。 (2)「相愛大学附属音楽堂特別推薦入試」 ○出願資格: 相愛大学附属音楽堂会長の推薦が受けられる者。専願、浪入学可。 人文学部および人間発達学部 ①出願資格: 専攻地区大会実技賞、全関西特別推薦入試、 (1)「専攻特別推薦入試、専攻特別推薦入試」に合格した者、専願、浪入学可。 ○出願資格: 浄土真宗本願寺住持の推薦が受けられる者。専願、浪入学可。	免除・減免	免除・減免	入学手続き、入学金免除。	専攻人員について 人文・専攻特別推薦はABCおよびD 人文・専攻特別推薦はABCおよびD 人文・専攻特別推薦はABCおよびD 人文・専攻特別推薦はABCおよびD	地域の制限なし	大学事務局入試部入試課	併用可	併用可
	C種奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者		対象入試: 社会人特別入試 対象学部: 人文学部 適用条件: 社会人特別入試に合格し推薦成績を合格し、かつ入学時に満30歳以上の者。	給付奨学金	4年間の授業料の50%相当額を給付。ただし入学後1年ごとに審査あり。	4年間(ただし入学後1年ごとに審査あり)	特に優秀な成績を合格した者が対象	地域の制限なし	大学事務局入試部入試課	併用可	併用可
	相愛大学急病奨学金	在学中		学費支援		本学在籍の正規学生で、その家計状況に変化が生じ、学業継続が困難になった者の修学を奨励することを目的とする。ただし以下に掲げるものを除く。 (1) 特別奨学生である者 (2) 休学者の者 (3) 留学者 (4) 当該年度に相愛学園奨学金を受けた者	貸与奨学金	年額60万円以内			地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可
	相愛大学音楽部特殊奨学金	在学中	2年～4年	特待生・成績優秀者 学費支援		音楽学部学生で、学業支弁の困難な者のうち、専攻科目(実技)成績が優秀で、将来性のある者。	給付奨学金	月額2万円	決定した年度	1名乃至2名	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可
	相愛大学音楽部特殊奨学金音楽奨励奨学金	在学中		特待生・成績優秀者 学費支援		音楽学部音楽学部選考コース奨励専攻専攻のうち、専攻科目(実技)成績が優秀で、将来性のある者。 奨学生の選考は、専攻地区大会コンクールで行われる。	給付奨学金	年額30万円を限度とし、前期・後期に分けて交付する。			地域の制限なし	学生支援センター	併用可	条件有りで使用可
	相愛大学音楽部特殊奨学金音楽奨励奨学金	在学中		特待生・成績優秀者 学費支援		音楽学部音楽学部選考コース奨励専攻専攻のうち、学費支弁の困難な者で専攻科目(実技)成績が優秀で、将来性のある者。ただし、特別奨学生および過去に相愛大学音楽部特殊奨学金音楽奨励奨学金を受けたものを除く。 奨学生の選考は、専攻地区大会コンクールで行われる。	給付奨学金	月額1万円、3か月毎月に支給。			地域の制限なし	学生支援センター	併用可	条件有りで使用可
	ミツ(奨)学金	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者 学費支援		入学時に困難な学生で、経済的理由により修学が困難な者、学業成績が優秀で、他学生の模範となる者の修学を奨励することを目的とする。成績及び所得審査あり。ただし、特別奨学生、休学者の者および留学者を除く。	給付奨学金	授業料等納付金の年額の50%相当額	1年間	8名以内	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	条件有りで使用可
梅花女子大学	神山奨学金	在学中	2年生以上	学費支援		【対象学年】2年生以上 【対象学部】全学部 【対象】課外活動の成績が顕著な者(ほかにかかわらず、経済的理由により学業困難な者) 【選考方法】1次審査: 学力(成績)、2次審査: 面接(審判: 人物等)	免除・減免	年間授業料の1/2または1/4相当額		約20名	地域の制限なし	学生部学生支援グループ	併用可	併用可
	特別奨学生	随時		学費支援		【対象学年】全学年 【対象学部】全学部 【対象】課外活動の成績が顕著な者(ほかにかかわらず、入学後、履修、家計支持者の死亡、その他突発的な理由により家庭の経済事情が急変し修学が難しく困難に陥った者) 【選考方法】学力(成績)、面接(審判: 人物)	免除・減免	年度により異なる	1回限り		地域の制限なし	学生部学生支援グループ	併用可	併用可
	一般の特待生	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		一般入試「第5段階」型受験者のうち、受験学部の合格判定率前位の得点率が70%以上かつ、合格者の上位20%以内の者。	免除・減免	入学金相当額と年間授業料の半額分を合わせて免除。 ただし、入学金免除対象者は一般の特待生による入学金相当額の免除は行われません。			地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用可
	大学入学共通テスト利用特待生	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		大学入学共通テスト利用特待生1期・2期の受験者のうち、受験学部の合格判定率前位の得点率が70%以上かつ、合格者の上位20%以内の者。	免除・減免	年間の授業料半額免除。			地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用可
	指定特待生	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		高等教育第3学年(学部)までの全体の評定平均値が5.0以上の者(看護学部の4.3以上)	免除・減免	入学金全額免除。			地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用可
	指定強化クラブB特待生	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		指定強化クラブの基準を満たす者のうち特に優秀な成績を収め、本学が特待生としてふさわしいと認定した者(団体種目・個人種目は問わない)。 特に優秀な成績とは、全国大会等で上位入賞や国際大会出場等(日本代表選手等)、もしくはそれと同等の実績。	免除・減免	授業料全額免除。			地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用可
	指定強化クラブA特待生	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		都道府県の大会等で位以上、もしくはそれと同等の成績を収め、本学が特待生としてふさわしいと認定した者(団体種目・個人種目は問わない)。 優秀な成績とは、全国大会等で上位入賞や国際大会出場等(日本代表選手等)、もしくはそれと同等の実績。	免除・減免	授業料半額免除。			地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用可
	指定強化クラブB特待生	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		都道府県の大会等で位以上、もしくはそれと同等の成績を収め、本学が特待生としてふさわしいと認定した者(団体種目・個人種目は問わない)。 優秀な成績とは、都道府県の大会等において上位入賞等、もしくはそれと同等の実績。	免除・減免	授業料全額免除。			地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用可
阪南大学	入試成績優秀者(特待生)奨学金	入学手続き		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		①【対象学年】～4年生【学部】全学部【資格・条件】一般入試(前期)【教科科目】得点率80%(240点以上/300満点)かつ上位10位以上 ②【対象学年】～4年生【学部】全学部【資格・条件】大学入学共通テスト利用入試(前期)【教科科目】得点率75%(225点以上/300満点)かつ上位10位以上 ③【対象学年】～4年生【学部】全学部【資格・条件】一般入試(前期)【教科科目】ベネッセ教科科目得点率80%(160点以上/200満点)かつ上位10位以上 ④【対象学年】～4年生【学部】全学部【資格・条件】大学入学共通テスト利用入試(前期)【教科科目】得点率75%(160点以上/200満点)かつ上位10位以上 ※継続基準については1年ごとに学業成績および研修課題が定められる。	給付奨学金	①3年間80万円 ②3年間70万円 ③3年間40万円 ④3年間40万円	①4年間 ②4年間 ③4年間 ④4年間	①得点率80%(240点以上/300満点)かつ上位10位以上 ②得点率75%(225点以上/300満点)かつ上位10位以上 ③得点率80%(160点以上/200満点)かつ上位10位以上 ④得点率75%(160点以上/200満点)かつ上位10位以上	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可
	入試成績優秀者奨学金	入学手続き		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		①【対象学年】1年【学部】全学部【資格・条件】一般入試(前期)【教科科目】得点率80%(240点以上/300満点)かつ、全体の上位11位から20位まで ②【対象学年】1年【学部】全学部【資格・条件】大学入学共通テスト利用入試(前期)【教科科目】得点率75%(225点以上/300満点)かつ、全体の上位11位から20位まで ③【対象学年】1年【学部】全学部【資格・条件】一般入試(前期)【教科科目】ベネッセ教科科目得点率80%(160点以上/200満点)かつ、全体の上位11位から20位まで ④【対象学年】1年【学部】全学部【資格・条件】大学入学共通テスト利用入試(前期)【教科科目】得点率75%(160点以上/200満点)かつ、全体の上位11位から20位まで ⑤【対象学年】1年【学部】全学部【資格・条件】公募制推薦入試(前期)【得点率】80%(200点以上/250満点)かつ、全体の上位1位から10位まで	給付奨学金	①3年間40万円 ②3年間40万円 ③3年間40万円 ④3年間40万円 ⑤3年間40万円	①1年程度のみ(留学期間) ②入学生年度のみ(留学期間) ③入学年度のみ(留学期間) ④入学年度のみ(留学期間) ⑤入学年度のみ(留学期間)	①得点率80%(240点以上/300満点)かつ、全体の上位11位から20位まで ②得点率75%(225点以上/300満点)かつ、全体の上位11位から20位まで ③得点率80%(160点以上/200満点)かつ、全体の上位11位から20位まで ④得点率75%(160点以上/200満点)かつ、全体の上位11位から20位まで ⑤得点率80%(200点以上/250満点)かつ、全体の上位11位から10位まで	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可
	指定資格取得奨学金	その他		資格取得支援制度		【対象学年】1年【学部】全学部【資格・条件】専願入試に合格者で、下記の資格を取得した者に対し100,000円を給付。なお、複数の資格の申請ができ、入試試験実施の年度末まで申請が認められる。 ①日本学生能力検定第1種以上/②日商簿記検定2級以上/③全商簿記検定2級以上/④全商簿記検定2級以上/⑤TOEIC L&R 750点以上/⑥TOEIC R 750点以上/⑦TOEIC R 750点以上/⑧TOEIC R 750点以上/⑨TOEIC R 750点以上/⑩TOEIC R 750点以上/⑪TOEIC R 750点以上/⑫TOEIC R 750点以上/⑬TOEIC R 750点以上/⑭TOEIC R 750点以上/⑮TOEIC R 750点以上/⑯TOEIC R 750点以上/⑰TOEIC R 750点以上/⑱TOEIC R 750点以上/⑲TOEIC R 750点以上/⑳TOEIC R 750点以上/㉑TOEIC R 750点以上/㉒TOEIC R 750点以上/㉓TOEIC R 750点以上/㉔TOEIC R 750点以上/㉕TOEIC R 750点以上/㉖TOEIC R 750点以上/㉗TOEIC R 750点以上/㉘TOEIC R 750点以上/㉙TOEIC R 750点以上/㉚TOEIC R 750点以上/㉛TOEIC R 750点以上/㉜TOEIC R 750点以上/㉝TOEIC R 750点以上/㉞TOEIC R 750点以上/㉟TOEIC R 750点以上/㊱TOEIC R 750点以上/㊲TOEIC R 750点以上/㊳TOEIC R 750点以上/㊴TOEIC R 750点以上/㊵TOEIC R 750点以上/㊶TOEIC R 750点以上/㊷TOEIC R 750点以上/㊸TOEIC R 750点以上/㊹TOEIC R 750点以上/㊺TOEIC R 750点以上/㊻TOEIC R 750点以上/㊼TOEIC R 750点以上/㊽TOEIC R 750点以上/㊾TOEIC R 750点以上/㊿TOEIC R 750点以上	給付奨学金	1回限り	人数制なし	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可	
	阪南大学給付奨学金 学業成績優秀者奨学金	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者		【対象学年】2年生～4年生【学部】全学部【資格・条件】専願入試に合格者で、下記の資格を取得した者に対し100,000円を給付。なお、複数の資格の申請ができ、入試試験実施の年度末まで申請が認められる。 ①日本学生能力検定第1種以上/②日商簿記検定2級以上/③全商簿記検定2級以上/④全商簿記検定2級以上/⑤TOEIC L&R 750点以上/⑥TOEIC R 750点以上/⑦TOEIC R 750点以上/⑧TOEIC R 750点以上/⑨TOEIC R 750点以上/⑩TOEIC R 750点以上/⑪TOEIC R 750点以上/⑫TOEIC R 750点以上/⑬TOEIC R 750点以上/⑭TOEIC R 750点以上/⑮TOEIC R 750点以上/⑯TOEIC R 750点以上/⑰TOEIC R 750点以上/⑱TOEIC R 750点以上/⑲TOEIC R 750点以上/⑳TOEIC R 750点以上/㉑TOEIC R 750点以上/㉒TOEIC R 750点以上/㉓TOEIC R 750点以上/㉔TOEIC R 750点以上/㉕TOEIC R 750点以上/㉖TOEIC R 750点以上/㉗TOEIC R 750点以上/㉘TOEIC R 750点以上/㉙TOEIC R 750点以上/㉚TOEIC R 750点以上/㉛TOEIC R 750点以上/㉜TOEIC R 750点以上/㉝TOEIC R 750点以上/㉞TOEIC R 750点以上/㉟TOEIC R 750点以上/㊱TOEIC R 750点以上/㊲TOEIC R 750点以上/㊳TOEIC R 750点以上/㊴TOEIC R 750点以上/㊵TOEIC R 750点以上/㊶TOEIC R 750点以上/㊷TOEIC R 750点以上/㊸TOEIC R 750点以上/㊹TOEIC R 750点以上/㊺TOEIC R 750点以上/㊻TOEIC R 750点以上/㊼TOEIC R 750点以上/㊽TOEIC R 750点以上/㊾TOEIC R 750点以上/㊿TOEIC R 750点以上	給付奨学金	1年程度	1名程度	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	阪南大学給付奨学金 クラブ奨学金	在学中	1年生～4年生	課外活動支援制度		【対象学年】1年生～4年生【学部】全学部【資格・条件】過去の文化体育活動において顕著な実績があり、また今後も活躍が期待される学生で、本学のクラブに所属し、成績、人物ともに優れている学生に給付される奨学金です。	給付奨学金	3年間40万円	1年	各学年10名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	阪南大学業績支援奨学金	在学中	1年生～4年生	用途を定めない経済的支援		【対象学年】1年生～4年生【学部】全学部【資格・条件】経済的に困難しており、修学を継続することが困難であり、修学支援制度に該当しない者。(家計基準の見直しにより、支援対象外となつたものについてはお問い合わせください。) 【対象】1年次年度までに2年次生は31単位、3年次生は42単位、4年次生は53単位以上を修得していること。1年次生は、前期終了時点で18単位以上修得していること。	給付奨学金	3年間5万円	1年間	若干名	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	条件有りで使用可

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的ものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」的具体的内容	(3)支援の種類	「その他」的具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
暹羅地出身学生奨励奨学金	暹羅地出身学生奨励奨学金	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者 用途指定のない経済的支援 その他	暹羅地出身学生で下宿生活している学生を対象とした奨学金制度	①在学中・【学力基準】高等学校の調査会等の学習成績の状況が4.0以上の者 ※同等学校卒業程度認定試験(大学入学者資格特定の合格者は基準を満たしているものとして扱います。 【算定基準】日本学生支援機構第一種奨学金を借りている者 ②0～4年生…【学力基準】次の2項目を両方満たしている者 (1)前年度までに学業成績が3.0以上、かつ前年度以上の成績を挙げていること (2)前年度1年間の成績評価(GPA)が2.7以上 【算定基準】日本学生支援機構第一種奨学金を借りている者 ③(在学中)1～4年生 【学部】全学部学科 【資格】条件(各担当部署)において選考された人物優秀な者に対し、給付される奨学金です。	給付奨学金	①(1年生)40万円 ②(2年生以上)24万円	①②ともに、当該年度に限る (毎年出願可)	①②あわせて70名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有り併用可	
	阪南大学後援会奨学金 学部成績優秀者 奨励奨学金	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者			給付奨学金	年額30～40万円	1年間	各学部学科により異なる	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	阪南大学後援会奨学金 クラブ奨学金	在学中	1年生～4年生	課外活動支援制度			給付奨学金	年額20万円	1年間	15名(全学年)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	暹羅地出身学生奨励奨学金	学校出願時		その他	2次選考以上の学部学生(留し、外国人留学生を除く)で、本学における学業において他の学生の模範となるような極めて優秀な成績を取った者。採用人数70名。	暹羅地出身者のうち、下宿生活を行う学生への経済的支援	通学時間が概ね1週間以上を要し、自宅外通学(下宿生活)をしている暹羅地出身者のうち、成績優秀な学部学生(留し、外国人留学生を除く)で、経済的理由により進学が困難な者。募集人数100名。	給付奨学金	(年額)300,000円	1年間(ただし、毎年出願可)	70名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
桃山学院大学	桃山学院大学 成績優秀者 奨励奨学金	その他	大学から対象者に通知	特待生・成績優秀者		2次選考以上の学部学生(留し、外国人留学生を除く)で、本学における学業において他の学生の模範となるような極めて優秀な成績を取った者。採用人数70名。	給付奨学金	年間学業成績優秀者奨励奨学金を給付	当該年度に限る	70名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	桃山学院大学 課外活動 学業奨励奨学金	学校出願時		その他	課外活動の成績が優秀な学部学生で、かつ、学内開課の資格課または別に定める学外講座受講料相当額(ただし、10万円/年を限度)	通学時間が概ね1週間以上を要し、自宅外通学(下宿生活)をしている暹羅地出身者のうち、成績優秀な学部学生(留し、外国人留学生を除く)で、経済的理由により進学が困難な者。募集人数100名。	給付奨学金	年間学業成績優秀者奨励奨学金を給付	当該年度に限る(ただし、毎年出願可)	100名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	桃山学院大学 両言語学業奨励奨学金	学校出願時		資格取得支援制度		学業成績が優秀な学部学生で、かつ、学内開課の資格課または別に定める学外講座受講料相当額(ただし、10万円/年を限度)	給付奨学金	年間学業成績優秀者奨励奨学金を給付	当該年度に限る(ただし、毎年出願可)	2年生以上100人 1年生30人	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	桃山学院大学 両言語学業奨励奨学金	学校出願時		学費支援		本学の学部・に在学する学生(外国人留学生およびこれに準ずる者として学長が認めた者を除く)において、経済的理由で学費の納入が困難で、学業の継続が不可避な学生を対象とする。併用可。	給付奨学金	春季授業料相当額(364,500円)を上限とする。	1回限り	5～6名程度	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	桃山学院大学 長期派遣留学 奨励奨学金	その他	長期派遣留学申込期間	留費用支援制度		対象学年:全学年 対象学部:全学部 資格:条件 第1号奨学金:応募時までの累計GPA3.0以上かつ前年度までの修得単位数が学年ごとに定められた基準を満たしている者 第2号奨学金:応募時までの累計GPA2.3以上	給付奨学金	第1号奨学金 留学対象学部の本学学費相当額 第2号奨学金 留学対象学部ごとに15万円	1学期1回	第1号:3名 第2号:制限なし	地域の制限なし	国際センター事務局	条件有り併用可	併用可	
	短期海外研修 学生奨励金	その他	短期海外研修申込期間	留費用支援制度		対象学年:全学年 対象学部:全学部 資格:条件 応募時までの累計GPA2.0以上	給付奨学金	プログラム費用の10%(上限6万円)	プログラム履修時	人数制限なし		国際センター事務局	条件有り併用可	併用可	
	桃山学院大学 授業料減免制度	学校出願時		入学金・授業料減免		出願時期1年以内(ただし、入学以前は除く)の突発的な事由により、一時的に家計に重大な変化(家計支援者の死亡、解雇、災害の被災)が生じ、学費の納入が困難な学生であること。もしくは、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年または2021年と比較して世帯収入が20%以上減少する学生であること。 【その他留意事項】 (2022年度 春季期 募集要項)	免除・減免	半期授業料全額(364,500円)を上限とする。	当該学期に限る。ただし、在学中2回まで申請可。			学生支援課	併用可	併用可	
	桃山学院大学教育ローンを利子補償奨学金	学校出願時		学費支援		出願することができず、本学の学部・に在学する学生(外国人留学生およびこれに準ずる者として学長が認めた者は除く。)で、次の各号のいずれかに該当し、的に返済とする。 1. 当該年度に本学と提携する教育ローンの借入を受け、その料金を支払った者 2. 高等教育の修学支援制度の支援を受けていない者 3. 在籍期間が修業年限(修業年限を超過していない者) 4. 本学での学業成績および卒業状況が別に定める基準に達する者	給付奨学金	25,000円を上限とする。		当該年度に限る(ただし、毎年申請可)	40名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	長期派遣留学 奨励奨学金	その他	長期派遣留学申込期間	留費用支援制度		対象学年:全学年 対象学部:全学部 資格:条件 第1号奨学金:応募時までの累計GPA3.0以上かつ前年度までの修得単位数が学年ごとに定められた基準を満たしている者 第2号奨学金:応募時までの累計GPA2.3以上	給付奨学金	第1号奨学金 留学対象学部の本学学費相当額 第2号奨学金 留学対象学部ごとに15万円	1学期1回	第1号:3名 第2号:制限なし	地域の制限なし	国際センター事務局	条件有り併用可	併用可	
	桃山学院教育大学	入学試験成績優秀者対象特別奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者		対象学年:全学年 対象学部:全学部 資格:条件 第1号奨学金:応募時までの累計GPA3.0以上かつ前年度までの修得単位数が学年ごとに定められた基準を満たしている者 第2号奨学金:応募時までの累計GPA2.3以上	給付奨学金	毎年65万円	4年間・毎年継続審査があり	20	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可
成績優秀者奨励奨学金		在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者		入学後の学業成績の高い成績上位者の大学生生活を支える奨学金制度です。 ①成績優秀者(本学における学業成績において、他の学生の模範となるような優秀な成績を修め、かつ経済的支援が必要な) ②学業優秀者(学業成績において、他の学生の模範となるような優秀な成績を修め、かつ経済的支援が必要な) ③この奨学金は公募を行わず、前年度の学業成績を勘案し、2次以降、成績上位者に対して直接募集します。 ※当該年度に限ります。(留し、毎年出願可能)	給付奨学金	年額40万円	①1年間	1学年3名	地域の制限なし	学生グループ	併用可	併用可	
授業料減免		入学後		入学金・授業料減免		経済的理由または突発的な事由によって授業料の納入が困難な(留し、1年生次前期は除く)に対する授業料減免制度です。 【募集対象】(当該年度の募集要項) ※減免の適用は、原則として在学中2回を限度とします。 ※入学以前の事由は申請対象外です。	免除・減免	各期(前期・後期)の授業料を上限とする金額	当該学期のみ	人数制限なし	地域の制限なし	学生グループ	併用可	併用可	
太成学院大学	太成学院大学 奨励奨学金	学校出願時		その他	出願時に既に本学指定の資格を取得している方	高等学校入学以前に取得した資格によって、入学試験に奨学金を免除	給付奨学金	入学後、入学金の全額相当(250,000円)または、奨励金(125,000円)を支給	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	入試課	併用可	併用不可	
	太成学院大学 奨励奨学金	学校出願時		その他	授業料の半額を最長4年間免除	①35名(留学生 授業料の半額を最長4年間免除 ●看護学部:1,840,000円 ●人間・経営学部:1,600,000円 ②20名(留学生 授業料の半額を最長4年間免除 ●看護学部:1,840,000円 ●人間・経営学部:1,600,000円 ③20名(留学生 授業料の半額を最長4年間免除 ●看護学部:1,840,000円 ●人間・経営学部:1,600,000円	免除・減免	①入学金の全額(250,000円)または、奨励金(125,000円)を支給 ②入学金の半額(125,000円)を支給	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	入試課	併用可	併用不可	
	総合型選抜奨学金	学校出願時		その他	入学金半額相当を支給	①人間学部・経営学部…総合型選抜第1期・第2期で選抜。合格となった方が入学半額を支了した方は、入学後に奨学金を支給 ②人間学部・経営学部…総合型選抜第1期・第2期で選抜。合格となった方が入学半額を支了した方は、入学後に奨学金を支給	給付奨学金	①入学金半額相当の125,000円を支給	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	入試課	併用可	併用不可	
	総合型選抜フェニール奨学金	学校出願時		その他	最大2年間分の授業料相当(3年次・4年次)	●本学を専攻とし、12月までの総合型選抜で人間学部または経営学部へ合格した女子の方。 ●入学後、学内で専攻する学生かつかつ2年以上活動すること。 ●専攻している科目に日本語能力試験(N1またはN2)を取得していることを条件とします。	免除・減免	最大2年間分の授業料相当(3年次300,000円、4年次300,000円)	3年次・4年次	人数制限なし	地域の制限なし	入試課	併用可	併用不可	
常盤会学園大学	学校推薦型選抜(指定校推薦方式)特別奨学金	その他	別途申請の必要はありません。	その他	別選抜申請の必要はありません。	人間学部・経営学部…総合型選抜第1期・第2期で選抜。合格となった方が入学半額を支了した方は、入学後に奨学金を支給 ②人間学部・経営学部…総合型選抜第1期・第2期で選抜。合格となった方が入学半額を支了した方は、入学後に奨学金を支給	給付奨学金	入学後、入学金の全額相当(250,000円)または、奨励金(125,000円)を支給	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	入試課	併用可	併用不可	
	学校推薦型選抜(指定校)奨学金制度	在学中	(1年次)秋学期から(2年次)春・秋期	学費支援		人間学部・経営学部…総合型選抜第1期・第2期で選抜。合格となった方が入学半額を支了した方は、入学後に奨学金を支給 ②人間学部・経営学部…総合型選抜第1期・第2期で選抜。合格となった方が入学半額を支了した方は、入学後に奨学金を支給	給付奨学金	入学料の1/2を上回る	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	入試課	併用可	併用不可	
	常盤会学園大学 教育費支援奨学金	在学中	全学年	学費支援		①人間学部・経営学部…総合型選抜第1期・第2期で選抜。合格となった方が入学半額を支了した方は、入学後に奨学金を支給 ②人間学部・経営学部…総合型選抜第1期・第2期で選抜。合格となった方が入学半額を支了した方は、入学後に奨学金を支給	給付奨学金	50,000円	募集時期…秋期	該当者全員	地域の制限なし	入試課	併用可	併用不可	
	一般財団法人常盤会学園奨学金	在学中	全学年	学費支援		募集時期…秋期 対象…学業、人物ともに優秀な者	給付奨学金	50,000円				地域の制限なし	入試課	併用可	併用不可
	総合型選抜(学校推薦型指定校)特待生入学金免除制度	その他	本学中1に合格	入学金・授業料減免		2024年度入試、総合型選抜、学校推薦型指定校に合格した者	免除・減免	入学金の全額(20万円)免除	入学手続時に免除される	該当者全員	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可	
	学校推薦型選抜(公開型)特待生入学金免除制度	その他	本学中1に合格	入学金・授業料減免		2024年度入試、学校推薦型選抜(公開)に合格した者	免除・減免	入学金の半額(10万円)免除	入学手続時に免除される	該当者全員	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可	
	海外留学費用半額支援制度	その他	一般選抜(前期)出願期間内(2月)出願サイトで申請 出願期間:2024年1月9日～1月24日(水)	留費用支援制度		採用条件…一般選抜(前期)の英語試験の成績上位5名の者 試験日:2024年1月28日(一般選抜(前期)) (所定の基準点に達しない場合は除く(資格加点制も利用可)) ※入学後の修学成績(成績)に不備な場合は中止となります	その他	本学が実施している海外留学プログラムに参加する機会 留費用の半額(上限30万円)迄給付支援する制度	1回	5名	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可	
	暹羅地出身学生入学金免除制度	学校出願時		入学金・授業料減免		指定する暹羅地出身者(留し、成績が優秀な者) ※学業成績が優秀な者(留し、成績が優秀な者) ※出願時期3月以内(ただし住居(本人および家族の住民票の原本)を提出できる者) ※留しとする者	免除・減免	入学金の全額(20万円)免除	1回 入学手続時に免除される	該当者全員	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可	
	両言語・在学学生入学金半額免除制度	学校出願時		入学金・授業料減免		※留しとする者 ※証明するための「卒業証明書」または「在学証明書」を提出できる者(卒業証明書は不可) ※留しとする者	免除・減免	入学金の半額(10万円)免除	1回 入学手続時に免除される	該当者全員	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可	
	常盤会短期大学付属幼稚園出身学生入学金免除制度	学校出願時		入学金・授業料減免		※留しとする者 ※証明するための「卒業証明書」または「在学証明書」を提出できる者(卒業証明書は不可) ※留しとする者	免除・減免	入学金の半額(10万円)免除	1回 入学手続時に免除される	該当者全員	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可	
大阪人間科学大学	スクラッシュ制度	入学後		特待生・成績優秀者		①対象入試種別での得点率が60%以上の入学者は、年間授業料から50万円減額 ②対象入試種別での得点率が90%以上の入学者は、年間授業料を全額免除 ③2年次以降は成績による	免除・減免	①年額50万円 ②年間授業料全額免除	①1年間 ②2年次以降は成績による	①人数制限なし	地域の制限なし	入試センター課	併用可	併用不可	
	学校推薦型選抜(指定校)奨学金制度	入学手続時		入学金・授業料減免		①年額40万円 ②2年次以降は成績による	免除・減免	①年額40万円	①1年間 ②2年次以降は成績による	①人数制限なし	地域の制限なし	入試センター課	併用可	併用不可	
	スクラッシュチャレンジ制度	学校出願時		入学金・授業料減免		①年額40万円 ②2年次以降は成績による	免除・減免	①年額40万円 ②2年次以降は成績による	①1年間 ②2年次以降は成績による	①人数制限なし	地域の制限なし	入試センター課	併用可	併用不可	
	総合型選抜(ファミリー)入学金免除制度	入学手続時		入学金・授業料減免		①年額40万円 ②2年次以降は成績による	免除・減免	①年額40万円 ②2年次以降は成績による	①1年間 ②2年次以降は成績による	①人数制限なし	地域の制限なし	入試センター課	併用可	併用不可	
	スクラッシュチャレンジ制度	学校出願時		入学金・授業料減免		①年額40万円 ②2年次以降は成績による	免除・減免	①年額40万円 ②2年次以降は成績による	①1年間 ②2年次以降は成績による	①人数制限なし	地域の制限なし	入試センター課	併用可	併用不可	
	総合型選抜(ファミリー)入学金免除制度	入学手続時		入学金・授業料減免		①年額40万円 ②2年次以降は成績による	免除・減免	①年額40万円 ②2年次以降は成績による	①1年間 ②2年次以降は成績による	①人数制限なし	地域の制限なし	入試センター課	併用可	併用不可	
	スクラッシュチャレンジ制度	学校出願時		入学金・授業料減免		①年額40万円 ②2年次以降は成績による	免除・減免	①年額40万円 ②2年次以降は成績による	①1年間 ②2年次以降は成績による	①人数制限なし	地域の制限なし	入試センター課	併用可	併用不可	
	総合型選抜(ファミリー)入学金免除制度	入学手続時		入学金・授業料減免		①年額40万円 ②2年次以降は成績による	免除・減免	①年額40万円 ②2年次以降は成績による	①1年間 ②2年次以降は成績による	①人数制限なし	地域の制限なし	入試センター課	併用可	併用不可	
	スクラッシュチャレンジ制度	学校出願時		入学金・授業料減免		①年額40万円 ②2年次以降は成績による	免除・減免	①年額40万円 ②2年次以降は成績による	①1年間 ②2年次以降は成績による	①人数制限なし	地域の制限なし	入試センター課	併用可	併用不可	
	総合型選抜(ファミリー)入学金免除制度	入学手続時		入学金・授業料減免		①年額40万円 ②2年次以降は成績による	免除・減免	①年額40万円 ②2年次以降は成績による	①1年間 ②2年次以降は成績による	①人数制限なし	地域の制限なし	入試センター課	併用可	併用不可	
羽衣国際大学	グローバルチャレンジプログラム(GCP)	学校出願時		学費支援		【学力出】本学に筆記試験(学校推薦型選抜…一般入試)300点満点(面接100点) 【資格】指定校推薦生(成績優秀者)の卒業生(留し、成績が優秀な者) 【大学入学】本学に入学した学生(留し、成績が優秀な者) 【奨学金】奨学金(月給10万円)を年間授業料から50万円減額	給付奨学金 免除・減免	入学料と授業料全額免除または半額免除 在学中の海外研修・留学費用(20万円まで) 給付奨学金(月額最大4万円)長期留学の場合に限る オンライン委員会委員費用全額免除(1年間) 入学後2025年度毎年度毎年度の奨励金(3回まで)	原則卒業まで4年間(1年間未成奨学金あり)	設けない	地域の制限なし	入試センター	併用可	条件有り併用可	
	スクラッシュプログラム制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		学校推薦型選抜入試「一般選抜入試」において、8割得点を目標とし、入学料と授業料を全額免除(留し、成績が優秀な者)とする場合がある。※1年ごとに審査がある。主たる学費支援者の所得が年間400万円以下の者。学業・人物について出身学校長の推薦を受けた者。	免除・減免	入学料(200,000円)と授業料全額免除または半額免除。	原則卒業まで4年間(1年間未成奨学金あり)	設けない	地域の制限なし	入試センター	併用可	条件有り併用可	
	Be the One特別給付奨学金	その他	2年生以上の月	学費支援		2年生以上の全学部 申込した者	給付奨学金	学費のうち授業料相当額	1年間(複数年度にわたる申込を認む)	各学年・学科1名	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	条件有り併用可	
	資格取得者優遇者制度	学校出願時		入学金・授業料減免		入学時 全学年 本学指定の資格を取得していること ※下記のとおりいずれかの資格 <簿記> 全簿記2級以上、日商簿記3級以上 <英語> 英検2級以上、全商英検2級以上、TOEIC400点以上、TOEFL PBT450以上 BT45以上 <漢字> 漢字検定2級以上 <情報> 基本情報技術者試験、ITパスポート、全商情報処理検定2級以上(ビジネス情報/プログラミング)、全工情報技術検定2級以上	免除・減免	20万円	入学手続時	人数なし	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可	
ファミリー優遇制度	学校出願時		入学金・授業料減免		入試時…全学部 志願者の親、兄弟・姉妹が「羽衣学園短期大学」「羽衣国際大学」の卒業生または在校生	免除・減免	入学金20万円	入学手続時	制限なし	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可		
兄弟・姉妹優遇制度～兄弟・姉妹対象～	学校出願時		入学金・授業料減免		ファミリー優遇制度を申請した志願者が入学した時点で、志願者の兄弟・姉妹が「羽衣国際大学」の在学している場合、ファミリー優遇制度に加え、兄弟の授業料が減額される	免除・減免	前期100,000円、後期100,000円(合計年間 200,000円)	入学手続時	制限なし	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可		

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
千里金蘭大学	チャレンジAO・指定型スカラシップ(奨学金)	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	【奨学金】 実業学部・教育学部 【全体の学習成績(評定平均値)の条件】 43〜入学金全額(25万円)免除及び授業料25万円免除 38〜42 入学金全額(25万円)免除 35〜37 入学金一部(15万円)免除		免除・減免	43〜入学金全額(25万円)免除及び授業料15万円免除 38〜42 入学金全額(25万円)免除 35〜37 入学金一部(15万円)免除	1年次のみ適用。	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可	
	実業学部 特待生奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	【奨学金】 実業学部 【奨学生資格】 総合型選抜(基礎学力型)(A日程・B日程)※または大学入共通テスト利用型選抜(1期)※2において実業学部を受験し、入学試験の合計得点率が90%を超え、かつ「化学基礎・化学」もしくは「生物基礎・生物」で高得点を取った者		免除・減免	授業料の半額(37.5万円を後期授業料より免除)	最長4年間継続可 (2年次以降の継続審査あり)	それぞれの入学において成績上位5名以内	地域の制限なし	アドミッションセンター	条件有りて併用可	条件有りて併用可	
	教育学部 特待生奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	【奨学金】 教育学部 【奨学生資格】 総合型選抜(基礎学力型)(A日程・B日程)※1または大学入共通テスト利用型選抜(1期)※2において教育学部を受験し、入学試験の合計得点率が90%を超え、かつ合計点(調査書を除く)で高得点を取った者 ※1 科目合計点(調査書の全体の学習成績の状況(評定平均値)を得意化した点数を除く) ※2 成績上位者		免除・減免	授業料の半額(37.5万円を後期授業料より免除)	最長4年間継続可 (2年次以降の継続審査あり)	それぞれの入学において成績上位10名以内	地域の制限なし	アドミッションセンター	条件有りて併用可	条件有りて併用可	
	入学試験成績優秀者奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者	【奨学金】 全学部 【奨学生資格】 一般選抜(前期)において、高得点(90%以上)を取った者のうち、学部別の成績上位者 ※実業学部・教育学部は科目別、看護学部は3科目別が対象。		免除・減免	初年度24万円	初年度のみ	実業学部5名程度 教育学部4名程度 看護学部10名程度	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	条件有りて併用可	
	遠隔地学生奨学金	入学後		学費支援	【奨学金】 全学部 【奨学生資格】 本学から自宅までの最短路線距離(電車・バス等)が70km以上離れた下郡市・マンション等居住者		給付奨学金	年間12万円(4年間) ※3年次編入は2年間	1年間(最大4年間)	該当者全員		地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可
	ファミリー奨学金	入学後		入学金・授業料減免 その他	入学料定額の減免	【奨学金】 全学部 【奨学生資格】 本学に在籍する1年次の者で、次に該当する者 金融庁主催の「学生で構成される同世代(学友会)会員の継続3戦年以内の者、又は本学在籍者の継続		給付奨学金	入学料定額に相当する金額(3万円※)及び入学金の1/2に相当する金額(12.5万円) ※大学入共通テスト利用型選抜受験者は1万円	初年度のみ	該当者全員	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可
	指定校編入奨学金	学校出願時		入学金・授業料減免	入学金・授業料減免	【奨学金】 指定校編入試験において合格した者		免除・減免	入学金15万円免除	初年度のみ	該当者全員	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可
	学業成績優秀者奨学金	在学中	2〜4年次	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	【奨学金】 次の者すべてに該当する者 ・本学に在籍する22年次以上の者 ・入学・入学試験の優れた者(2年次以降、毎年前年度の成績をもとに判定)		免除・減免	年間授業料の1/3が免除	各学年・各学年次の成績上位2名以内	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可	
	授業料減免制度	在学中	2年次以上	学費支援 入学金・授業料減免	学費支援 入学金・授業料減免	【奨学金】 次の者すべてに該当する者 ・本学に在籍する22年次以上の者 ・入学試験の成績が前年度に比べて顕著に上がったと思われる者 ・日本学生支援機構の奨学金奨励金を受けている者 ・卒業成績が各学科の成績優秀者となった者 ・指定校編入を受験している者 ・高等学校を卒業後、本学に入学するまでの期間が4年を超えているなど、進学するまでの期間に関する要件により修学支援制度への申請がなれない者		免除・減免	上記減免期間の授業料全額または半額または1/4相当額	1学年度 ただし、夏年度以降についても申請することができます	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可	
関西医療大学	特待生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	○1年次 特待生の入学定員の10%を上廻りして一律100万円支給 公費推薦期での選考は科目別成績、一般前期での選考は科目別受験者の成績上位者から行う。 当該選抜分まで合格し、入学手続きを進めている者が特待生採用を希望する場合は、公費推薦期または一般前期の入学試験を受験することで選考に加える。 (スカラーシップ制) 1年次特待生の採用は、得点率(10%以上)ならびに高等学校の調査書(全体の学習成績がB3以上、欠科目数20以内)による条件を満たしている必要がある。 ○2〜4年次 前年度の一年間の成績状況等により選考。 学生納付金から40万円の減免を行う。 保健看護学部各学科は各学年5名、保健看護学部は各学年5名。		給付奨学金	○1年次 一律100万円支給 ○2〜4年次 学生納付金から40万円減免	1年間	○1年次 各学科の入学定員の10%以上 ○2〜4年次 保健看護学部各学科は各学年5名、保健看護学部は各学年5名	地域の制限なし	入試・広報部(受験生)・学生支援課(在学)	併用可	併用可	
	大阪女学院大学	特別給付奨学金A	入学手続き時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	新入生 一般選抜、大学入共通テスト利用、特別給付奨学金受給資格試験の成績の得点取得率が80%以上 ・英語1総合またはTOEIC L&R 910点以上 ・TOEFL iBT 150点以上 ・IELTS 7.0以上 ・TOEFL iBT 150点以上 ・韓国語能力試験8級合格 在学学生 毎年度末に単位取得状況および成績を確認し、課程により次年度継続を決定する。		免除・減免	年額40万円を2回に分けて学費減免により支給(一前期40万円、二前期40万円)	原則4年間支給、休学期間は支給しない。	制限なし	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用不可
特別給付奨学金B	入学手続き時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	新入生 一般選抜、大学入共通テスト利用、特別給付奨学金受給資格試験の成績の得点取得率が70%以上 ・英語1総合またはTOEIC L&R 875点以上 ・TOEFL iBT 100点以上 ・IELTS 6.5以上 ・TOEFL iBT 88点以上 ・韓国語能力試験8級合格 在学学生 毎年度末に単位取得状況および成績を確認し、課程により次年度継続を決定する。		給付奨学金	年額40万円を2回に分けて学費減免により支給(一前期20万円、二前期20万円)	原則4年間支給、休学期間は支給しない。	制限なし	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可	
大阪女学院大学(同短期大学)奨学金	在学中	毎年6月頃	入学金・授業料減免	入学金・授業料減免	修学の熱意がありながら、経済的困難度の高い方。 大阪女学院大学(同短期大学)奨学金およびグループ・ライヴァー・シオン奨学金(学校法人大阪女学院の奨学金)との併給不可。		給付奨学金	45万円を二期分学費減免により支給	1年間	2名まで	地域の制限なし	教務・学生課	併用不可	併用可	
大阪女学院大学(同短期大学)奨学金	在学中	毎年6月頃	学費支援	学費支援	修学の熱意がありながら、経済的困難度の高い方に無利息で貸与。 大阪女学院(同短期大学)奨学金およびグループ・ライヴァー・シオン奨学金(学校法人大阪女学院の奨学金)との併給不可。 卒業(編入)半年後から返還開始。		貸与奨学金	45万円を二期分学費減免により貸与	1年間	18名まで	地域の制限なし	教務・学生課	併用不可	併用可	
自宅外通学学生支援奨学金	在学中	学期末試験時期(2回)	学費支援 入学金・授業料減免	学費支援 入学金・授業料減免	全学年対象。 主たる生計維持者の所得が給付対象者は841万円以下、給付対象以外の場合は355万円以下である者のうち、自宅が遠方の為、自宅を離れて生活し下宿代を負担せざるべし。		免除・減免	一学期につき12万円を学費減免により支給	半年間(毎期要申請)	制限なし	地域の制限なし	教務・学生課	併用不可	併用可	
学業奨励学費減免奨学金	在学中	申請ではなく成績優秀者を学校側で決定	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	大学3年生は、大学2年次までの成績が上位10位の者 大学4年生は、大学3年次までの成績が上位10位の者 ・1年生からの全学年必修科目すべて取得していること ・期日までにTOEIC800点以上を取得していること ・複数の単位を免除していること ・特別給付奨学金を受給していないこと		免除・減免	上位2名は40万円 上位2名に続く4名は20万円 上位4名に続く6名は10万円を二期分学費減免により支給	1年間	1年生10名 4年生10名	地域の制限なし	教務・学生課	併用可	併用可	
姉妹団体が学費減免奨学金	入学後		学費支援	学費支援	全学年対象。 同一生計内で二親等以内の姉妹等が同時に2人以上在学する場合、学期ごとに申請をした者について、上級学年に在学する者を必要とせず、下級学年に在学する者を支給対象とする。		免除・減免	一学期につき7万円を学費減免により支給(毎期要申請)	半年間	制限なし	地域の制限なし	教務・学生課	併用可	併用可	
特別給付奨学金C	入学手続き時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	新入生 ・公費推薦型選抜総合得点取得率 70%以上 ・一般選抜総合得点取得率 80%以上 ・特別給付奨学金受給資格試験の成績の得点取得率が60%以上 ・実用英語技能検定2級合格または2級一次試験合格 ・韓国語能力試験8級または3級合格 在学学生 毎年度末に単位取得状況および成績を確認し、課程により次年度継続を決定する。		給付奨学金	年額20万円を2回に分けて学費減免により支給(一前期10万円、二前期10万円)	原則4年間支給、休学期間は支給しない。	制限なし	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可	
藍野大学	特待生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者	【対象者】 一般選抜入試(前期日程・中期日程)、大学入共通テスト利用入試(前期日程・中期日程)を受験し、出願時に申請したものの【試験科目】 対入試入試の試験科目による。 ※一般選抜入試(前期日程)については、2科目方式で判定を行います(科目方式を受験した場合は2科目方式必須科目を含んだ高得点2科目での判定を行います) ※大学入共通テスト利用入試については、個別の選考試験はありません。		給付奨学金	成績に劣り以下のA、B、Cを入学後に返金します。 A: 250,000円(入学費相当額および初年度授業料の半額相当額の合計) B: 175,000円(初年度授業料の半額相当額) C: 250,000円(入学費相当額)	入学後に2回	若干名 ※成績によっては該当者無しとなる場合もあります。	地域の制限なし	入試広報グループ	併用可	併用可	
	家族入学金返還制度	学校出願時		入学金・授業料減免	【対象者】 すべてが入試区分で前期、受給地域、もしくは受験者が以下のいずれかに該当する者 ・学校法人藍野大学が設置する各学校の在学(在学) ・藍野大学の卒業生(短期大学、専門学校等の卒業生は対象外)		給付奨学金	入学後、入学金相当額250,000円を返金します。	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	入試広報グループ	併用可	併用可	
	自宅外通学者奨学金給付制度	学校出願時		学費支援	学費支援 ・必要性選抜型選抜入試※ ・シニヤクカ入試※ ・指定校編入入試※ ・公費推薦型入試(A日程・B日程) ・一般選抜入試(前期日程・後期日程) ・大学入共通テスト利用入試(前期日程・中期日程・後期日程)		給付奨学金	月額50,000円 ※給付にあたっては半学期に審査があり、給付を取り止された場合は、奨学金の全額又は一部の返還を求めることがあります。	入学後、4年間給付します(長期、返還不要)。	若干名 ※成績によっては該当者無しとなる場合もあります。	地域の制限なし	入試広報グループ	併用可	併用可	
	授業料減免制度	随時		入学金・授業料減免	入学金・授業料減免	【制度該当者】 次の1〜③のすべてに該当する者 (1)入学当初より自宅外通学が必要であること。 (2)奨学金を受給する者が生活保護受給者である場合、本学との距離が自費として公共交通機関で50分を要する以上であること。 (3)入学後に居住する住所と本学との距離が自費として50分を要する以上であること。 (4)入学後に居住する住所の環境が学業に悪影響を及ぼすこと。 (5)給付期間中に、進学の意味が失われていることが明らかであること。 (6)入学が可能な場合に、入学することを断念すること。 ※入学後、住居異の写し等の一人住まいの証明書を提出していただきます。		免除・減免	1回当たり各学期の授業料の半額相当分を減免。	2回を限度とする。	人数制限なし	地域の制限なし	学生支援グループ	併用可	併用可
	学業成績優秀者生徒給付奨学金	その他	5月末日までに学員が奨学生候補者を選出し、理事員に推薦する。	特待生・成績優秀者	特待生・成績優秀者	【対象者】 2年生以上の学生であり、最終修業年限を超えて在籍する者を含まない。 選考は、前年度までの学業成績により行う。 一般選抜入試における各学科の成績優秀者上位10%以内の者		給付奨学金	15万円	当年度限り	約15名	地域の制限なし	法人事務総務センター一般課グループ	併用可	併用可
	入試試験成績優秀者給付奨学金	入学後		入学金・授業料減免	入学金・授業料減免	一般選抜入試(前期日程)において、入学試験の成績が上位10%以内の者		給付奨学金	1年次前期授業料の半額相当	1年次1回のみ	一般選抜A日程で、各学科の合格者上位10%のうち入試した者	地域の制限なし	入試課、学生支援センター	併用可	併用可
塩川学修奨励金	在学中	連続時	特待生・成績優秀者	特待生・成績優秀者	各学科・各学年2年生〜4年生、入籍し、前年度の学業成績が上位4%以内の者		給付奨学金	10万円	毎年4月	各学科、各学年の在籍者の4%	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
同窓生家族入学金支援制度	入学後		学費支援	学費支援	親又は兄弟姉妹が大阪府(大阪府)・大阪府(大阪府)の卒業生又は在籍学生である入学生		給付奨学金	入学金の半額相当(15,000円)	入学時の1回	人数制限なし	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
教育委員会奨励補助給付金	その他		学費支援	学費支援	人物・成績とも優秀で在学中に学業支援者の死亡により家計が急変し、学費の給出が困難になった者		給付奨学金	30万円	該当者発生時	人数制限なし	地域の制限なし	総務部	併用可	併用可	
最優秀学生奨励金	在学中		特待生・成績優秀者	特待生・成績優秀者	各学科、各学年2年次〜4年次の進級時に、前年度の成績が最も優秀であった者に20万円支給する。		給付奨学金	20万円	進級時の4月	各学科・各学年で1名ずつ	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
家計急変時給付制度	随時		学費支援	学費支援	成績優秀かつ学修への意欲が高いと思われる者が生活に困難し、学びの継続が難しいと判断された場合に規程に基づき給付する。		給付奨学金	前期または後期授業料の半額相当	1回限り	各学科年2名	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
大阪河崎ハビリテーション大学	特待生選抜(新入生対象)	学校出願時		特待生・成績優秀者	特待生・成績優秀者	特待生選抜の合格者のうち、次の①〜③の成績で入学手続き完了した者 ①総合得点率90%以上の者 ②総合得点率85%以上の者 ③総合得点率70%以上の者		免除・減免	①授業料4年分免除 ②初年度授業料1年分を免除 ③初年度授業料1年分の1/2を免除	1年次(1年次)のみ	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッション・オフィス	併用可	併用可
	特待生(在学対象)	在学中	2年生・3年生・4年生	特待生・成績優秀者	特待生・成績優秀者	学業成績が優秀で、他の領域となる学生		給付奨学金	40万円を給付(1年単位)	1年間	各学年3名程度	地域の制限なし	アドミッション・オフィス	併用可	併用可
	経済支援特待生奨学金制度(全学年対象)	在学中	1年生〜4年生	学費支援	学費支援	学業等が優秀でありながら、経済的理由により経済困難な学生		給付奨学金	20万円を給付	1年間	10名程度	地域の制限なし	アドミッション・オフィス	併用可	併用可

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否
神戸学院大学	神戸学院大学支給奨学金	在学中	1~4(6)年生	学費支援	経済的理由により留学困難と認められる者 日本人学生支援機構や地方自治体などの貸付奨学金が月額4万円以上であること 日本人学生支援機構第二種奨学金の学力基準を満たしており、卒業見込みがある者 神戸学院大学の定める英語検定(英検)合格者または英検2級以上の者 当該年度の定期健康診断、もしくは英検の健康診断を受診していること	年齢 360,000円	給付奨学金	360,000円	支給期間は当該年度限り	100名程度	地域の制限なし	学生支援センター 学生支援グループ(KAC)	併用不可	併用不可
	神戸学院大学返給付奨学金	在学中	1~3年生	課外活動支援制度	同会長が指定する団体等、神戸学院大学の運営を高め、かつ課外活動の向上発展に寄与した学生であり、規程に定める条件に該当する者	給付奨学金	年齢 360,000円(要する可能性あり)	支給期間は当該年度限り	若干名	地域の制限なし	学生支援センター 学生支援グループ	併用可	併用可	
	神戸学院大学同窓会奨学金	在学中	1~4(6)年生	振込者資金支援	対象地域※の自然災害等、不測の事態による経済的理由により留学困難な者 ※対象地域は、内閣府のホームページに記載されている災害発生適用地域に準ずる	給付奨学金	歳末給付 300,000円	同一の災害につき1回限り	若干名	地域の制限なし	学生支援センター 学生支援グループ(KAC)	併用可	併用可	
	神戸学院大学 交換・派遣留学奨学金	在学中	1~4(6)年生	留学費用支援制度	①第1種交換留学奨学金 TOEFL iBT 6 以上/IELTS 5.5 以上または韓国語能力試験3級以上/ハンブル能力検定3級以上または中国語検定3級以上/HSK4級以上のいずれかを有し、学業成績の平均点が2.0以上の者。 ②第2種交換留学奨学金 TOEFL iBT 52 点以上/IELTS 5.0 以上または韓国語能力試験3級以上/ハンブル能力検定4級以上または中国語検定4級以上のいずれかを有し、学業成績の平均点が2.0以上の者。 ③第1種派遣留学奨学金 TOEFL iBT 110 点以上/IELTS 5.5 以上または韓国語能力試験3級以上/ハンブル能力検定3級以上または中国語検定3級以上/HSK4級以上のいずれかを有し、学業成績の平均点が2.0以上の者。 ④第2種派遣留学奨学金 TOEFL iBT 52 点以上/IELTS 5.0 以上または韓国語能力試験3級以上/ハンブル能力検定4級以上または中国語検定4級以上のいずれかを有し、学業成績の平均点が2.0以上の者。 ⑤第3種派遣留学奨学金 TOEFL iBT 45 点以上/IELTS 4.0 以上/TOEIC 500 点以上/実用英語検定準2級以上のいずれかを有し、学業成績の平均点が2.0以上の者。	留学奨学金	交換留学1種:年齢60万(留学期間1学期の場合30万) 交換留学2種:年齢30万(留学期間1学期の場合15万) 派遣留学1種:派遣先大学の授業料相当額+40万(留学期間1学期の場合30万) 派遣留学2種:派遣先大学の授業料相当額+30万(留学期間1学期の場合15万) 派遣留学3種:派遣先大学の授業料相当額	1学期または半年間	若干名	地域の制限なし	国際交流センター 国際交流支援グループ	条件有り併用可	条件有り併用可	
	大学主催短期海外研修参加費補助金	在学中	1~4(6)年生	留学費用支援制度	大学の学部学生であり、参加については、審議・審議委員を経て決定する。	給付奨学金	A地域(欧州・北米・オセアニア地域を中心とし、B地域対象外の地域)国:3万円 B地域 (ASEANおよびアジア諸国):1.5万円	研修期間	若干名	地域の制限なし	国際交流センター 国際交流支援グループ	併用可	併用可	
	特待生来米サポート制度	入学手続時		特待生・成績優秀者	一般選抜入試(前期日程・中期日程)において、大学が認めた一定以上の優秀な成績で合格し、入学を許可された者	免除・減免	入学年度の学費	支給期間は当該年度限り	200名	地域の制限なし	入学・高大接続センター入学・高大接続グループ	併用可	併用可	
	神戸学院大学奨励金	在学中	2~4(6)年生	特待生・成績優秀者	2年次生以上の学部学生で、入学人物がともに優秀で、各学部より第一次候補者として選出された者	給付奨学金	法学部:200,000円 経済学部:270,000円 経営学部:270,000円 人文学部・心理学部:学費相当額の3分の1(1万円未満切捨て) 現代社会学部:学費相当額の4分の1(程度(1万円未満切捨て)) 総合リハビリテーション学部・栄養学部:学費相当額の3分の1~4分の1程度(1万円未満切捨て) 薬学部:学費相当額の6分の1程度(1万円未満切捨て)	支給期間は当該年度限り	法学部:各学年13名以内 経済学部・経営学部:各学年7名以内 人文学部:各学年6名以内 心理学部:各学年4名以内 現代社会学部:現代社会学科 各学年3名程度、社会福祉学科 各学年2名程度 総合リハビリテーション学部:理学療法科(理学療法専攻) 各学年2名程度、作業療法科(作業療法専攻) 各学年2名程度、社会リハビリテーション学 各学年2名以内 栄養学部:栄養学科(管理栄養専攻)各学年3名以内、栄養学科(臨床検査学専攻)各学年2名以内 薬学部:各学年12名程度	地域の制限なし	学生支援センター 学生支援グループ(KAC)	併用可	併用可	
	漢口奨励金<学部・課外活動等分野>	在学中	2~4(6)年生	特待生・成績優秀者 課外活動支援制度	2年次生以上の学部学生で、学術分野、課外活動等分野(文化・スポーツ・社会活動)で高い評価を受けた者	給付奨学金	①最優秀奨励賞:700,000円 ②優秀奨励賞:500,000円 ③奨励賞:300,000円	支給期間は当該年度限り	①最優秀奨励賞:若干名 ②優秀奨励賞:若干名 ③奨励賞:若干名	地域の制限なし	学生支援センター 学生支援グループ(KAC)	併用可	併用可	
	漢口特別奨励金	その他	在学期間中のほか、入学試験出願の1か月前迄、又は入学手続後。	研究費支援 課外活動支援制度	① 各学期が予定されているオリンピックの競技種目において、オリンピック、世界選手権等国際的レベルの競技大会への出場経験、若しくはそれに相当する高い競技力を示し、競技と学業を両立しようとする強い意思を持つ者。 ② 学術・研究・文化・社会活動分野において国際的に高い評価を受け、それらの活動と学業を両立させようとする強い意思を持つ者。	給付奨学金	①特別奨励金A:当該年度の学費相当額。ただし、休学期間中休学中に在籍科担当。②特別奨励金B:当該年度の学費相当額の2分の1。ただし、休学期間中休学中に在籍科担当の2分の1。	支給期間は当該年度限り	若干名	地域の制限なし	学生支援センター 学生支援グループ(KAC)	併用可	併用可	
	漢口奨励金<学業分野>	在学中	4年次生(漢学部は6年次生)	特待生・成績優秀者	4年次生(漢学部は6年次生)の学部学生で、学業と人物がともに優秀で、各学部より第一次候補者として選出された者	給付奨学金	400,000円	支給期間は当該年度限り	各学部1名(合計10名)	地域の制限なし	学生支援センター 学生支援グループ(KAC)	併用可	併用可	
	神戸学院大学 学習奨励金	在学中	1~4(6)年生	振込者資金支援	対象地域※の自然災害等、不測の事態による経済的理由により留学困難な者 ※対象地域は、内閣府のホームページに記載されている災害発生適用地域に準ずる	給付奨学金	100,000円から半額学費相当額	同一の災害につき1回限り	若干名	地域の制限なし	学生支援センター 学生支援グループ(KAC)	併用可	併用可	
	神戸学院大学私費外国人留学期間奨学金	在学中	学部生1~4(6)年次生 大学院生1~2(3)年次生	用途を定めない経済的支援	学部・大学院に在学する私費外国人留学期間で、経済的理由により留学困難と認められる者で、他の奨学金を受給していない者	給付奨学金	年齢360,000円	1年間	若干名	地域の制限なし	国際交流センター 国際交流支援グループ	併用不可	併用不可	
	神戸学院大学 大学院支給奨学金	在学中	1~2(3)年次生	研究費支援 学費支援	学費(授業料および施設設備維持費)の返済に支援のある者	給付奨学金	各研究科の学費(授業料及び施設設備維持費)の2分の1	支給期間は当該年度限り	5名程度	地域の制限なし	学生支援センター 学生支援グループ(KAC)	併用不可	併用可	
	神戸学院大学 大学院特別奨学金	在学中	修士課程1~2年次生 博士後期課程1~3年次生 博士課程1~4年次生	研究費支援 学費支援	研究に専念する者、学業、人物ともに優秀であり、大学院各研究科長の推薦した者	給付奨学金	研究科により年間 180,000円または年間 220,000円	支給期間は当該年度限り	原則、研究科課程ごとの取存定員の2分の1	若干名	地域の制限なし	学生支援センター 学生支援グループ(KAC)	併用可	併用可
	神戸学院大学 私費外国人留学期間奨学金一部免除	在学中	学部生1~4(6)年次生 大学院生1~2(3)年次生	入学費・授業料免除	神戸学院大学の学部・大学院に在学する私費外国人留学期間で学業の継続と向上を目指し、経済的理由により留学困難と認められる者。	免除・減免	学費の30%	当該年度限り	若干名	地域の制限なし	国際交流センター 国際交流支援グループ	併用可	併用可	
学費延長制度	在学中	学部生1~4(6)年次生 大学院生1~2(3)年次生	その他	学費納入期限延長制度	学費を納入期限までに納入することが困難な学生に対し、納入期限を延長する制度。 ただし、前期・後期とそれぞれ申請が必要である。 ※学費納入(自主廃止)については、前期期に一括納入する必要がある。 ※納入金は前期の学費延長が認められておらず、後期以降の取り扱いは異なる。	その他	学費相当額を限度	半学期	人数制なし	地域の制限なし	学生支援センター 学生支援グループ(KAC)	併用不可	併用可	
神戸芸術工科大学	在学生対象特待生	その他	入学後(学内推薦のため学生からの申し込みはできない)	特待生・成績優秀者	2年~4年次生対象 2年次から4年次の在学期間で前年度の成績(作品を含む)から優秀者を選考	給付奨学金	年齢25万円5,000円	1年間	前年度の学料・学生の在学学生数で設定された人数	地域の制限なし	教務課	併用不可	併用不可	
神戸国際大学	神戸国際大学奨学金	在学中	全年生	学費支援	1.前年度成績準第1位取得、2.GPA2.2以上、3.留学期間が基準以下	給付奨学金	月額30,000円	1年	12名	地域の制限なし	学生支援センター	併用不可	併用不可	
経済学部Aの入試(1期)学費減免型入学者対象入学金減免・授業料減免奨学金制度	その他	申請不要	入学費・授業料減免	入学費・授業料減免	【対象学年】1年~4年 【対象学部】経済学部 【対象者】Aの入試1期(学費減免型)に合格した者。 【免除対象科目】 ①標準取得単位を充足していること。 ②GPA2.8以上であること。 ③学生会主催のイベントなど大学行事へ積極的に参加すること。	免除・減免	入学費50%減免、授業料50%減免	最長4年間	合格者全員	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用不可	
特待生制度(リハビリテーション学部)対象入学金減免・授業料減免奨学金制度	その他	申請不要	特待生・成績優秀者 入学費・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学費・授業料減免	【対象学年】1年~4年 【対象学部】リハビリテーション学部 【対象者】一般入試(前期)もしくは大学入学共通テスト利用入試(前期)(中期)(後期)のいずれかに合格し、特待生として選抜された者。 【免除対象科目】 ①標準取得単位を充足していること。 ②GPA2.8以上であること。 ③学業終了後に必要の必修科目および選択科目を取得していること。	免除・減免	入学費50%減免、授業料50%減免	最長4年間	若干名	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用不可	
経済学部グローバル特別入試入学者対象入学金減免・授業料減免制度	その他	申請不要	入学費・授業料減免	入学費・授業料減免	【対象学年】1年~4年 【対象学部】経済学部 【対象者】グローバル特別入試に合格した者。 【免除対象科目】 ①必修科目を毎年すべて取得していること。 ②標準取得単位を充足していること。 ③170名未満取組、定めた基準に達していること。 2年連続時:600点以上、3年連続時:680点以上、4年連続時:750点以上	免除・減免	入学費50%減免、授業料50%減免	最長4年間	合格者全員	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用不可	
特待生制度(経済学部)対象入学金減免・授業料減免奨学金制度	その他	申請不要	特待生・成績優秀者 入学費・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学費・授業料減免	【対象学年】1年~4年 【対象学部】経済学部 【対象者】一般入試(前期)もしくは大学入学共通テスト利用入試(前期)(中期)(後期)のいずれかに合格し、特待生として選抜された者。 【免除対象科目】 ①標準取得単位を充足していること。 ②GPA2.8以上であること。	免除・減免	入学費50%減免、授業料50%減免	最長4年間	若干名	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用不可	
資格調査検定料補助金制度	在学中	全年生	資格取得支援制度	資格取得支援制度	1.各種検定に合格した場合、検定料半額補助	給付奨学金	検定料の50%(上限40,000円)を補助金として支給	地域の制限なし	キャリアセンター					
「特別奨励」受講生に対する受講費負担制度<1>	在学中	全年生	資格取得支援制度	資格取得支援制度	1.受講生に合格 2.成績が一定以上(無選別)・無欠席で講義終了まで最後まで取り履くこと	給付奨学金	受講料(テキスト代、採択参考書を含む)全額	地域の制限なし	キャリアセンター					
受講生に対する受講費負担制度<2>	在学中	全年生	資格取得支援制度	資格取得支援制度	TOEIC450スタートアップ講座受講者のうち、「スコア450点達成」または「満年でスコアが100点以上UPした者」は、受講料全額補助	給付奨学金	自己負担額全額	地域の制限なし	キャリアセンター					
海外交換留学(派遣)奨学金	在学中	全年生	留学費用支援制度	留学費用支援制度	対象学年:2~4年次 学部:経済学部 資格:本学で実施される交換留学選考試験において選抜された者 条件:1. 外国の海外留学(帰国後奨学金受給者でない)者 2. 交換留学試験を受験し、本学の交換留学として選抜された者	給付奨学金	指定された留学期間の間(帰国および滞留) -地域:月額1万円 -円地域:月額1万円 各地域の区分は海外旅行費(日本人学生支援機構の海外留学支援制度(協定派遣・協定入国)地域コード表)にない以上金額を支給する。	指定された留学期間の間(帰国および滞留)	年度により異なる(5名程度/年度)	地域の制限なし	学生支援センター-国際関係科担当	併用不可	併用不可	
授業料減免	在学中	1年生~4年生	振込者資金支援	振込者資金支援	原則として授業費生時	免除・減免	各期納付額の変額もしくは半額	1年		地域の制限なし	学生支援センター			
経済学部連続特待生	在学中	年度末	特待生・成績優秀者	特待生・成績優秀者	経済学部(1学期以上在学した3人まで)に該当する者で特待生選抜試験において1位であった者を特待生として選抜し、授業料を減免する。また、特待生選抜試験において位であった者も特待生として選抜し、授業料を減免する。 ① KR特別クラス経済ゼミ受講生(以下、経済学部特別クラス)。②1年次生で、1年次にGPAが2.6以上の者 ③ 経済学部特別クラス以外の1~4年次生で、GPAが2.8以上の者	免除・減免	特待生減免額:授業料の50% 特待生減免額:授業料の30%		毎年1名(最大2名)	地域の制限なし	教務センター	併用可	併用不可	
経済学部KUI英語特別クラス奨励補助	在学中	2,3年生の4~5月頃	特待生・成績優秀者 留学費用支援制度	特待生・成績優秀者 留学費用支援制度	KUI英語特別クラスに所属し、前期、TOEICスコアが最高点である2年生1名と3年生以上1名の最優秀者 条件: 1. 交換留学あるいはゼミスター留学で派遣が決定した者、または海外研修B-C-Dのいずれかに履修登録した者 2. 前年度に取得したTOEICスコアが470点以上であること(申請時に証明できる者) 3. 本奨励補助を受けたことがない者	給付奨学金	留学研修費用 20万円	1回限り	年間最優秀2名。	地域の制限なし	教務センター	併用可	条件有り併用可	
海外研修補助金	学校出願時		留学費用支援制度	留学費用支援制度	①科目:海外研修A・海外語学研修A 対象学年:1~4年生 対象学部:経済学部及びリハビリテーション学部 資格:対象学部の本科学生で長期研修(グループ型)に参加する者。 条件:履修登録をすること ・必要書類を期前までに学生支援センター(国際交流)まで提出すること ②科目:海外研修A-B 対象学年:1~4年生 対象学部:経済学部 資格:対象学部の本科学生でフリンピック・英語研修に参加する者。 条件:履修登録をすること ・必要書類を期前までに学生支援センター(国際交流)まで提出すること ③科目:海外研修B、C、D 対象学年:1~4年生 対象学部:経済学部 資格:対象学部の本科学生で短期英語研修(個人型)に参加する者。 条件:履修登録をすること ・必要書類を期前までに学生支援センター(国際交流)まで提出すること ・審査を通過した者	給付奨学金	①海外研修A・海外語学研修A研修費:---70,000円/人 ②海外研修A-B研修費:---50,000円/人 ③海外研修B-C研修費:---60,000円/人×履修科目数	①1回限り ②1回限り ③各科目1回限り	年間50名程度	地域の制限なし	学生支援センター-国際関係科担当	併用可	併用可	
ゼミスター留学派遣生授業料免除	学校出願時		学費支援 留学費用支援制度	学費支援 留学費用支援制度	学部:経済学部 対象者:留学を希望するゼミスター留学で本学指定の協定大学に派遣が決定した者(2~4年生) 期 間:留学をする当該学期のみ	免除・減免	留学する該当年度の授業料全額		年間5名程度	地域の制限なし	学生支援センター-国際関係科担当	併用可	併用可	
海外留学による休学(2回)授業料免除	学校出願時		学費支援 留学費用支援制度	学費支援 留学費用支援制度	資格:(1)事前に定まる、海外留学による休学を許可されていること。 (2)休学期間の総延長が協定校が、本学が指定する標準取得単位数を上回っていないこと。 (3)当該学期が復学を前提としたものであること。	免除・減免	授業料の1/5		年間若干名	地域の制限なし	学生支援センター-国際関係科担当	併用可	併用可	

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
神戸学院大学	神戸学院大学入学試験成績優秀者給付奨学金	その他	学内推薦のため学生からの申し込みはできない	特待生・成績優秀者	国際学部・文学部・心理学部・人間科学部 学校推薦型選抜(公募制)A日程または一般選抜前期A日程の選考において優秀な成績を得た入学者 音楽学部 学校推薦型選抜(公募制)A日程または一般選抜前期A日程の選考において優秀な成績を得た入学者	給付奨学金	入学金及び授業料の半額相当額		標準修業年限(4年)	国際学部3名、文学部2名、音楽学部2名、心理学部2名、人間科学部2名	地域の制限なし	入学センター・広報室	併用可	併用可	
	神戸学院大学一般給付奨学金	在学中	1年生～4年生	学費支援	両学心に富む学生で、寄附支援者が、失業・病後・病氣・死没、または火災・風水害などにより学費急変が生じ、緊急に奨学金が必要となった者。	貸付奨学金	国際学部・文学部・心理学部・人間科学部70万円または40万円 音楽学部の20万円または30万円	1年間	若干名		地域の制限なし	学生生活支援センター	併用可	併用可	
	神戸学院大学KOH推薦入学選考特待生給付奨学金	その他	学内推薦のため学生からの申し込みはできない	特待生・成績優秀者	KOH推薦入学選考に合格し入学する者で、神戸学院高等学校での成績・人物が特に優秀であつて神戸学院中高等学校のKOH特待生奨学金受給権継承者となった者	給付奨学金	授業料相当額		標準修業年限(4年)	3名	地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可	
	神戸学院一般給付奨学金	在学中	1年生～4年生	学費支援	学内札し(在学外の奨学金を受給しており、奨学金の経済的事情)により学費の納入が困難な人物・学内札しに優秀な学生	給付奨学金	授業料の3分の1または2分の1相当額 ※特に必要と認められた場合は授業料相当額(音楽学部生は授業料の2分の2相当額)		申請のあった学期末までの半年間または1年間	2名	地域の制限なし	学生生活支援センター	併用可	併用可	
	神戸学院大学HAS給付奨学金	その他	学内推薦のため学生からの申し込みはできない	学費支援	日本学生支援機構第一種奨学金を受与されている、または高等教員の修学支援新制度の対象者として認定されている学生で、それらをもつても学費の納が困難な学生	給付奨学金	授業料相当額		申請のあった学期より標準修業年限(4年)年度末まで	若干名	地域の制限なし	学生生活支援センター	併用可	併用可	
	国際姉妹特別奨学金	在学中	1年生～4年生	学費支援	音楽学部で経済的困難度が高く、学力・人物ともに顕著と認められる者	給付奨学金	30万円		1年間	2名	地域の制限なし	音楽学部事務室	併用可	併用可	
	森本誠子記念奨学金	在学中	1年生～4年生	学費支援	音楽学部音楽科器楽専攻の学ガク生を主専攻とする在学生中で、学力・人物ともに顕著と認められる者	給付奨学金	授業料の半額相当額		1年間	2名	地域の制限なし	音楽学部事務室	併用可	併用可	
	特別奨学金	その他	学内推薦のため学生からの申し込みはできない	学費支援	日本基督教団の教会に在籍する独身の子女である学生	給付奨学金	授業料の3分の1相当額		標準修業年限(4年)	1名	地域の制限なし	チャペル室	併用可	併用可	
	神戸学院大学災害救助法適用地域出身者授業料免除制度	その他	学内推薦のため学生からの申し込みはできない	被災者資金支援	災害救助法適用地域に地域で被災した被災者で、本市の一般選抜前期A日程または前期B日程の選考において優秀な成績を得た入学者。 但し、本制度を申請する長は神戸学院大学が定めるものとします。	免除・減免	授業料相当額		標準修業年限(4年)	同一年度入学者の内5名以内	地域の制限なし	入学センター・広報室	併用可	併用可	
	神戸学院大学授業料減免	在学中	1年生～4年生	被災者資金支援	震災により被災し、学費支援者が死亡、または家庭の全壊・半壊(修理不可能で取り壊すもの)・焼失などにより生活基盤を失い、学業の継続が困難となった学生	免除・減免	授業料の全額若しくは半額		標準修業年限(4年)	人数制なし	地域の制限なし	学生生活支援センター	併用可	併用可	
	神戸学院大学大給付奨学金	在学中	2年生～4年生	学費支援	前年度の成績が優秀かつ経済的に困難度の高い本年度以上の学生で、他に給付(給付)奨学金の給付を受けていない者。	給付奨学金	年額36万円		1年間	30名	地域の制限なし	学生生活支援センター	併用不可	併用不可	
	めぐみ会 卒業支援奨学金	在学中	1年生～4年生	学費支援	突発的な家計の事情により進学等を余念なくされるおそれある者	給付奨学金	該当者が当該年度において必要としている学納金額(上限100万円 同一人に対し1回)		同一人に対し1回限り	若干名	地域の制限なし	学生生活支援センター	併用可	併用可	
	めぐみ会 修学支援奨学金	在学中	2年生	学費支援	経済的支援を必要としている2年生で、優秀な学業成績を挙げている者	給付奨学金	月額4万円		2年生～4年生までの間	2名(1学年1名)	地域の制限なし	学生生活支援センター	併用可	併用可	
	めぐみ会 海外留学奨学金	在学中	2年生～4年生	留学費用支援制度	本市の認定留学制度を利用して海外留学をする者	給付奨学金	月額3万円		1年間	2名	地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用可	
	神戸女子大学	神女優秀者応援奨学金優秀者表彰型	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者	2年生～4年生 全学生の勉めとなる学業優秀かつ品行方正な者	給付奨学金	10万円		当該年度前期	10名程度	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有り併用可
神女優秀者応援奨学金奨学生応援型		在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者 課外活動支援制度	学業の勉めとなる学業優秀かつ品行方正な者 課外活動奨学金等を受給する者のうち、学業及び学生生活で優秀な成果を上げるとともに人物として優れた者であり、かつ経済支援を要する者	給付奨学金	30万円または50万円		当該年度後期	20名程度	地域の制限なし	学生課	併用不可	条件有り併用可	
神女経済支援奨学金家計急変型		在学中	1年生～4年生の前期または後期	入学・授業料減免	1年～4年生の修業年限で卒業見込みの者 ・在学中に主たる生計維持者の家計急変(失業、死等)により、学業継続が困難になった者 ・家計急変が本人や学生支援機構奨学金(奨学金)の給付(家計急変費)により学費を必要とする者、または申請予定の者	給付奨学金			・給付が決定した年度内 ・在学中1回限り	人数制なし	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有り併用可	
神女経済支援奨学金災害支援型		在学中	1年生～4年生の前期または後期	被災者資金支援	1年～4年生の修業年限で卒業見込みの者 ・在学中に生計維持者又は学生本人が災害等の被災者となった者 ・被災証明書等により半額以上の被害が認定されている者、またはそれに準ずることが確認できる者	給付奨学金									
神戸女子大学教育後援会育英奨学金		在学中	前期:2回生以上、後期:全学年	学費支援	在学中に学費支弁に不都合が生じ、学費の支弁が難しく困難になり、修学の妨害があるにもかかわらず、学業の継続を奨励する。 ※奨学金が対象 ※保証人が教育後援会委員であること ※最終修業年限で卒業が可能となること ※日本学生支援機構の奨学金受給者でないこと(奨学金を受給している場合はこの限りでない) ※採用は在学中に1回のみ	給付奨学金	20万円		前期は6月、後期は11月	10名	地域の制限なし	教育後援会事務局	併用不可	条件有り併用可	
神戸女子大学教育後援会育英奨学金		在学中	全学年	被災者資金支援	在学中に被災者およびその配偶者、または学生が災害により、経済的被害を受けた場合に応じた支援を行う。 ※奨学金が対象 ※保証人が教育後援会委員であること ※被災証明書等により半額以上の被害が認定されていること ※入学前の発生には適用不可 ※教育後援会育英奨学金との併用不可	給付奨学金	5万円～10万円 被害の程度により程度により支給額を決定		在学中随時 但し、同一年度の同一の災害では1回限り	人数制なし	地域の制限なし	教育後援会事務局	併用可	条件有り併用可	
神戸女子大学同窓会育英奨学金		在学中	4回生	学費支援	卒業した同窓会員が在学中に在籍していること ※4回生に在籍していること ※卒業の見込みが充分にあると判断できること ※経済的理由により修学困難となった者であること ※神女経済支援奨学金との併用不可	給付奨学金	4回生後期授業料、教育・施設充実費相当額		4回生後期	若干名	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有り併用可	
神戸松蔭女子学院大学	夢・未来サポート特待生制度「夢サポ100」	入学手続時		特待生・成績優秀者	対象: 全学部 条件: 一般選抜前期A日程ならびに共通テスト前期日程合格者のうち成績順位1～10位(入試得点率85%以上)	免除・減免	最大4年間の授業料の全額				地域の制限なし	学生部 学生課	併用可	条件有り併用可	
	夢・未来サポート特待生制度「夢サポ50」	入学手続時		特待生・成績優秀者	対象: 全学部 条件: 学校推薦型選抜前期A日程合格者のうち成績順位1～20位(課外活動・専攻加点率5%以上)かつ、または一般選抜前期A日程ならびに共通テスト前期日程合格者のうち成績順位1～20位(入試得点率70%以上)	免除・減免	最大4年間の授業料の50%				地域の制限なし	学生部 学生課	併用可	条件有り併用可	
	夢サポチャレンジ制度	学校出願時		特待生・成績優秀者	対象: 年次合格者 総合型選抜(AO入試)、学校推薦型選抜(指定校)、学校推薦型選抜前期AB・後期日程の合格者 条件: 一般選抜前期A日程と同日実施の「夢サポチャレンジ特待生資格試験」を無料を受験し、成績上位者となった者	免除・減免	4年間の授業料全額無料または半額免除				地域の制限なし	学生部 学生課	併用可	条件有り併用可	
	新型コロナウイルス感染症対策奨学金	学校出願時		入学金・授業料減免	対象: 年次合格者 総合型選抜(AO入試) 入学者 学校推薦型選抜前期A日程・後期日程専断入学者 学校推薦型選抜指定校入試の入学者	免除・減免	1年額30万円 2学費相当額を限度		1)1年間 2)1回限り	人数制なし	地域の制限なし	入試部 入試・広報課	併用可	条件有り併用可	
	指定校特待生制度	学校出願時		入学金・授業料減免	対象: 年次合格者 総合型選抜(AO入試)、学校推薦型選抜(指定校)、学校推薦型選抜前期AB・後期日程の合格者 条件: 一般選抜前期A日程と同日実施の「夢サポチャレンジ特待生資格試験」を無料を受験し、成績上位者となった者	免除・減免	全員入学金全額免除		1)1年間 2)1回限り	人数制なし	地域の制限なし	入試部 入試・広報課	併用可	条件有り併用可	
	セメスター留学奨学金(英語)	在学中	1年生～2年生	特待生・成績優秀者 留学費用支援制度	海外の協定大学にセメスター留学する学生対象の奨学金 英語学科生のみ	給付奨学金	年間授業料の2分の1相当額 条件を満たす成績上位者には20万円を追加給付		当該学年度 半年間限り	所定の規程を満たす者全員	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有り併用可	
	セメスター留学奨学金(中国語)	在学中		留学費用支援制度	中国の協定大学にセメスター留学する学生対象の奨学金(英語学科生のみ)	給付奨学金	条件を満たす成績上位者には20万円を給付 ただしセメスター留学に参加して20万円追加給付を受けた者はこの対象外ならない。		当該学年度 半年間限り	所定の規程を満たす者全員	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有り併用可	
	長期留学奨学金	在学中	2年次	特待生・成績優秀者 留学費用支援制度	海外の協定大学に長期(1年間)留学する者で 本学での学力・人物ともに優秀な学生	給付奨学金	1)協定大学の1年間の授業料相当額 2)本学の1年間の授業料の半額もしくは1/4相当額 3)本学の半期の授業料の1/2に相当する額		当該年度 1年間限り	所定の規程を満たしている者 特に人数の定めなし	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有り併用可	
	1年留学奨学金	在学中	2年生～3年生	特待生・成績優秀者 留学費用支援制度	英語学科生のみ	給付奨学金	2年生年間授業料の1/2相当額、 3年生年間授業料の1/2相当額に加え、 帰国後に30万円を給付する。 (ただし、所定の規程を満たしている者)		1)1年間 2)1回限り	人数制なし	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有り併用可	
	松蔭ファミリー入学金優遇制度	学校出願時		入学金・授業料減免	3親等以内の親族が本学院を卒業した場合、または本学院に在学中である場合	給付奨学金	入学金の1/2相当額		当該年度 1年間限り	人数の定めなし	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有り併用可	
	姉妹奨学金	入学後		入学金・授業料減免	姉妹等が本学に同時に在学している場合、 後から入学した学生(同一学部)	給付奨学金	年間校納金(諸費費)・実習費を除く1/2相当額		姉妹等が同時に在籍している期間	人数の定めなし	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有り併用可	
	社会人特別入学生奨学金	入学手続時		入学金・授業料減免	社会人特別入学生(既婚者、未婚者、専業主婦を含む)の各層で 優秀な成績があり、学業の奨励を必要とする学生	給付奨学金	年間校納金(授業料等)で諸費費を除く1/2相当額		1・2年次の2年間(編入学生は編入年度の1年間) 前年度の成績が上位25%以内であれば、申請可、ただし1年間のみ	人数の定めなし	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用不可	
	社会人特別編入学生奨学金	入学手続時		入学金・授業料減免	社会人特別編入学生制度の入学生 (編入年度4月1日現在満3歳以上の者)	給付奨学金	年間校納金(諸費費)・実習費を除く1/2相当額		3・4年次の2年間	人数の定めなし	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用不可	
	在学助費奨学金	在学中		学費支援	家計事情の急変等の経済的理由により修学困難となった学生 2～3年次は前年度に、4～5年次は前年度に在学する者で専業主婦を含む者 は学生支援機構奨学金、出外教育ローン等に申請し、 不採用になった者	貸付奨学金	2～3年次は年間校納金(諸費費)・実習費を除く相当額 4年次は後期校納金(諸費費)・実習費を除く相当額		当該年度 後期限り	若干名	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可	
	千と鶴給付奨学金	在学中		学費支援	「千と鶴給付奨学金種別」に定められた条件を満たした場合 4年次後期のみ給付	給付奨学金	後期校納金(諸費費)・実習費を除く相当額		当該年度 後期限り	若干名	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可	
セメスター留学奨学金(韓国語)	在学中		特待生・成績優秀者 留学費用支援制度	韓国の協定大学にセメスター留学する学生対象の奨学金(英語学科生のみ)	給付奨学金	年間授業料の5分の1相当額 条件を満たす成績上位者には年間授業料の2分の1相当額		当該学年度 半年間限り	所定の規程を満たす者全員	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有り併用可		
高大連携協定校奨学金	学校出願時		入学金・授業料減免	高大連携協定校から本学推薦型選抜した入学者 対象とする入試は、学校推薦型選抜、一般選抜、入学共通テスト利用入試	免除・減免	全員入学金全額免除		1)1年間 2)1回限り	人数制なし	地域の制限なし	入試部 入試・広報課	併用可	条件有り併用可		
学長賞	在学中	卒業年次生	特待生・成績優秀者	学業・課外活動において抜群の成績を挙げた者	給付奨学金	10万円		当該年度	若干名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可		
課外活動優秀賞	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者	課外活動において抜群の成績を挙げた学生(個人・団体)	給付奨学金	10万円		当該年度	若干名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可		
教育後援会学業表彰正課活動表彰	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者	1年間の正課活動(学業成績)において優秀な成績を挙げた学生	給付奨学金	10万円		当該年度	各学科・各年次1名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可		
教育後援会学業表彰正課外活動表彰	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者	1年間の課外活動(学業成績以外)において優秀な成績を挙げた学生または団体	給付奨学金	1回あたり1回10万円		当該年度	最大12件	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可		
推薦優秀サポート優秀者奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免 課外活動支援制度	正課の試験科目(主として入学試験)において、優秀な成績をおさめた者 (学二課、ソフトウエア課、卓球部、なぎなた部)を含む	免除・減免	額面1万円 (S)入学金および入学後4年間の年間校納金の全額相当額 (A)入学金および1・2年次の年間校納金の全額相当額 (B)入学金および1年次の年間校納金の全額相当額 (C)入学金および1年次の年間校納金の半額相当額 (D)入学金相当額			人数制なし	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有り併用可		
神戸親和大学	授業料免除	入学後		特待生・成績優秀者 用途を定めた経済的支援	在学年の学生が対象 経済的理由などにより就学困難な者で学業・人物ともに優秀な者	給付奨学金	1)授業料相当額(但し1年次生は半額)		1)1年間	1)年間6程度	地域の制限なし	奨学金担当	併用不可	条件有り併用可	

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否
	地域指定奨励生制度	入学手続時		入学金・授業料減免		対象学年: 1～6年次 対象学部: 薬学部 資格: 次の各号のいずれかに該当する者 ①兵庫県内の高等学校から現役で入学した者。 ②入学日の1年以上前から引続き兵庫県内に住所を有する現役で入学した者。 ③主たる養育費が入学日の1年以上前から引続き兵庫県内に住所を有する現役で入学した者。 条件: 2年次以降は、進級する事が継続条件となる。最大6年間の授業料の一部が減免されます。	免除・減免	1年次: 授業料相当額の1/2 減免・免除 2～6年次: 授業料相当額の1/4 減免・免除	最長修業年限	入学時決定者のみ	兵庫県	入試センター	併用可	併用可
	獨協医科大学連携奨励生制度	入学手続時		入学金・授業料減免		対象学年: 1～4年次(薬学部6年次まで) 対象学部: 医療保健学部、薬学部 資格: 次の各号のいずれかに該当する者 ①県内内の高等学校から現役で入学した者。 ②入学日の1年以上前から引続き県内内に住所を有する現役で入学した者。 ③主たる養育費が入学日の1年以上前から引続き県内内に住所を有する現役で入学した者。 条件: 3年次以降は、前年度の学内成績結果により審査を行います。最大4年間または6年間の授業料(一部)が免除されます。	免除・減免	1～2年次: 授業料相当額の1/2 免除 3～6年次: 授業料相当額の1/2 免除(学業成績が特に優秀な者) 授業料相当額の1/4 免除(学業成績が優秀な者)	最長修業年限	若干名	栃木県	入試センター	併用可	併用可
	遠隔地予約奨学生制度	学校出願時		学費支援		対象学年: 1～4年次(薬学部6年次まで) 対象学部: 全学部(人間社会学部、医療保健学部、薬学部、看護学部) 資格: 下記①②の条件を満たす者 ①親族等が申請時に対象地域に住所を有し入学後も引き続き対象地域に居住する者。 ②学業に優れ経済的理由により進学が困難であると認められる者。 条件: 対象地域: 北海道、沖縄県 ※2年次以降は継続審査を行うことがあります。	給付奨学金	年間40万円	最長修業年限	入学時決定者	沖縄県	入試センター	併用可	併用可
	奨励会	入学手続時		学費支援		対象学年: 入学期 対象学部: 人間社会学部 資格: 成績優秀なスポーツ特別選抜入学予定者 条件: 入学後も該当クラブ活動を継続する意思のある者で、合格した場合必ず本学に入学することを誓約できる者(専断者)	免除・減免	20万円	入学時のみ	35名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	姫路医科大学奨励会	その他	大学独自で選考	特待生・成績優秀者 学費支援		対象学年: 2～4年次(薬学部6年次まで) 対象学部: 全学部(人間社会学部、医療保健学部、薬学部、看護学部) 資格: 学業成績が極めて優秀な者	給付奨学金	授業料相当額	1年間	14名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	学業支援奨励会	在学中	1～4年次(薬学部6年次まで)	学費支援		対象学年: 1～4年次(薬学部6年次まで) 対象学部: 全学部(人間社会学部、医療保健学部、薬学部、看護学部) 資格: 経済的理由により学業に支援を求めている者	給付奨学金	月額3万円	1年間	30名以内	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可
	特別学業支援奨励会	在学中	1～4年次(薬学部6年次まで)	学費支援		対象学年: 1～4年次(薬学部6年次まで) 対象学部: 全学部(人間社会学部、医療保健学部、薬学部、看護学部) 資格: 学業成績に優れ、経済的理由により学業に支援を求めている者	給付奨学金	月額5万円	1年間	30名以内	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可
	緊急支援奨励会	随時		学費支援		対象学年: 1～4年次(薬学部6年次まで) 対象学部: 全学部(人間社会学部、医療保健学部、薬学部、看護学部) 資格: 家計の急変で、経済的理由により、学業に支援を求めている者	給付奨学金	授業料相当額 (半額または全額)	1年間	若干名	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可
	海外留学奨励会	在学中	2～4年次	留学費用支援制度		対象学年: 2～4年次 対象学部: 人間社会学部 資格: <派遣留学> 本学が協定を締結している海外の大学へ派遣留学する学生で、学業成績が優秀な者 <交換留学> 本学が協定を締結している海外の大学へ交換留学する学生で、学業成績が優秀な者	給付奨学金	<派遣留学> 月額 4万円 <交換留学> 月額 5万円	1年間(留学期間中)	5名以内	地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用不可
	海外語学研修奨励会	在学中	1～2年次	留学費用支援制度		対象学年: 1～2年次 対象学部: 人間社会学部 資格: 異文化理解研修に参加する者	その他	上記は研修費用控除および航空賃半分	10～14日間	若干名	地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用可
	特別学修奨励会	随時		資格取得支援制度		対象学年: 1～4年次(薬学部6年次) 対象学部: 人間社会学部 資格: 資格取得を目指し一定の基準に達した者	その他	1資格あたり9万円まで	在学期間中	若干名	地域の制限なし	キャリアセンター	併用可	併用可
	関西看護学会奨励会	在学中	2年次	特待生・成績優秀者 学費支援		対象学年: 2年次 対象学部: 全学部(人間社会学部、医療保健学部、薬学部、看護学部) 資格: 学業、人物が共に優秀であり、かつ経済的理由のため修学が困難であると認められた者	貸付奨学金	月額5万円(無利息)	最長修業年限	1～2名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用不可
	姫路医科大学外国人留学生奨励会	在学中	2～4年次(薬学部6年次まで)	学費支援		対象学年: 2～4年次(薬学部6年次まで) 対象学部: 人間社会学部、医療保健学部(理学療法、作業療法、言語聴覚療法)、薬学部 資格: 優秀な資質を有する者で、経済的理由により学業に支援を求めている者	給付奨学金	月額5万円	1年間	若干名	地域の制限なし	国際交流センター	併用不可	併用不可
	ファミリー制度	入学手続時		その他	親族制度	対象学年: 1年次 対象学部: 全学部(人間社会学部、医療保健学部、薬学部、看護学部) 資格: 2親等以内の親族が本学を卒業、修了または在学している人学者。	給付奨学金	20万円	入学時のみ	申請者全員	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可
	シニア割引制度	入学手続時		学費支援		対象学年: 1～4年次(薬学部6年次まで) 対象学部: 全学部(人間社会学部、医療保健学部、薬学部、看護学部) 資格: 生涯にわたり学び、学習活動を続けようとする学生(入学時満60歳に達している者)。	免除・減免	授業料相当額の半額	最長修業年限	若干名	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用不可
	HOUチャレンジ特待生	学校出願時		学費支援		対象学年: 人間社会学部1～4年次、医療保健学部・薬学部・看護学部1～2年次 対象学部: 全学部(人間社会学部、医療保健学部、薬学部、看護学部) 資格: 高等学校での資格・検定に係る学習を評価し、本学の定める資格・検定等(HOUチャレンジ入試)出願時までに取得した者を申請時点でHOUチャレンジ特待生対象として受験したとき、各特待時点でHOUチャレンジ特待生として受験します。 また、2年次以降のHOUチャレンジ特待生認定継続について人間社会学部において大学の定める各年次の資格・検定等を取得し、必要単位数をクリアした場合、人間社会学部の規定に照らして、自身の努力によりHOUチャレンジ特待生継続認定を受けることが可能となります。 医療保健学部・薬学部・看護学部においては各特待時点で、1年次・2年次のHOUチャレンジ特待生認定を継続いたします。 条件: 誕生した場合はHOUチャレンジ特待生の対象から外れます。	免除・減免	授業料相当額の1/2	最長修業年限	対象者全員	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可
	獨協高等学校・獨協埼玉高等学校奨励生制度	入学手続時		入学金・授業料減免		対象学年: 1～4年次(薬学部6年次まで) 対象学部: 医療保健学部、薬学部、看護学部 資格: 獨協高等学校又は獨協埼玉高等学校から現役で入学した者で、本学の基準を満たしている者 条件: 3年次以降は、前年度の学内成績結果により審査を行います。 最大4年間または6年間の授業料(一部)が免除されます。	免除・減免	1～2年次: 授業料相当額の1/2 免除 3～6年次: 授業料相当額の1/2 免除(学業成績が特に優秀な者) 授業料相当額の1/4 免除(学業成績が優秀な者)	最長修業年限	若干名	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可
	特待生3種	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		対象学年: 1～4年次(薬学部6年次まで) 対象学部: 医療保健学部、薬学部、看護学部 資格: 対象となる入試区分において、得点率90%以上の成績を収めた者。 条件: 2年次以降は、前年度の学内成績により継続審査を行います。	免除・減免	1年次: 授業料全額免除 2～4年次: 各学部(医療保健学部・薬学部・看護学部)により金額が異なる。	最長修業年限	入学時決定者のみ	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用不可
	指定校特待生	入学手続時		入学金・授業料減免		対象学年: 1～4年次(薬学部6年次まで) 対象学部: 全学部(人間社会学部、医療保健学部、薬学部、看護学部) 資格: HOUチャレンジ特待生 条件: 指定校推薦対象者	免除・減免	各学部により金額は異なる	最長修業年限	対象者全員	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用不可

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
兵庫医科大学	兵庫医科大学特待生制度	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		一般選抜4科目型の成績上位者5名(※ただし、兵庫医科大学兵庫県看護入学期間に選ばれた場合は本制度の対象外)	免除・減免	入学時 入学時手続時制付金のうち奨励費(100万円)、施設設備費(45万円)、教育充実費(100万円)相当を各給付。	入学時	5名	地域の制限なし	大学事務部入試課	併用可	併用可	
	兵庫医科大学特定診療科医師養成奨励制度	学校出願時		学費支援		・医師不足が顕著な兵庫医科大学病院内の診療科(指定診療科)を志望する学生。 ・一般選抜4科目型出願時に所定の書類を提出。 ・一般選抜4科目型の成績上位、および専攻科の成績上位の者から選抜。 ・貸与言語試験として、別途面接試験を実施。	貸与奨学金 免除・減免	・年額285万円貸与。	6年間	3名(2023年度) 【外科】(消化器外科、乳腺・内分泌外科、呼吸器外科)1名、【小児科】(産科婦人科)1名、【腫瘍科・皮膚科】1名、【救急科】1名	地域の制限なし	大学事務部入試課	条件有りて併用可	条件有りて併用可	
	兵庫医科大学奨学金	在学中	随時対応(ただし、2年生以上)	学費支援		・高学年2年生以上で、申請年度に正課に連続し、前年度の成績が上位1/2以内の学生。 ・災害時等の不測の事態が発生した場合は、上記の条件に限らず都合に応じ。	貸与奨学金	・上限285万円貸与。(次年度以降も必要な場合は額面対応)	1年間	5名以内	地域の制限なし	大学事務部学生支援課	併用可	併用可	
	兵庫医科大学研究コース奨学金	在学中	研究コースへの新規集約時に併せて行う。	学費支援		・研究コースに所属する3年生以上の医学部学生。(ただし、1学年4名まで) ・通常の成績、出席率より成績を優先して選抜。 ・以下の1～3に該当し、引き続き9学期本学で研究スタッフとして研究業務に従事したとき、返還免除する。 1.本学卒業後に引き続き本学大学院で研究スタッフに就任し、在学期間に学位(医学)取得と卒業(大学院修了)したとき。 2.本学卒業後に前期臨床研修医に採用された場合において、卒業から3年以内に本学大学院医学研究科に入学し、在学期間に学位(医学博士)を取得(大学院修了)したとき。 3.本学卒業後に前期臨床研修医として研修期間を終了した後、引き続き後期臨床研修医に採用された場合において、卒業から6年以内に本学大学院医学研究科に入学し、在学期間に学位(医学博士)を取得(大学院修了)したとき。	貸与奨学金	年額100万円	最大4年間	1学年4名まで	地域の制限なし	大学事務部西宮数学課	併用可	併用可	
	兵庫医科大学後援会学費等奨励	在学中	随時対応(全学年受付可)	学費支援		・発病に際する委員の死亡または長期療養、その他特別な事情が発生した場合。	貸与奨学金	・学費については上限300万円。 ・学費を複数学期生費については上限100万円。 ※それぞれ年度度以降も更新が可能。	1年間(更新可)	対象者全員	地域の制限なし	大学事務部庶務課	併用可	併用可	
	兵庫医科大学新入生支援奨学金制度(2022年度以降入学生対象)	その他		特待生・成績優秀者 学費支援		【学費】 ・新入生 【条件】 ・一般選抜前期日程(3科目)の成績上位者	免除・減免	・医学部医歯薬学料→160万円 ・看護学部看護学料→165万円 ・リハビリテーション学部理学療法学料→155万円 ・リハビリテーション学部作業療法学料→155万円	11年間	・医学部医歯薬学料→8位以内 看護学部看護学料→8位以内 リハビリテーション学部理学療法学料→2位以内 リハビリテーション学部作業療法学料→2位以内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	兵庫医科大学在学生支援奨学金制度(2022年度以降入学生対象)	在学中		学費支援 入学金・授業料減免		【学部・学年】 ・医学部2～4年次 ・看護学部及びリハビリテーション学部2～4年次 【条件】 ・(経済状況)申請者の所属する世帯の合計収入が、910万円未満であること ・(学業成績)GPA2.5以上 ・(その他)以下のいずれかの活動に参加 ・ボランティア活動 ・ピアサポート ・学生会・大学行事実行委員会・部会の執行部として活動	免除・減免	・20万円(1年間)	11年間(毎年申請可能)	・医学部医歯薬学料→各学年5名以内 看護学部看護学料→各学年4名以内 リハビリテーション学部理学療法学料→各学年2名以内 リハビリテーション学部作業療法学料→各学年2名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	兵庫医科大学病院奨学金(2022年度以降入学生対象)	在学中		学費支援		【学部・学年】 ・医学部、6年次 ・看護学部、4年次 【条件】 ・卒業後、兵庫医科大学病院において、医学部は薬剤師、看護学部は看護師または助産師の業務に従事する意思のある学生	貸与奨学金	・50万円(1年間) ※大学卒業後1年以内に薬剤師・看護師・助産師国家試験に合格し、兵庫医科大学病院において薬剤師・看護師・助産師の業務に一定期間に従事すると併用免除となります。但し、就業期間により免除額は変動します。	1年間(修学期間内)	・医学部、6年次(修学期間内) 看護学部、4年次(修学期間内) ※1年毎に審査を行います。	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	兵庫医科大学さきやま医療センター奨学金(2022年度以降入学生対象)	在学中		学費支援		【学部・学年】 ・看護学部全学年 【条件】 ・看護学部2～4年次 ・看護学部2～4年次 ・看護学部2～4年次 ・看護学部2～4年次	貸与奨学金	・50万円(1年間)	11年間(修学期間内)	・最大4年間(修学期間内) ※1年毎に審査を行います。	各学年5名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	兵庫医科大学さきやま医療センター奨学金(2022年度以降入学生対象)	在学中		学費支援		看護学部2～4年次 看護学部2～4年次 看護学部2～4年次 看護学部2～4年次	貸与奨学金	・50万円(1年間)	11年間(修学期間内)	・最大4年間(修学期間内) ※1年毎に審査を行います。	各学年5名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
兵庫大	優秀学生表彰制度	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者 課外活動支援制度		1.学業活動において、特に優秀な成績を認め、他の学生の模範となる者。 2.課外活動において、顕著な功績の立派な者。入学した者。 3.社会活動において、特に顕著な成績、成果を収め、社会的に高い評価を受けた者。	給付奨学金	50,000円	1回	40名程度	地域の制限なし	教育学部学生支援課	併用可	併用可	
	河野教育振興基金奨学金	在学中		特待生・成績優秀者 学費支援		兵庫大・兵庫大短期大学部に在学する学生。 心身障害とも兼ねていることも拘らず、経済的理由により入学が困難な者。 優秀学生表彰制度を除く学内の他の給付奨学金を受けていない者。	給付奨学金	100,000円	1回	若干名	地域の制限なし	教育学部学生支援課	併用可	条件有りて併用可	
	兵庫大文学部奨学金A	在学中		特待生・成績優秀者 学費支援		兵庫大文学部代ビジネス学部・健康科学部・教育学部・看護学部・生活福祉学部部に在学する学生。 学か・人物が特に優れ、かつ経済的理由により入学が困難である者。 優秀学生表彰制度を除く学内の他の給付奨学金を受けていない者。	給付奨学金	100,000円	1回	若干名	地域の制限なし	教育学部学生支援課	併用可	条件有りて併用可	
	兵庫大文学部奨学金B	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者 学費支援		兵庫大文学部代ビジネス学部・健康科学部・教育学部・看護学部・生活福祉学部部に在学する学生。 学か・人物が特に優れ、かつ経済的理由により入学が困難である者。 優秀学生表彰制度を除く学内の他の給付奨学金を受けていない者。 教育ローンなどの学費資金の借入に係る年間学費分相当(年額100,000円以内)	給付奨学金	教育ローンなどの学費資金の借入に係る年間学費分相当(年額100,000円以内)	1回	若干名	地域の制限なし	教育学部学生支援課	併用可	条件有りて併用可	
	兵庫大文学部奨学金C	在学中		特待生・成績優秀者 学費支援		兵庫大文学部代ビジネス学部・健康科学部・教育学部・看護学部・生活福祉学部部に在学する学生。 学か・人物が特に優れ、かつ経済的理由により入学が困難である者。 優秀学生表彰制度を除く学内の他の給付奨学金を受けていない者。	給付奨学金	100,000円	1回	若干名	地域の制限なし	教育学部学生支援課	併用可	条件有りて併用可	
	兵庫大文学部奨学金D	在学中		特待生・成績優秀者 学費支援		兵庫大文学部代ビジネス学部・健康科学部・教育学部・看護学部・生活福祉学部部に在学する学生。 学か・人物が特に優れ、かつ経済的理由により入学が困難である者。 優秀学生表彰制度を除く学内の他の給付奨学金を受けていない者。	給付奨学金	100,000円	1回	若干名	地域の制限なし	教育学部学生支援課	併用可	条件有りて併用可	
	ファミリ制度	学校出願時		入学金・授業料減免		専願制の入試において、本学関係者(兵庫大、兵庫大短期大学の卒業生または在学生)の3親等以内の者が合格した場合、入学金を免除します(出願時の申請が必要です)。	免除・減免	入学金200,000円/回免除			地域の制限なし	入試課			
	専願制入試合格者特典	学校出願時		入学金・授業料減免		専願制入試(年内実施分)で合格した者	免除・減免	入学金の半額(100,000円)免除				地域の制限なし	入試課	併用可	併用可
	スポーツ・吹奏楽入試	学校出願時		入学金・授業料減免		【資格】 下記の事項のすべてに該当し、かつ本学を専願とする者。 【対象者】 女子軟式部、女子バレーボール部、硬式野球部(男子)、硬式野球部(男子)、ウェイトリフティング部 (1)高等学校若しくは中等教育学校を2023年3月以降に卒業した者及び2024年3月卒業見込の者で、本学が指定する競技種目の長(高等学校等の顧問等)の推薦を受けた者。 (2)高等学校若しくは中等教育学校において本学が指定する競技種目に所属し、入学後も本学とクラブ活動を両立させたい意志のある者。	免除・減免	入学金全額(200,000円)の免除				地域の制限なし	入試課		
	福祉人材育成入試一般社団法人の目出度福祉グループ推薦	学校出願時		学費支援		【資格】 下記のいずれかに該当し、かつ本学を専願とする者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を2017年3月以降に卒業した者及び2022年3月卒業見込の者 (2)(1)と同等の資格があると本学が認めた者 【条件】 下記のすべてを満たす者 (1)高等学校の履修書における学習成績の状況が3.0以上の者 (2)一般社団法人の目出度福祉グループからの推薦を受け、かつ卒業後は同連携法人での勤務を希望する者	貸与奨学金	年額600,000円(4年間で2,400,000円) ※卒業後、同連携法人に就職し、継続して勤務した場合、1年経過後に1年分の貸付金額が返還免除されます。			地域の制限なし	入試課			
	福祉人材育成入試一般社団法人の目出度福祉グループ推薦	学校出願時		学費支援		【資格】 下記のいずれかに該当し、かつ本学を専願とする者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を2017年3月以降に卒業した者及び2022年3月卒業見込の者 (2)(1)と同等の資格があると本学が認めた者 【条件】 下記のすべてを満たす者 (1)高等学校の履修書における学習成績の状況が3.0以上の者 (2)一般社団法人の目出度福祉グループからの推薦を受け、かつ卒業後は同連携法人での勤務を希望する者	貸与奨学金	入学金(初年度のみ) 授業料、教育充実費(年間1年次1,190,000円(2年次以降年間1,240,000円)、4年間総額5,110,000円)を、さらに、卒業後までにかかる教科書及び、その他教材費が別途貸与されます。 ※卒業後、同連携法人に就職し、継続して勤務した場合、1年経過後に1年分の貸付金額が返還免除されます。			地域の制限なし	入試課			
	福祉人材育成入試一般社団法人の目出度福祉グループ推薦	学校出願時		学費支援		【資格】 下記のいずれかに該当し、かつ本学を専願とする者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を2017年3月以降に卒業した者及び2022年3月卒業見込の者 (2)(1)と同等の資格があると本学が認めた者 【条件】 下記のすべてを満たす者 (1)高等学校の履修書における学習成績の状況が3.0以上の者 (2)一般社団法人の目出度福祉グループからの推薦を受け、かつ卒業後は同連携法人での勤務を希望する者	貸与奨学金	入学金(初年度のみ) 授業料、教育充実費(年間1年次1,190,000円(2年次以降年間1,240,000円)、4年間総額5,110,000円)を、さらに、卒業後までにかかる教科書及び、その他教材費が別途貸与されます。 ※卒業後、同連携法人に就職し、継続して勤務した場合、1年経過後に1年分の貸付金額が返還免除されます。			地域の制限なし	入試課			
	ASHリマアルビオン推薦制度	学校出願時		入学金・授業料減免		【資格】 下記のいずれかに該当し、かつ本学を専願とする者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を2017年3月以降に卒業した者及び2022年3月卒業見込の者 (2)(1)と同等の資格があると本学が認めた者 【条件】 本学を専願とする者で、ASHリマアルビオンに選考として所属し、同連携法人から推薦を受け、下記のすべてに該当する者 (1)本学に入試後、学業とサッカー活動と両立させたい意志のある者 (2)高等学校の履修書における学習成績の状況が各学部学科の定める基準値以上の者	免除・減免	入学金全額(200,000円)免除			地域の制限なし	入試課			
兵庫大健康科学部給付奨学金	在学中	2年生～3年生	特待生・成績優秀者 学費支援		以下の条件をすべて満たすもの (1)健康科学部の2年生、3年生に在籍し、学業状況が良好で、修学継続が見込まれる者。 (2)新年度で修得する年次の修得済科目で、健康科学部が定める履修要件を満たし、次年度への連続が見込まれる者で、原則、学習成績が一定の水準(健康科学部奨学金)に到達していること。 (3)経済的な支障が原因で、学業に一定の困難が生じているが、経済的な支援の対象となる資料を提出し、学業とサッカー活動と両立させたい意志のある者。 (4)本学の入試(推薦制入試等)において減免制度の適用を受けていない者。 (5)高等学校の学業支援奨励制による減免制度の適用を受けていない者。	給付奨学金	年額550,000円	1年間	30名程度	地域の制限なし	教育学部学生支援課	併用不可	併用可		

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
武庫川女子大学	武庫川学院奨学	在学中	全学年	学費支援 その他	学業達成奨励	・全学年対象（A）と(B)の2種類があります。 (A) 本学入学後、家計急変により授業料の納入が困難になったと認められる者で、学業継続の意思のある者。 (B) 授業料の納入が困難な中で、学業継続の意思のある者。 ※奨学金受給者は2人以上です。 *学力基準は、真積GPA2.0以上。	給付奨学金	(A) 各自の給付する授業料40%相当額(後期採用者は後期授業料の40%相当額) (B) 年額20万円	1学年履修り	2022年度採用者54名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	条件有り併用可	
	奨学成績奨励学費	在学中	4年生・5年生	学費支援 その他	学業達成奨励	・「奨学」4年生・5年生対象・「学業成績優秀」次年度への進級が見込まれる者・経済的に修学が困難と認められる者・進級が見込まれる者	貸与奨学金	・当該年度授業料相当額(1万円未満は切り捨て) ・10万円、100万円、40万円、40万円の中から希望額を選択	5年生・6年生の2か年、または1か年	年額10名程度	地域の制限なし	奨学部事務室	併用可	併用可	
	武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部教育後援奨学金	在学中	卒業学年	学費支援 その他	学業達成奨励	(1) 卒業学年に在籍する学生で、当年卒業に在学期間・修業単位などの卒業要件を満たし、卒業が見込まれる者 (2) 家計困難により当該授業料の納入が困難な者で、(1)・(2)の条件を満たされる者。就院決定で進級が見込まれる者、日本学生支援機構第一種奨学金基準内にある者	貸与奨学金	当該年度授業料の1/2・1/5相当額	1学年履修り	2022年度採用者6名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可	
	武庫川学院奨励会奨学	在学中	全学年	学費支援 その他	学業達成奨励	授業料の支弁が困難であり、学業後援・高行方正であると認められる者(家計急変事情を重視)、学力基準は、直近の履修科目の個人平均点75点程度	給付奨学金	年額20万円	1学年履修り	10名程度 (2022年度採用者3名)	地域の制限なし	福祉会事務室	条件有り併用可	条件有り併用可	
	江村特待生	在学中	2年生以上	特待生・成績優秀者		各学部学科から推薦を受けた学部優秀で、本学の学生として真にふさわしい者が対象となり、学方・人物の総合的判断により、選考委員会において決定されます。	給付奨学金	歳費金25万円	在学中1回履修り	2022年度39名 2023年度41名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可	
	大河原学院長賞	在学中	全学年	その他	褒賞	学友会公認団体に所属する個人及び団体。もしくは学内の団体に所属する個人で、体育活動又は文化活動において一定基準以上の成績を収めた。または、国際レベルの大会に出場したものに對し、賞状が与えられる。	給付奨学金	それぞれの成績に準じて賞状及び賞金が授与されます。	当該年度に1回 【対象の全ての職種のうち、最上位の職種に1つに対し賞状が授与されます。】	人数制なし	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可	
	学生部長賞	在学中	全学年	その他	褒賞	体育活動又は文化活動において、所定の成績を収めた学友会公認団体に所属する個人又は団体(大河原学院長賞の受賞者・受賞団体に除く)に対し、賞状が与えられます。	給付奨学金	それぞれの成績に準じて賞状及び賞金が授与されます。	当該年度1回 【対象の職種のうち、最上位の職種1つに対し賞状が授与されます。】	人数制なし	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可	
	武庫川学院創立80周年記念特別奨学	在学中	2年生以上	学費支援 その他	学業達成奨励	大学・短大2年生以上 ・入学時に(前年)学費免除に採用された大学・短大生で、専攻領域で劣りながら学業継続の意思のある者。 ・貸与奨学金受給者または推薦者。*学力基準は、真積GPAの2.5以上です。	給付奨学金	年額20万円	1学年履修りとする	2022年度23名採用 2023年度32名採用	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	条件有り併用可	
	武庫川学院教職員有志による特別給付奨学金	在学中	全学年	学費支援 その他	学業達成奨励	2023年度 出願対象 ・全学年対象 ・親近かつアイルズ感染症の感染拡大の影響で家計急変が生じ、後期授業料の納入が困難になったと認められる者で、学業継続の意思のある者 ・生計維持者の一方の昨年度所得(又は今年度所得見込)が過去2019年度以降と比較して減収している者	給付奨学金	各自の前付する後期授業料の40%相当額または10万円/30万円程度	1学年履修り	2022年度6名採用	地域の制限なし	学生部学生課	併用不可	併用可	
	入試成績優秀者対象奨学制度	入学手続時		特待生・成績優秀者 学費支援		一般選抜D(大学)入学共通テスト利用型における入試成績優異者。 次の項目すべて該当する者。 ・対象科目合格 ・対象科目の合否判定採用科目の合計得点率が90%以上かつ成績上位30%以内のもの ・当該科目に入学した者。 次の項目をすべて該当する者。 ・高等学校もしくは中等教育学校を2022年3月卒業、または2023年3月に卒業見込みの者 ・人物推薦等による推薦で入学した者。卒業後1学期間または専攻科1〜2年次の教授法指導員の推薦を受けた者。 ・本学における音楽学部楽楽学科での転学を強く希望し入学を志す者。	給付奨学金	年間授業料の半額(最大50万円)	1回(入学後)	2022年度入試成績優秀者対象 奨学金制度(採用者1名) 2023年度入試成績優秀者 奨学金制度(採用者1名)	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可	
	武庫川女子大学演劇奨学	学校出願時		学費支援 入学金・授業料減免		次の項目をすべて該当する者。 ・高等学校もしくは中等教育学校を2022年3月卒業、または2023年3月に卒業見込みの者 ・人物推薦等による推薦で入学した者。卒業後1学期間または専攻科1〜2年次の教授法指導員の推薦を受けた者。 ・本学における音楽学部楽楽学科での転学を強く希望し入学を志す者。	給付奨学金 免除・減免	学費全額給付もしくは学費半額給付。入学金は学費全額給付者は免除、学費半額給付者は半額免除される。	4年間と上限とする。	2022年度及び2023年度演劇奨学 学生入試採用者0名	地域の制限なし	音楽学部	併用可	併用可	
	新1年生を対象自宅外通学応援奨学	在学中	当該年度の入学試験で合格し、本学に入学した新1年生	その他		・当該年度の入学試験で合格し、本学に入学した新1年生対象。 ・日本学生支援機構の定める基準の過半数出身者で入学4月から自宅外から通学している者。 ・経済的理由により修学に困難が生じている者。 ・日本学生支援機構の第一種奨学金に入学年度の8月までに決定した者。ただし給付型奨学金受給者は除く。	給付奨学金	年額20万円	在学中1回履修り	人数制なし(条件を全て満たした申請者全員)	地域の制限なし	学生部学生課	併用不可	併用可	
	卒業生を対象奨学奨学金返還支援制度	在学中	卒業学年	特待生・成績優秀者 課外活動支援制度		・卒業学年において日本学生支援機構の第一種貸与奨学金受給者対象。ただし給付型奨学金受給者は除く。 ・当該年度に奨学の成績で卒業が見込まれる者。	給付奨学金	年額30万円を限度とする(日本学生支援機構の第一種貸与奨学金総額を超過しない金額とする)	1回履修り	卒業生等の学費滞り等に対して、出願者等の間で推薦のみに最上位(最上位が複数名の場合は当該年度)により上金を出金する)かつ、学科内偏差率が1/3以上する。2023年度採用11名	地域の制限なし	学生部学生課	併用不可	併用可	
	関西福祉大学	共通テスト学費免除特待生	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		対象学部学科: 社会福祉学部社会福祉学科、教育学部児童教育学科、教育学部保健教育学科、看護学部看護学科の全学部学科 内容: 大学入学共通テスト利用選抜前期「B科型」の受験率が70%以上の合格者は全員、学費全額免除 減免期間: 4年間(継続審査なし)	免除・減免	対象: 全学部学科 金額: 学費全額免除 期間: 4年間(継続審査なし)	期間: 4年間(継続審査なし)	人数制なし(対象者全員)	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可
入学時成績優秀特待生制度		学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		対象学部学科: 社会福祉学部社会福祉学科、教育学部児童教育学科、教育学部保健教育学科、看護学部看護学科の全学部学科 内容: 総合選抜10月期【特待生選考テスト型】および一般選抜前期(前期共通テストプラス含む)において、受験者上位1〜30位の合格者は授業料半額減免 減免期間: 最長4年間(2年次以降の継続は毎年審査あり)	免除・減免	対象: 全学部学科 金額: 授業料半額減免 期間: 最長4年間(2年次以降の継続は毎年審査あり)	期間: 最長4年間(2年次以降の継続は毎年審査あり)	最大60名	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可	
特色選抜「看護探究型」合格者の優遇		学校出願時		入学金・授業料減免		対象学部学科: 看護学部看護学科 内容: 特色選抜「看護探究型」の合格者は入学金全額(200,000円)免除	免除・減免	対象: 看護学部看護学科 金額: 入学金全額(200,000円)免除	入学手続時に免除	特色選抜「看護探究型」募集定員: 10名	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可	
社会福祉特別選抜合格者の優遇		学校出願時		入学金・授業料減免 資格取得支援制度		対象学部学科: 社会福祉学部社会福祉学科 内容: 社会福祉特別選抜の合格者は入学金免除	給付奨学金 免除・減免	対象: 社会福祉学部社会福祉学科 ①【福祉系科目目標修得選抜方式の合格者】入学金半額(100,000円)減免 ※さらに介護福祉士の資格取得者または介護職員初任者研修修了者(高校卒業までの取得)に限る)は 入学金半額相当額(100,000円)を入学後に給付 ②【福祉施設・団体等推薦方式の合格者】入学金全額(200,000円)免除 ③【校友推薦方式の合格者】入学金全額(200,000円)免除 ④【全方式共通の優遇】①②③のいずれかの優遇として本学で受講している資格講座(介護職員初任者研修、ガイドヘルパー養成研修を無料受講可)	給付奨学金 免除・減免	①②③の入学金減免は入学手続時 ④の資格取得者の入学金相当額給付は入学後	社会福祉特別選抜 募集定員: 10名 ④の優遇措置は在学中(4年)	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可
教育・保育者特別選抜合格者の優遇		学校出願時		入学金・授業料減免		対象学部学科: 教育学部児童教育学科 内容: 教育・保育者特別選抜の合格者は入学金全額(200,000円)免除	免除・減免	対象: 教育学部児童教育学科 金額: 入学金全額(200,000円)免除	入学手続時に免除	教育・保育者特別選抜 募集定員: 10名	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可	
スポーツ/吹奏楽特待生		学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		対象学部学科: 社会福祉学部社会福祉学科、教育学部児童教育学科、教育学部保健教育学科 内容: スポーツ/吹奏楽特待生選抜の合格者 特待生の選考はクラブで実施するセレクション等で決定	免除・減免	特待生種別と減免金額 特待生A: 入学金全額および学費全額免除 特待生B: 入学金全額および学費半額免除 特待生C: 入学金全額および学費1/4免除 特待生D: 入学金全額免除 特待生E: 入学金半額免除	4年間	スポーツ/吹奏楽特待生選抜 募集人員23名	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可	
学校推薦型選抜【内部校推薦】合格者の優遇		学校出願時		入学金・授業料減免		対象学部学科: 社会福祉学部社会福祉学科、教育学部児童教育学科、教育学部保健教育学科、看護学部看護学科の全学部学科 内容: ①学校推薦型選抜【内部校推薦】の合格者は入学金全額免除 ②学校推薦型選抜【高大連携校推薦】の合格者は入学金減免	免除・減免	①学校推薦型選抜【内部校推薦】の合格者は入学金全額免除 ②学校推薦型選抜【高大連携校推薦】の合格者は入学金減免	入学手続時に減免	対象入試の合格者全員	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可	
兄弟姉妹特別奨学金		入学後		入学金・授業料減免		対象学部学科: 社会福祉学部社会福祉学科、教育学部児童教育学科、教育学部保健教育学科、看護学部看護学科の全学部学科 内容: 入学年度入学試験に合格した入学志願者の兄弟姉妹が①または②のいずれかに該当している場合、入学金半額相当額(100,000円)を給付 ①関西金光学園の設置する学校に在籍している(受験年度の2024年3月卒業を含む) ②関西金光学園の設置している学校の入学年度入学試験を兄弟姉妹2名以上で受験し、合格後、2名以上が同時に入学する	給付奨学金	入学金半額相当額(100,000円)の給付	入学後に手続き	人数制なし	地域の制限なし	入試センター	併用可	条件有り併用可	
設置卒業生女子特別奨学金		入学後		その他	入学金半額相当額の給付	対象学部学科: 社会福祉学部社会福祉学科、教育学部児童教育学科、教育学部保健教育学科、看護学部看護学科の全学部学科 内容: 関西金光学園の設置する学校を卒業した者の子女が入学した場合、入学金半額相当額を給付	給付奨学金	入学金半額相当額(100,000円)の給付	入学後に手続き	人数制なし	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可	
災害被災者に対する特別措置		入学後		入学金・授業料減免 その他	学費支弁の期間の猶予	①父母(養育支持者)が亡くなった場合、または長期欠勤、入院し、1か月以上の長期加療が必要な場合、および家族が消失または帰郷(帰郷以上の状態)により引継ぎが困難と判断する者が対象と認められる場合 ⇒入学金全額免除および1年次(初年度)学費の支弁期間の猶予、入学後定年の免除 ②その他災害により入学後定年等支弁が難しく困難と認められる場合 ⇒入学金および1年次(初年度)学費の支弁期間の猶予、入学後定年の免除	免除・減免 その他	①父母(養育支持者)が亡くなった場合、または長期欠勤、入院し、1か月以上の長期加療が必要な場合、および家族が消失または帰郷(帰郷以上の状態)により引継ぎが困難と判断する者が対象と認められる場合 ⇒入学金全額免除および1年次(初年度)学費の支弁期間の猶予、入学後定年の免除 ②その他災害により入学後定年等支弁が難しく困難と認められる場合 ⇒入学金および1年次(初年度)学費の支弁期間の猶予、入学後定年の免除	出願時に手続き	人数制なし	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可	
関西福祉大学奨学金制度		入学後		学費支援		対象学部学科: 社会福祉学部社会福祉学科、教育学部児童教育学科、教育学部保健教育学科、看護学部看護学科の全学部学科 内容: 学力・人物ともに優秀で経済的理由により修学に困難な2年生以上の者	給付奨学金	①社会福祉学部 年額372,000円(月額13,000円) ②教育学部 年額420,000円(月額14,000円) ③看護学部 年額600,000円(月額20,000円)	給付期間: 1年間	若干	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可	
金光奨学金		入学後		学費支援		対象学部学科: 社会福祉学部社会福祉学科、教育学部児童教育学科、教育学部保健教育学科、看護学部看護学科の全学部学科 内容: 学力・人物ともに優秀な学生で経済上、学費補助を要する者	給付奨学金	年額給付上限 200,000円	給付期間: 1年間	若干	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可	
関西福祉大学教育後援会緊急奨学金制度		随時		学費支援		対象学部学科: 社会福祉学部社会福祉学科、教育学部児童教育学科、教育学部保健教育学科、看護学部看護学科の全学部学科 内容: 主に1年次から3年次の学生で家計急変のため、修学が困難となった者	給付奨学金	採用した学期の授業料の不足額に相当する金額	申請の都度の審査による	若干	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可	
関西福祉大学校友会緊急奨学金制度		随時		学費支援		対象学部学科: 社会福祉学部社会福祉学科、教育学部児童教育学科、教育学部保健教育学科、看護学部看護学科の全学部学科 内容: 卒業を目前にしている3~4年次の学生で家計急変のため、修学が困難となり緊急に支援の必要なる者	給付奨学金	採用した学期の授業料の不足額に相当する金額	申請の都度の審査による	若干	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可	
資格取得奨励助成金制度	在学中		資格取得支援制度		対象学部学科: 社会福祉学部社会福祉学科、教育学部児童教育学科、教育学部保健教育学科、看護学部看護学科の全学部学科 内容: 資格取得を奨励する助成金制度、対策講座、テキスト代、模擬試験受験料などの一部を助成	その他	対策講座、テキスト代、模擬試験受験料などの一部を助成	適宜	対象者	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可		
短期貸付金制度(少額基金)	随時		その他	貸与	対象学部学科: 在学生 内容: 一時約に生活費などが必要となった者に対し、無利子で短期間貸し付け(3,000円以上50,000円以内)	その他	無利子で短期間貸し付け(3,000円以上50,000円以内)	適宜	対象者	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可		
養護教諭特別選抜合格者の優遇	学校出願時		入学金・授業料減免		対象学部学科: 教育学部保健教育学科 内容: 養護教諭特別選抜の合格者は入学金全額(200,000円)免除	免除・減免	対象: 教育学部保健教育学科 金額: 入学金全額(200,000円)免除	入学手続時に免除	養護教諭特別選抜 募集定員: 8名	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可		
商業資格特別選抜合格者の優遇	学校出願時		入学金・授業料減免		対象学部学科: 社会福祉学部社会福祉学科 内容: 商業資格特別選抜の合格者は入学金全額(200,000円)免除	免除・減免	対象: 社会福祉学部社会福祉学科 金額: 入学金全額(200,000円)免除	入学手続時に免除	商業資格特別選抜 募集定員: 5名	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可		
児童教育学科10周年記念特待生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		対象学部学科: 教育学部児童教育学科 内容: 総合選抜10月期【基礎プラス重視型】、総合選抜10月期【特待生選考テスト型】、一般選抜前期(前期共通テストプラス含む)のそれぞれに入学し、児童教育学科の受験者上位1〜10位の合格者は授業料半額減免 減免期間: 最長4年間(2年次以降の継続は毎年審査あり)	免除・減免	対象: 教育学部児童教育学科 金額: 授業料半額減免 期間: 最長4年間(2年次以降の継続は毎年審査あり)	期間: 最長4年間(2年次以降の継続は毎年審査あり)	最大30名	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可		
神戸医療未来大学	入学金減免	学校出願時		入学金・授業料減免		総合型選抜1期合格者、学校推薦型選抜(指定校)、学校推薦型選抜(高大連携校)の合格者が対象	免除・減免	11~4年生	地域の制限なし	併用可	併用可				
関西看護医療大学	特待生・成績優秀者	在学中	1年生~4年生	特待生・成績優秀者		1年~4年生の看護学部学生対象 成績優秀者	免除・減免	①1~4年生 ②半期の授業料の半額または全額	①半期 ②1回履修り	①半期16名程度 ②人数制なし	地域の制限なし	併用可	併用可		

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
姫路大学	入学金・授業料減免	入学後		学費支援 入学金・授業料減免		看護学部看護学科 総合看護係A(授業料減免・補助)型合格者対象 該当入試合格者9名は授業料半額免除、病院より4年間毎月5万円ずつ補助	給付奨学金 免除・減免	該当入試合格者9名は授業料半額免除、病院より4年間毎月5万円ずつ補助	14年間	1年間7名程度	地域の制限なし	併用可	併用可		
	特別奨学生制度	在学中	2年生～4年生(成績優秀者を選考委員会にて選考するため、申請不要)	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		1年～4年生の全学部学生対象で、以下の条件を満たしている者の中から、授業料半額免除 ①授業料全額免除 ②授業料半額免除 前年在学年次における成績優秀者 ③卒業前年卒業 前年在学年次における成績優秀者	免除・減免	①授業料全額免除 ②授業料半額免除	①②1年間	①各学部1名 ②各学部1～2名	地域の制限なし	教育学部 教養・学生・厚生課	併用可	条件有り併用可	
	学費支援奨学生制度	在学中	1年生～4年生(4月頃)	入学金・授業料減免		1年～4年生の全学部学生対象 ①経済的理由や家庭の事情により修学が困難である場合 ②特に成績が優秀であること ③本学の他の奨学制度の適用を受けていないこと	免除・減免	授業料半額免除	1年間	予算の範囲内	地域の制限なし	教育学部 教養・学生・厚生課	併用可	条件有り併用可	
	応急奨学生制度	随時		入学金・授業料減免		1年～4年生の全学部学生対象 ①自然・災害・地震・震災被害者の喪失・障害・病気・死亡等により、家計が急激し、経済的に修学が困難になった場合 ②人物が他の学生の模範となり得ること ③本学の他の奨学制度の適用を受けていないこと	免除・減免	授業料半額または4分の1免除	1年間	予算の範囲内	地域の制限なし	教育学部 教養・学生・厚生課	併用可	条件有り併用可	
	専願入試合格者入学金免除制度	学校出願時		入学金・授業料減免		専願出願が可能な各入試試験後方式で専願受験し、合格した新入生対象	免除・減免	入学金20万円全額免除	入学手続時	人数制なし	地域の制限なし	入学・キャリアセンター	併用可	併用可	
神戸常盤大学	スポーツ奨学生制度	学校出願時		入学金・授業料減免 課外活動支援制度		姫路大学スポーツ奨学生規程第5条の基準を満たしている者の中から、授業料を減免する奨学金制度です。 対象者：令和6年度の総合型選抜入試試験を受験した教育学部新入生 選考期間：部長(中川) 担当：副部長(中野) 担当：副部長(中野) 担当：副部長(中野) ①スポーツ特別奨学生 授業料全額免除 ②スポーツ奨学生 授業料半額免除	免除・減免	①授業料全額免除 ②授業料半額免除	①②1年間(継続あり、最长4年間)	①2名 ②4名	地域の制限なし	入学・キャリアセンター	併用可	条件有り併用可	
	修士支援奨学金(緊急対応)	入学後		学費支援		成績優秀かつ修学の熱意があるにもかかわらず家計維持者の死亡や失業、または火災、風水害、震災等の災害により家計が急激化した者 対象学年・学部： 学部、短期大学部 在学生	給付奨学金	年間最高 1,000,000円		年間2名程度	地域の制限なし	キャリア支援課	条件有り併用可	併用可	
帝塚山大学	修士支援奨学金	入学後		学費支援		全学生対象 成績優秀かつ修学の熱意があるにもかかわらず経済的な理由により修学が困難な者	給付奨学金	1年間30万円以内		1年間10名程度	地域の制限なし	キャリア支援課	併用不可	併用可	
	帝塚山大学特待奨学金	その他	在学中、但し、次年度の継続は学業成績により毎年審査あり。	特待生・成績優秀者		対象となる入試において得点率が70%以上かつ1～25位までの合格者 学業成績優秀でかつ経済的に修学が困難な者 対象となる入試は、学校推薦型選抜(公募制推薦前期(2科目型)、一般選抜A日程(3科目型)、一般選抜B日程(3科目型)の3種類です。	給付奨学金	授業料50%減免 授業料に含まれていない実習等は減免されません。 ②次に次に授業料が90万円のため、40万円に減免されます。			地域の制限なし	学生生活課	併用可	条件有り併用可	
	帝塚山大学特別奨学金	在学中		その他	在学中に公的資格を取得するなど優れた実績をあげた学生を表彰し、一定の奨学金を奨励する。	給付奨学金	20万円(税理士・司法書士・弁護士・不動産鑑定士 資格取得 10万円(情報処理安全確保支援士 合格・中級企業診断士 資格取得 5万円(社会福祉士・応用情報技術者・行政書士 資格取得 3万円(宅地建物取引士・通関士 資格取得)	①1年間 ②3回限り	①1年間10名程度 ②人数制なし	地域の制限なし	キャリアセンター-資格コーナー	併用可	併用可		
	帝塚山大学入学生奨学金	入学後		学費支援		日本学生支援機構の予約採用奨学金で、予約採用奨学金員決定者となった学生に対する奨学金。 貸付期間は、日本学生支援機構入学生特別奨学金の入学までである。	貸付奨学金	日本学生支援機構奨学金の予約採用奨学金の入学時特別増額決定額(上限額)。			地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可	
	帝塚山大学海外留学期間奨学金	その他	2～4年	特待生・成績優秀者 留学期間奨学金		エンリ-賞用として、前年度学内成績上位3分の1以内で、留学期間の語学能力試験で所定の水準を超える者。	給付奨学金	留学期間 上限70万円、正規留学 上限120万円 留学期間中の本学学費は免除		留学期間中の本学学費は免除	地域の制限なし	学生生活課(国際交流担当)	併用可	併用可	
私立外国人留学期間奨学金	在学中		入学金・授業料減免		外国人留学期間、経済的理由により就学が困難な者	免除・減免	1年生～4年生は授業料の10%減免 なお、この制度は大学院生にもあり、減免額は105,000円			地域の制限なし	学生生活課(国際交流担当)	併用可	併用可		
天理大学	天理大学奨学金	在学中	2年次生、3年次生	特待生・成績優秀者 学費支援 用途を定めない経済的支援		対象学年 全学部2～3年次生 学業成績優秀でかつ経済的に修学が困難な者 成績基準 GPA方式 2.75以上 2年次生・3年次生 前年度修得単位数32単位以上 経済的な判断基準 日本学生支援機構の第1種奨学金の家計基準を準用 その他の基準 他の給付型奨学金を受給していないこと 選考 書類審査および面接を実施し、選考委員会において学長が決定する 対象学年 全学部 全学年次生	給付奨学金	年間30万円		各学年18名	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用不可	
	天理大学修学奨励奨学金	在学中	全学年	学費支援		対象 経済的に修学が特に困難な者 経済的な判断基準 日本学生支援機構第2種奨学金または応急採用奨学金の家計基準を準用 選考 書類審査および面接を実施し、選考委員会にて選考後、学長が決定する	給付奨学金	年間20万円(専年度限り)		専年度20名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	天理大学アスリート奨学金	入学手続時		入学金・授業料減免		対象 全学部 新入生 対象 規程に定められた入試方法による合格者で、クラブから推薦された者 入学 入学金および4年間の授業料ならびに教育施設費の免除	免除・減免	入学金15万円 授業料 人間・文・国際学部 66万円 体育学部 70万円 教育施設費 人間・文・国際学部 20万円 体育学部 25万円		授業料および教育施設費は4年間免除	地域制なし	学生支援課および天理スポーツ強化推進室	併用可	併用可	
	天理大学留学期間奨学金(交換留学期間奨学金)	在学中	2年次生から4年次生	留学期間奨学金		対象学年 全学部 2年次生～4年次生 対象 学業成績優秀で、本学から派遣される者(派遣年度在学は除く) 成績基準 GPA方式 2.75以上 2年次生・3年次生 前年度修得単位数 32単位以上 4年次生 卒業見込み者	給付奨学金	1年間34万円				地域の制限なし	国際交流センター室	併用可	併用可
	天理大学留学期間奨学金(観光留学期間奨学金)	在学中	2年次生から4年次生	留学期間奨学金		対象学年 全学部 2年次生～4年次生 対象 学業成績優秀で、本学が認定した認定留学期間(派遣年度在学は除く) 成績基準 GPA方式 2.75以上 2年次生・3年次生 前年度の修得単位数 32単位以上 4年次生 卒業見込み者	給付奨学金	認定先大学の授業料相当分とし、1年間46万円を上乗せとする。				地域の制限なし	国際交流センター室	併用可	併用可
	天理大学留学期間奨学金(留学期間奨学金)	在学中	2年次生から4年次生	留学期間奨学金		対象学年 全学部 2年次生～4年次生 対象 特に学業成績および人物優秀で、本学から海外の大学へ留学(交換・認定)する者 成績基準 GPA方式 2.75以上 2年次生・3年次生 前年度の修得単位数 32単位以上 4年次生 卒業見込み者	給付奨学金	月額3万円		1年以内	専年度6名以内	地域の制限なし	国際交流センター室	併用可	併用可
	天理大学入学生奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援 用途を定めない経済的支援		対象学年 新入生 成績基準 ①「公募推薦選抜(A日程)」の成績上位 30名 ②「一般選抜前期」の成績上位 15名 ③「大学入学生選抜(ストリート利用選抜前期)」の成績上位 10名 内容 ①については20万円を給付 ②、③については4年間の授業料半額相当額を給付	給付奨学金 免除・減免	①30万円 ②、③各学部の授業料半額相当額		①専年度 ②、③については4年間	①公募推薦選抜(A日程)成績上位30名 ②一般選抜前期成績上位15名 ③大学入学生選抜(ストリート利用選抜前期)成績上位10名	地域の制限なし	入学課	併用可	併用可
	天理大学銀行融資奨学金	在学中	1年生～4年生	その他	教育ローン利息支援		対象学年 全学部 全学年次生 対象 経済的理由により、金融機関が取り扱う教育ローン利用者 経済的な判断基準 日本学生支援機構第2種奨学金の家計基準を準用 選考 書類審査および面接を実施し、選考委員会にて選考後、学長が決定	その他	当該年度に負担した教育ローンの利息合計額を対象(上限年間4万円)	1年間	専年度30名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	天理大学後援会奨学金	在学中	1年次、4年次	用途を定めない経済的支援		対象 全学部 1年次生、4年次生 対象 学業成績優秀者を各学部で選出し、後援会が決定	給付奨学金	1年次生 10万円 4年次生 20万円			1年次生40名、4年次生20名	地域の制限なし	庶務課	併用可	併用可
	天理大学後援会特別奨学金	その他		学費支援		対象 全学部 全学年次生 対象 学費負担者である保証人が死亡した場合、次学期から4年次終了までの授業料を給付 内容 学費負担者である保証人が死亡した場合、次学期から4年次終了までの授業料を給付	給付奨学金	人間・文・国際学部 専学期 33万円、秋学期 33万円 体育学部 専学期 30万円、秋学期 30万円		学費負担者の死亡後の次学期から4年次終了まで		地域の制限なし	庶務課	併用可	併用可
	奈良大学	奈良大学学費減免	随時		学費支援		学費負担者である保証人が死亡した場合、次学期から4年次終了までの授業料を給付 対象者は3、4年次生で成績優秀、かつ卒業可能な者。	免除・減免	原則として前期の学費について、高等教育の修学支援新制度の対象とならない部分の金額又は半額。		専年度	地域の制限なし	学生支援センター(学生担当)	併用可	併用可
	奈良大学緊急支援奨学金	随時			学費支援		修学を断念するにもかかわらず経済的理由により緊急に学費の支援が困難になった者	貸付奨学金	45万6,000円を上限に借付額	専年度	専年度	地域の制限なし	学生支援センター(学生担当)	併用可	併用可
奈良大学奨学金	入学後			学費支援 用途を定めない経済的支援		全学年・全学部対象 学業人物とも良好であるが経済的理由による修学困難な者。	貸付奨学金	自宅生は月額3万円、自宅外生は月額7万8000円。	専年度	20名前後	地域の制限なし	学生支援センター(学生担当)	併用不可	併用不可	
慶応大学	入学時成績優秀者特別奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援		対象となる入試試験における成績優秀者(各学部の全方式合格者のうち上位10%程度)に原則として4年間、(3年次選抜時に成績などで審査あり)	給付奨学金	年間4万円		原則として4年間	各学部の全方式合格者のうち上位10%程度	地域の制限なし	入学部	併用可	併用可
	遠隔地出身学生支援特別奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援		本学より約400km以上(道の駅)のある遠隔地出身の奨励生で、対象となる入試試験における成績優秀者(各学部の合格者のうち上位20%以内)で原則として4年間、(毎年、1名)の審査あり、3年次選抜時は成績も審査あり。	給付奨学金	年間2万円		原則として4年間	各学部の合格者のうち上位20%以内	地域の制限なし	入学部	併用可	併用可
	冬木智子特別奨励賞	在学中	2回生以上	特待生・成績優秀者		学業成績・人物ともに他学生の模範となる学生の更なる努力を促す。選考は学部長の推薦によるものとして、奨学金委員会において各学部1名、全学5名を選出。	給付奨学金	年間2万円		1回限り	各学部の合格者のうち上位20%以内	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可
	慶応大学特別奨励賞	在学中	2回生以上	特待生・成績優秀者		学業成績・人物ともに優秀な学生を奨励する。選考は学部長の推薦によるものとして、奨学金委員会において各学部2～4回生各1名(現代教育学科のみ各2名)、全学で18名を選出。	給付奨学金	年間10万円		1回限り	各学部2～4回生各1名(現代教育学科のみ各2名)、全学で18名	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可
慶応大学特別奨学金	在学中	2回生以上	学費支援		経済的理由により修学が困難で、かつ学業成績優秀、明確な進路を有する、申請のあった者の中から奨学金委員会において50名を選出します。	給付奨学金	年間20万円		1回限り	50名	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
高野山大学	高野山大学入学金減免制度	入学手続時		入学金・授業料減免		1年生対象 ①学業及び人物が優秀な者 ②優良な実質をもちながら経済的理由によって学費の支援が困難な者 学部または大学院に在籍する私立外国人留学期間奨学金	免除・減免	①入学金全額 ②入学金半額		入学時	若干名	地域の制限なし	併用可	併用可	
	高野山大学私立外国人留学期間奨学金減免制度	入学手続時		入学金・授業料減免			免除・減免	①授業料全額 ②授業料の一部	1年間		若干名	地域の制限なし		併用可	
	高野山大学奨学金	入学後		学費支援		文学部2～4年生 ※3年生編入生は4年次より対象	給付奨学金	①授業料相当額 ②授業料半額相当額	1年間		若干名	地域の制限なし	併用可	併用不可	
	高野山住職会奨学金	入学後		学費支援		高野山真言宗寺院徒の学部生、大学院生	給付奨学金	20万円		1年間	若干名	地域の制限なし	併用可	併用不可	
	佐伯奨学金	入学後		学費支援		文学部生	給付奨学金	50万円		1年間	若干名	地域の制限なし	併用可	併用不可	
	高野山大学同窓会奨学金	入学後		学費支援		文学部生、大学院生	給付奨学金	①1年生 10万円 ②2年生 10万円		1年間	若干名	地域の制限なし	併用可	併用不可	
	名越奨学金	入学後		学費支援		文学部生、大学院生	給付奨学金	24万円		1年間	若干名	地域の制限なし	併用可	併用不可	
	高野山大学私立外国人留学期間奨学金	入学後		学費支援		留学期間の在留資格を有する文学部生、大学院生	給付奨学金	①授業料相当額 ②授業料半額相当額	1年間		若干名	地域の制限なし	併用可	併用不可	
	教育学科遠隔地特待生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者		①(対象) ①住居記載の住所から河内長野キャンパス(大阪府河内長野市)までの通学時間が180分以上に該当し、入学後に河内長野キャンパスの周辺に下宿する者。 ②教育学科の入試試験を受験し、人物および学業成績が優秀と認められる者。	免除・減免	①入学金免除 ②授業料半額免除		①入学時 ②2年次以降は学業成績による審査あり	若干名	地域の制限なし	河内長野キャンパス事務局	併用可	併用不可

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては「(4)対象学年・学部・資格・条件」の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否
和歌山信愛大学	入学試験成績優秀者奨学金 学校推薦型選抜(公募)	学校出願時		特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援		1年生対象 学校推薦型選抜(公募)前期を受験し、入学試験成績上位10%程度に位置する者 ※入学を辞退した場合には奨学金は支給されません。 ※「遠隔地学生奨学金」の対象者になった場合、「入学試験成績優秀者奨学金」の対象外となります。	給付奨学金	20万円	1回限り	若干名	地域の制限なし	数学センター	併用可	併用可
	入学試験成績優秀者奨学金 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜	学校出願時		特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援		1年生対象 一般選抜1期・大学入学共通テスト・利用選抜1期を受験し、入学試験成績上位10%程度に位置する者 ※入学を辞退した場合には奨学金は支給されません。 ※「遠隔地学生奨学金」の対象者になった場合、「入学試験成績優秀者奨学金」の対象外となります。	給付奨学金	20万円	1回限り	若干名	地域の制限なし	数学センター	併用可	併用可
	遠隔地学生奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援		1～4年生対象 以下3点すべてに該当する者 ・Web出願時の居住地が、本学が定めた遠隔地の者 ・春入試区分において成績優秀である者(全選抜で申請できます) ・本学を第一志望とする者 ※万一入学を辞退しなければならなかった場合は奨学金は給付されません。 ※遠隔時に成績等の審査があり、成績下位1/4であれば廃止になります。 ※「遠隔地学生奨学金」の対象者になった場合、「入学試験成績優秀者奨学金」の対象外となります。	給付奨学金	最大40万円(年間12万円)	4年間(遠隔時に成績等の審査があります)			地域の制限なし	数学センター	併用可
和歌山リハビリテーション専門学校	学校推薦型選抜(指定校)入学奨学金	入学手続き時		入学金・授業料減免		対象学生は1年生 学校推薦型選抜(指定校)において合格し、入学手続きをしたすべての者	給付奨学金	入学金の半額125,000円を給付	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	事務部	併用可	併用可
	社会人対象給付奨学金	入学手続き時		入学金・授業料減免		対象学年は1年生 社会人選抜において合格し、入学手続きをしたすべての者	給付奨学金	入学金の全額250,000円を奨学金として給付	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	事務部	併用可	併用可
	ファミリー奨学金	入学手続き時		入学金・授業料減免		対象学年は1年生 各種選抜において合格し入学手続きをした者で、学校法人賛助会グループの教職員・在学生・卒業生の中で3親等以内の血縁者(※入学後に申告書類を提出する必要があります)	給付奨学金	入学金の半額125,000円を奨学金として給付	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	事務部	併用可	併用可
	下宿生支援奨学金	随時		その他	下宿生をやる必要がある者	全学年対象 本学入学者で、自宅が紀南地方(新宮・田辺方面)道しほ本学への通学距離が100キロメートルを超える遠隔地にあるか、または学長が「通学困難と認められた方で、本学の近くで下宿をやる必要がある者	給付奨学金	家賃の半額で1ヵ月最大15,000円を上限として給付(金額は審査により決定されます)	分割支給2回(年度内)	人数制限なし	地域の制限なし	事務部	併用可	併用可
	成績優秀者給付奨学金	その他	学内推薦の為、学生からの申込みは不可	特待生・成績優秀者		審査対象は2年次以降 各年度において審査を行い、前年度の成績がGPA3.5以上、かつ、各学年において上位10%以内の基準を満たした各専攻上位1名	給付奨学金	200,000円	一括支給	各学年各専攻1名	地域の制限なし	事務部	併用可	併用可